

# 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 ( 笠置中学校第 2 期 )

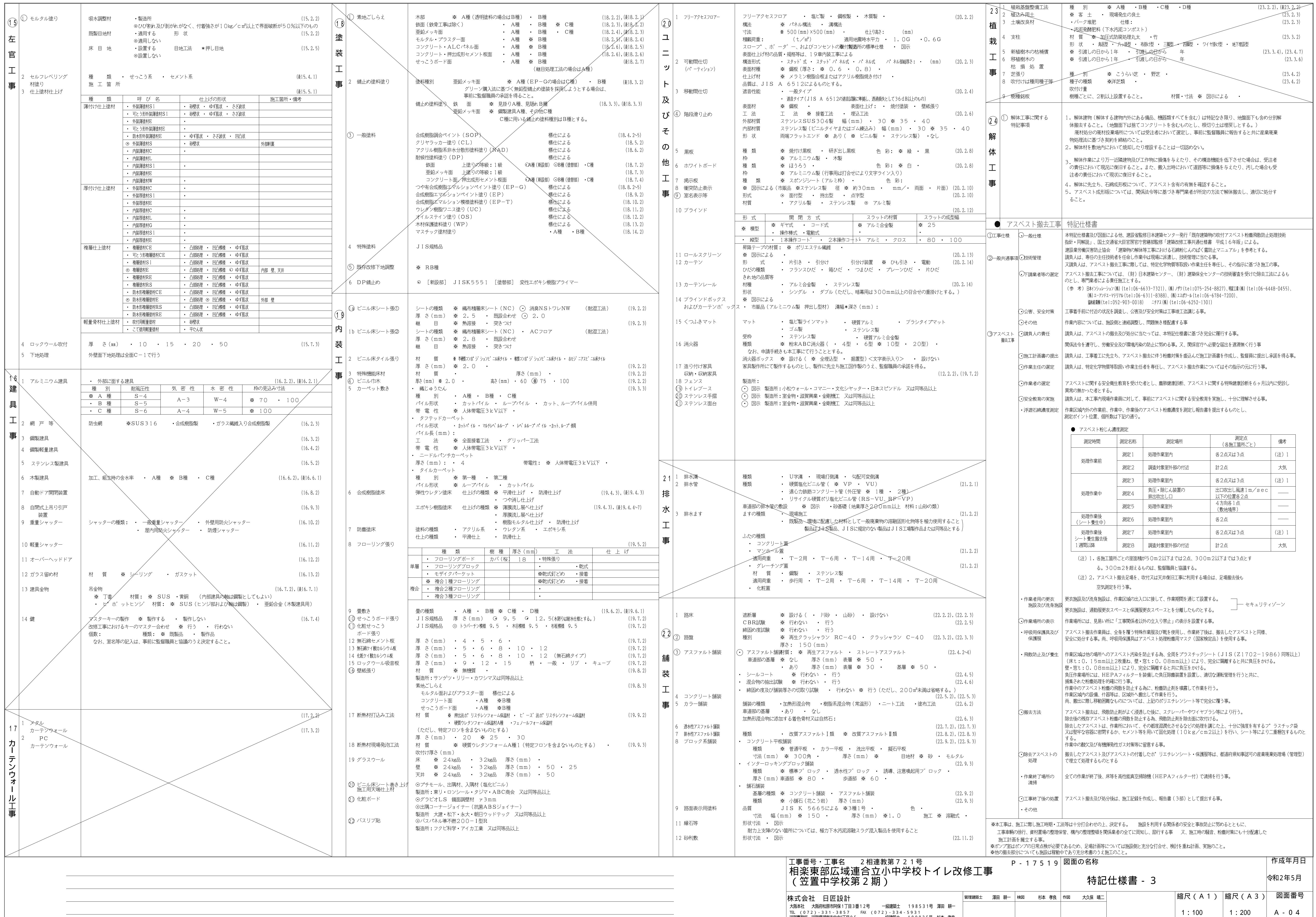
図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
( 意匠図 )		( 設備図 )	
A - 01	タイトル・図面リスト	E - 01	特記仕様書
A - 02	特記仕様書 1	E - 02	( 校舎棟 ) 現況・改修 電灯設備 2階平面詳細図
A - 03	特記仕様書 2	E - 03	( 体育館棟 ) 現況・改修 電灯設備平面詳細図
A - 04	特記仕様書 3		
A - 05	配置図	M - 01	特記仕様書 - 1
A - 06	( 校舎棟 ) 現況 1、2階平面図	M - 02	特記仕様書 - 2
A - 07	( 体育館棟 ) 現況・改修 1階平面図	M - 03	配置図
A - 08	( 校舎棟 ) 現況・改修断面詳細図	M - 04	現況 1階平面図
A - 09	( 体育館棟 ) 現況断面詳細図	M - 05	現況・改修 2階平面図
A - 10	( 体育館棟 ) 改修断面詳細図	M - 06	現況・改修 2階平面詳細図
A - 11	( 校舎棟 ) 部分詳細図	M - 07	( 屋内運動場 ) 現況・改修 1階平面図
A - 12	( 校舎棟 ) 現況・改修 2階平面詳細図	M - 08	( 屋内運動場 ) 現況・改修 1階平面詳細図
A - 13	( 体育館棟 ) 現況・改修平面詳細図	M - 09	保温施工標準図 - 1
A - 14	( 校舎棟・体育館棟 ) 現況展開図		
A - 15	( 校舎棟・体育館棟 ) 改修展開図		
A - 16	( 校舎棟・体育館棟 ) 現況・改修建具リスト		
A - 17	( 校舎棟 ) 現況・改修 1、2階天井伏図 ( 体育館棟 ) 現況・改修 1階天井伏図		

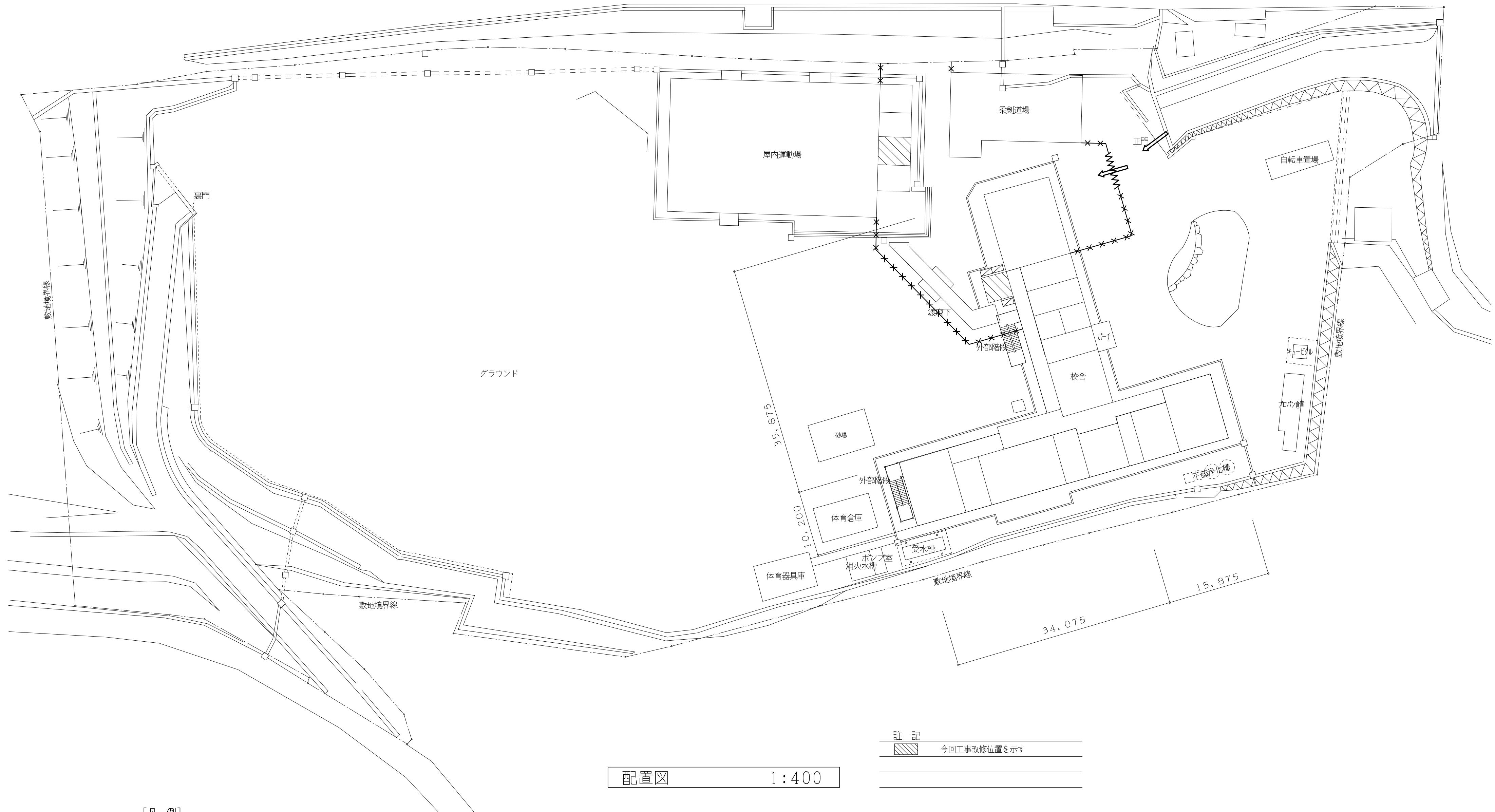
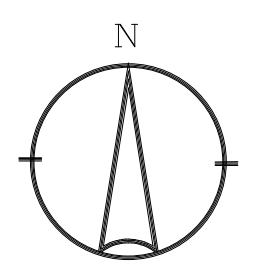
工事番号・工事名 2相連教第 721 号  
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
( 笠置中学校第 2 期 )

工事番号・工事名	P - 17519	図面の名称	作成年月日
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 ( 笠置中学校第 2 期 )			令和2年5月
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府枚方市御厨1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一 TEL (072) 331-3853 FAX (072) 334-5031 滋賀事務所 滋賀県大津市中央2丁目955 一般建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166	管理建築士 濑田 耕一	検査 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 ( A1 ) 1:100 縮尺 ( A3 ) 1:200 図面番号 A - 01

建築工事特記仕様書		工事名稱	相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事(笠置中学校第2期)		工事場所	京都府相楽郡笠置町大字北河原 地内 敷地面積 16,280.00 m <sup>2</sup>		工事規制	都市計画区域外		防災規制	指定なし		その他の規制	工事請負契約書記載のとおり		工事期間・限工事種目	工事請負契約書記載のとおり 便所改修工事、その他改修工事																																																																				
工事概要	No	名 称	工種	構 造	数 量	延数量	備 考	11 特殊な材料の工法 12 各種検査合格書等		標示に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 各種検査を必要とするもの、責任施工のものは、各会員書又は保証書およびその写し各1部を提出すること。なお、責任施工のものは、受注者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。		各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通筋及び柱上げ部分、軽量鉄骨天井下地、(1.3.11)同壁下地の開口補強は建築工事とする。		各種下請業者、製造所等にて供給出来るものについては、精力内府業者を選定すること。		工事着手前に付した状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壤汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事完了まで全ての公害を講じること。(1.3.8)		受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。		① 工事用図面 ② 下請負契約 ③ 提出書類保存箱	受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																													
	④	設備工事との組合	④ 下請け業者の選定		各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通筋及び柱上げ部分、軽量鉄骨天井下地、(1.3.11)同壁下地の開口補強は建築工事とする。		各種下請業者、製造所等にて供給出来るものについては、精力内府業者を選定すること。		工事着手前に付した状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壤汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事完了まで全ての公害を講じること。(1.3.8)		受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。		① 工事用図面 ② 下請負契約 ③ 提出書類保存箱	受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																																				
	⑤	公害対策	⑤ 産業廃棄物の処理		工事着手前に付した状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壤汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事完了まで全ての公害を講じること。(1.3.8)		受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。			受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																																								
	⑥	工事請負契約書記載のとおり	工事請負契約書記載のとおり		工事請負契約書記載のとおり		工事請負契約書記載のとおり		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。			受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																																								
	⑦	便所改修工事	便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。			受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																																								
II 建築工事仕様	⑧	概要説明	便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		17 発生事の処理 ① 保険等 ② 安全対策		標示に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。		各種検査を必要とするもの、責任施工のものは、各会員書又は保証書およびその写し各1部を提出すること。		各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通筋及び柱上げ部分、軽量鉄骨天井下地、(1.3.11)同壁下地の開口補強は建築工事とする。		各種下請業者、製造所等にて供給出来るものについては、精力内府業者を選定すること。		工事着手前に付した状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壤汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事完了まで全ての公害を講じること。(1.3.8)		受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。		(1) 本事業に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(建設サイクル法)を厳守し、分別収集体及び再資源化施設を設置すること。		6. VE提案の保護 VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。		① 監督員事務所 ② 仮設工事 ③ 土建工事 ④ 土木工事 ⑤ 延長工事	受注者は、工事着手に先立ち、工事用本図書(A1版 1部、A3版 3部)を提出すること。																																																										
	⑨	別途工事	便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		便所改修工事及びそれ以外の改修工事を行う。		18 総合評価方式に関する特記事項		1. 競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保 受注者は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書(以下、「技術提案書」という。)に基づき、工事に履行しなければならない。		2. 技術提案内容の施工計画への反映 施工計画書の取扱いは標準化のとおりであるが、受注者は技術提案書の内容を満足する施工計画書を監督職員に提出しなければならない。また、施工計画書において、技術提案書の内容を一覧できる様に整理すること。また、施工計画書に具体的な実施方法を記載する。 3. 配置技術者等 受注者は、技術提案書に記載した配置予定技術者を当該工事の主任技術者または監理技術者あるいは現場代理人として配置しなければならない。		4. 運行の確認方法 受注者は、技術提案書に記載した運行確認方法を実行する。		5. 管理事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ • 1000㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	6. VE提案の確認方法 受注者は、技術提案書に記載した運行確認方法を実行する。		7. 貴重の所在 発注者がVE提案を適正と認み、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	8. 総合評価方式に関する特記事項		8. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	9. 総合評価方式に関する特記事項		9. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	10. 総合評価方式に関する特記事項		10. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	11. 総合評価方式に関する特記事項		11. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	12. 総合評価方式に関する特記事項		12. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	13. 総合評価方式に関する特記事項		13. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	14. 総合評価方式に関する特記事項		14. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	15. 総合評価方式に関する特記事項		15. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	16. 総合評価方式に関する特記事項		16. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	17. 総合評価方式に関する特記事項		17. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	18. 総合評価方式に関する特記事項		18. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	19. 総合評価方式に関する特記事項		19. 総合評価方式に関する特記事項		監督員事務所の規模 ( ) 100㎡ ○ 200㎡ △ 350㎡ × 650㎡ 程度 備品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長尺、雨がけ、保護帽、安全帯、衣類ロッcker 受注者は電話機の取扱い、冷暖房機器、消火器等監督職員の指揮による。	20. 総合評価方式に関する特記事項	







#### 仮設工事項目

[凡例]

1. 仮囲 バリケードフェンス H=1.8 (3ヶ月)

2. 工事車両出入口

3. 仮設門扉 シートゲート (1ヶ所) (3ヶ月)   
(6.0m×4.5m)

4. 枠組足場 W=900を示す (3ヶ月)

5. 交通誘導員 (工事期間中1名常駐) ガードマンボックス共 30人・日以上  
(各門に随時移動) (大型資材等の搬入時は増員のとこ)

6. 仮囲い、現場事務所、工事車両駐車スペース等の  
配置については現場打合の上、最終決定とする

※ 仮設工事着手に先立ち、図示計画内容を基本に請負業者にて立案し承諾を得てから着手すること

※ 現場事務所、作業員詰所等の配置、規模は参考とする

※ 学校敷地内において工事となる為、学校側と綿密に協議しながら工事の進捗を計ること

※ 工事は基本的にトイレ窓を作業動線とすること、但し大型材料等は学校と協議し昇降口等より搬入する

※ 学校に対する安全対策は万全を期すると共に学校行事にも協力すること

※ 工事関係者は図示工事エリア以外の学校敷地内駐車は不可、必要な場合は請負者にて校外に別に確保すること

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相樂東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519 図面の名称

配置図

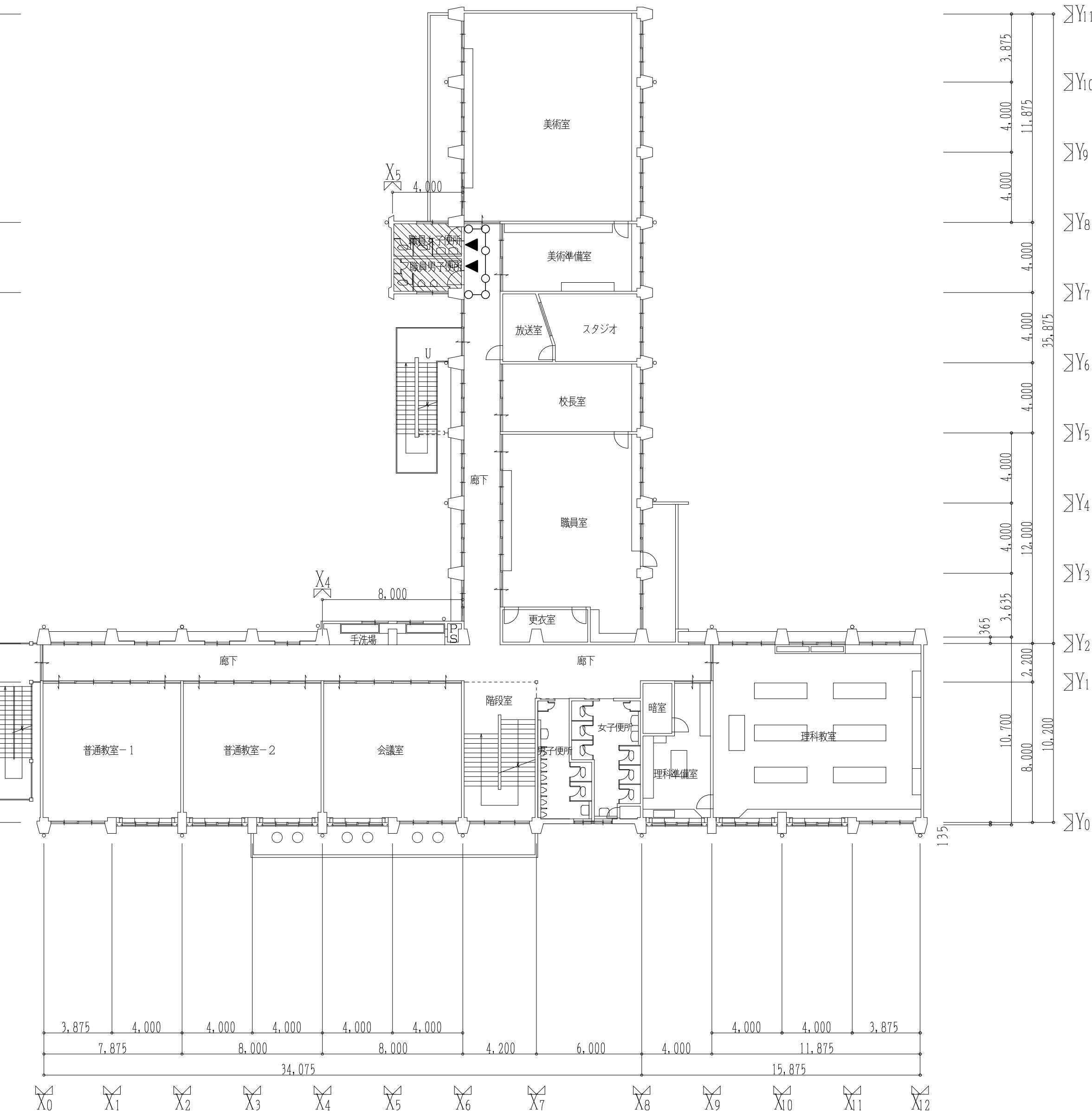
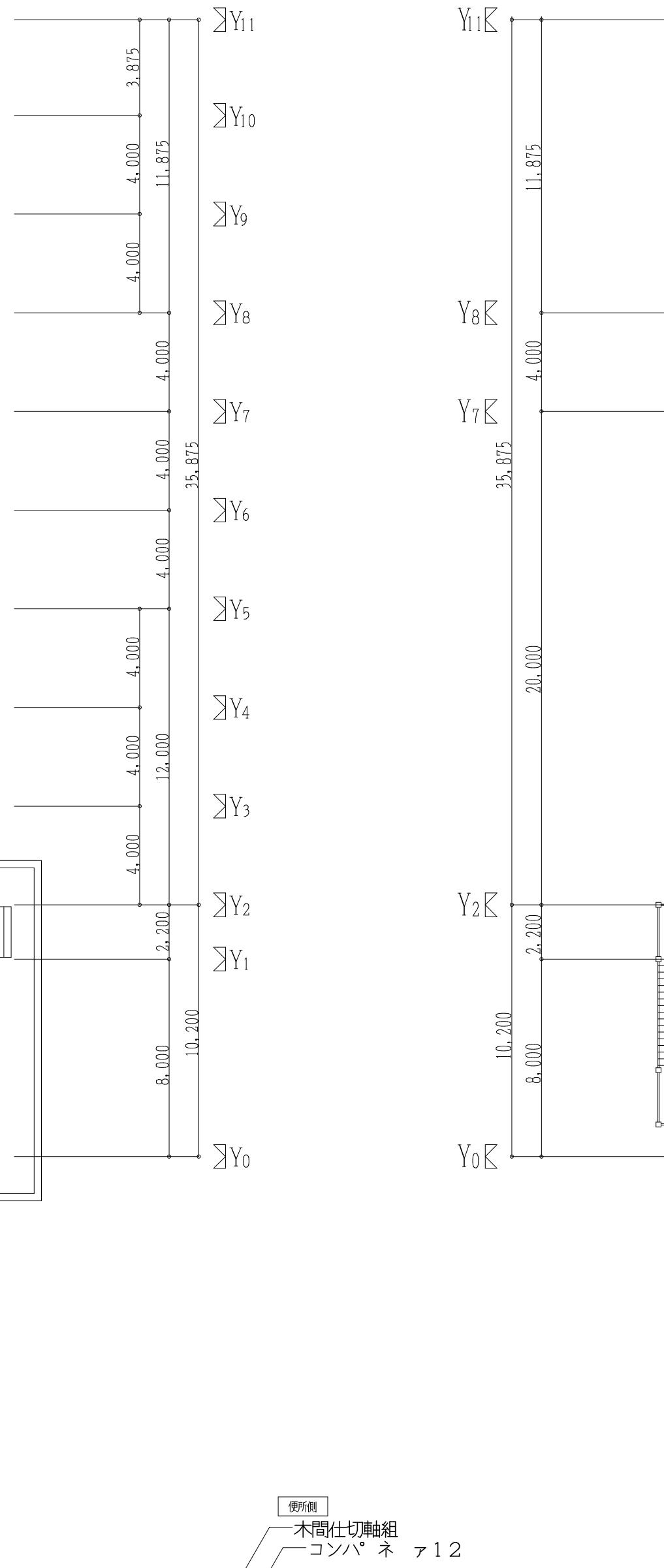
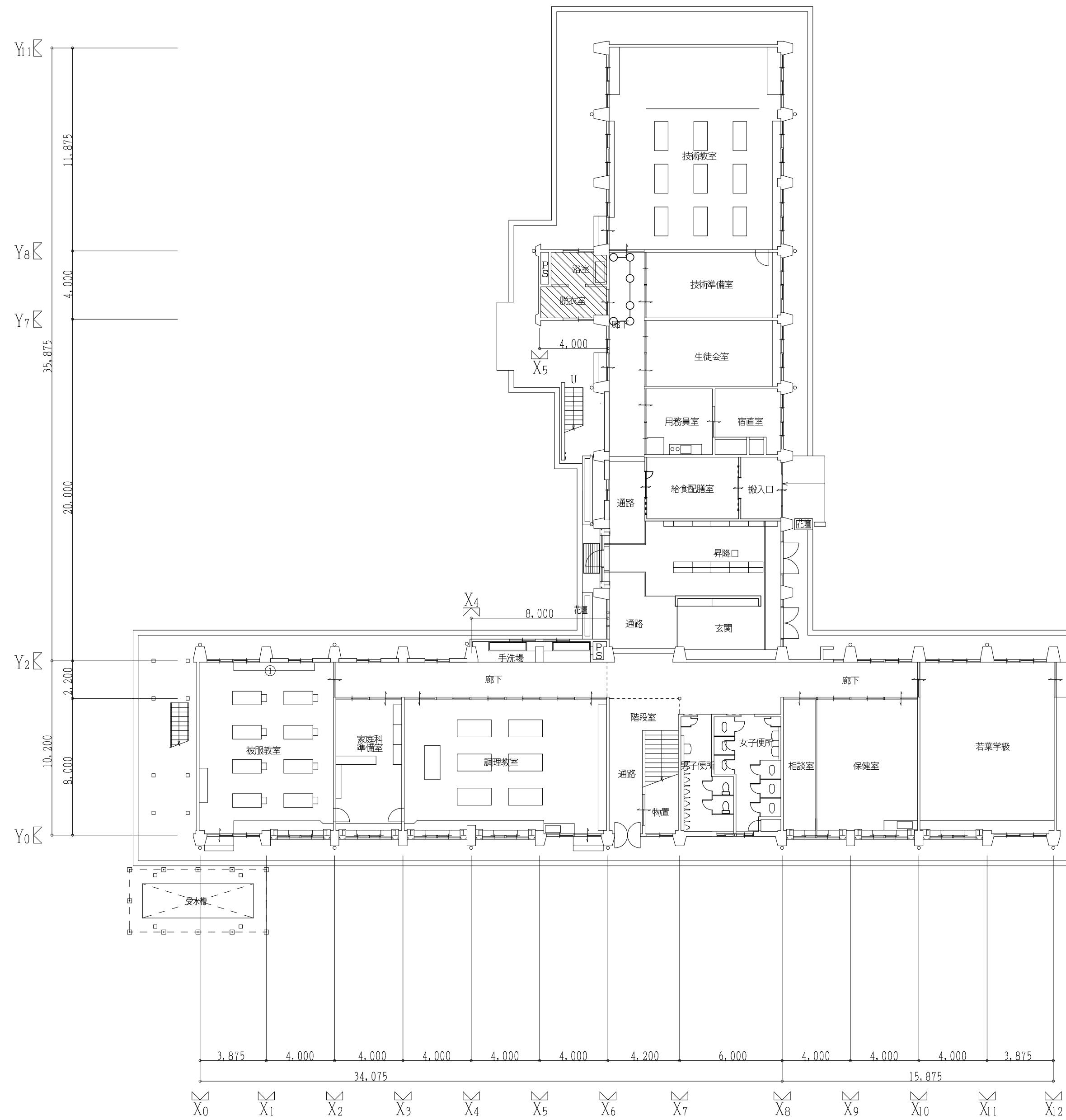
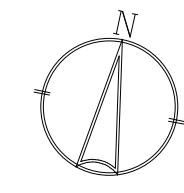
作成年月日

令和2年5月

株式会社 日匠設計  
大阪本社 大阪府松原市保1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一  
TEL (072) 331-3853 FAX (072) 334-5931  
滋賀事務所 滋賀県大津市中央1丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) 72-1114 FAX (0748) 72-1166

管理建築士 濑田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二  
1:400 1:800 A-05

縮尺(A1) 縮尺(A3) 図面番号  
1:400 1:800 A-05



註記

- は 今回改修部分を示す
- ▼は 室名札の取付位置を示す
- は 簡易間仕切壁を示す(天井までH=2, 845)

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P-17519 図面の名称

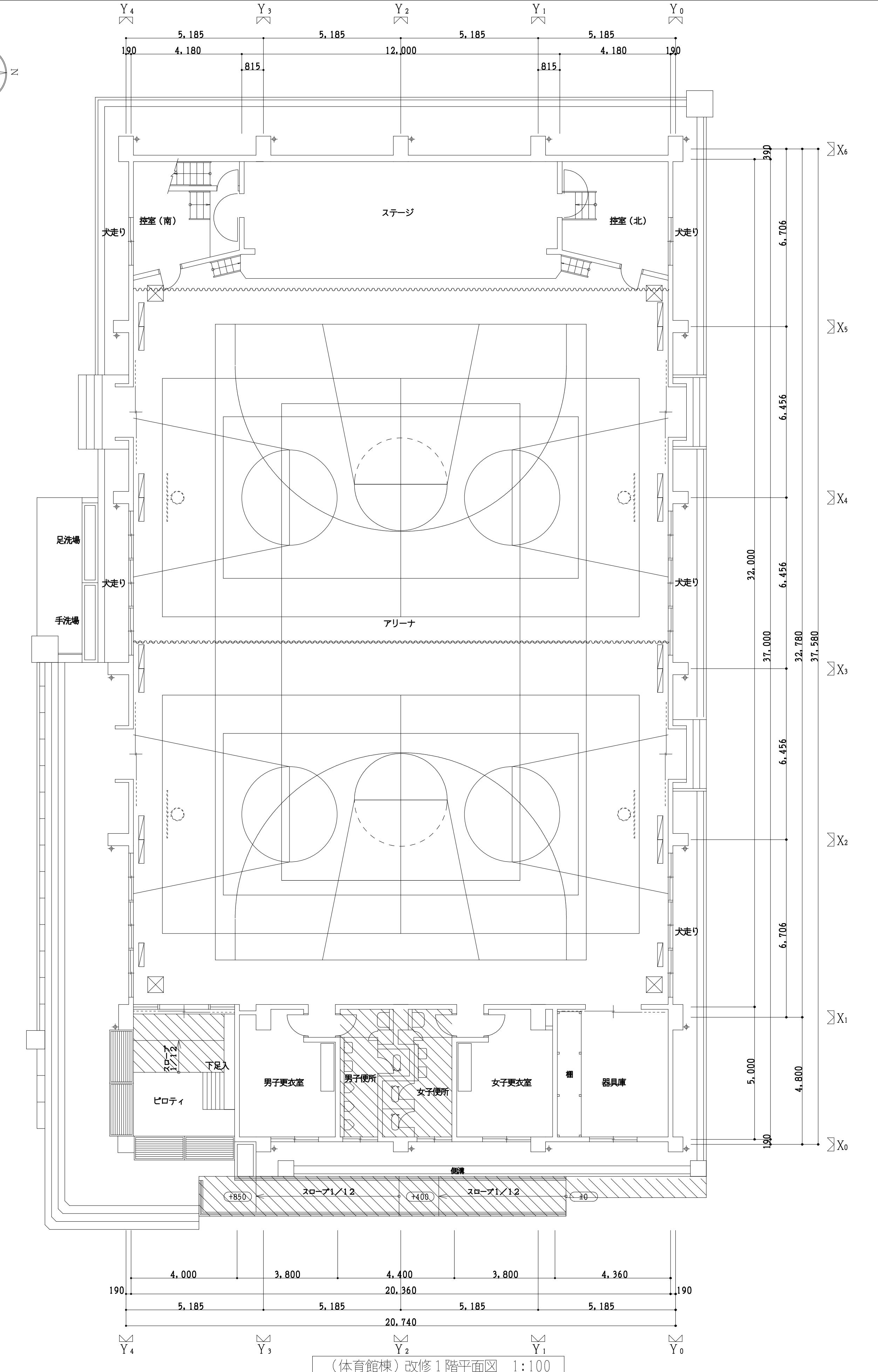
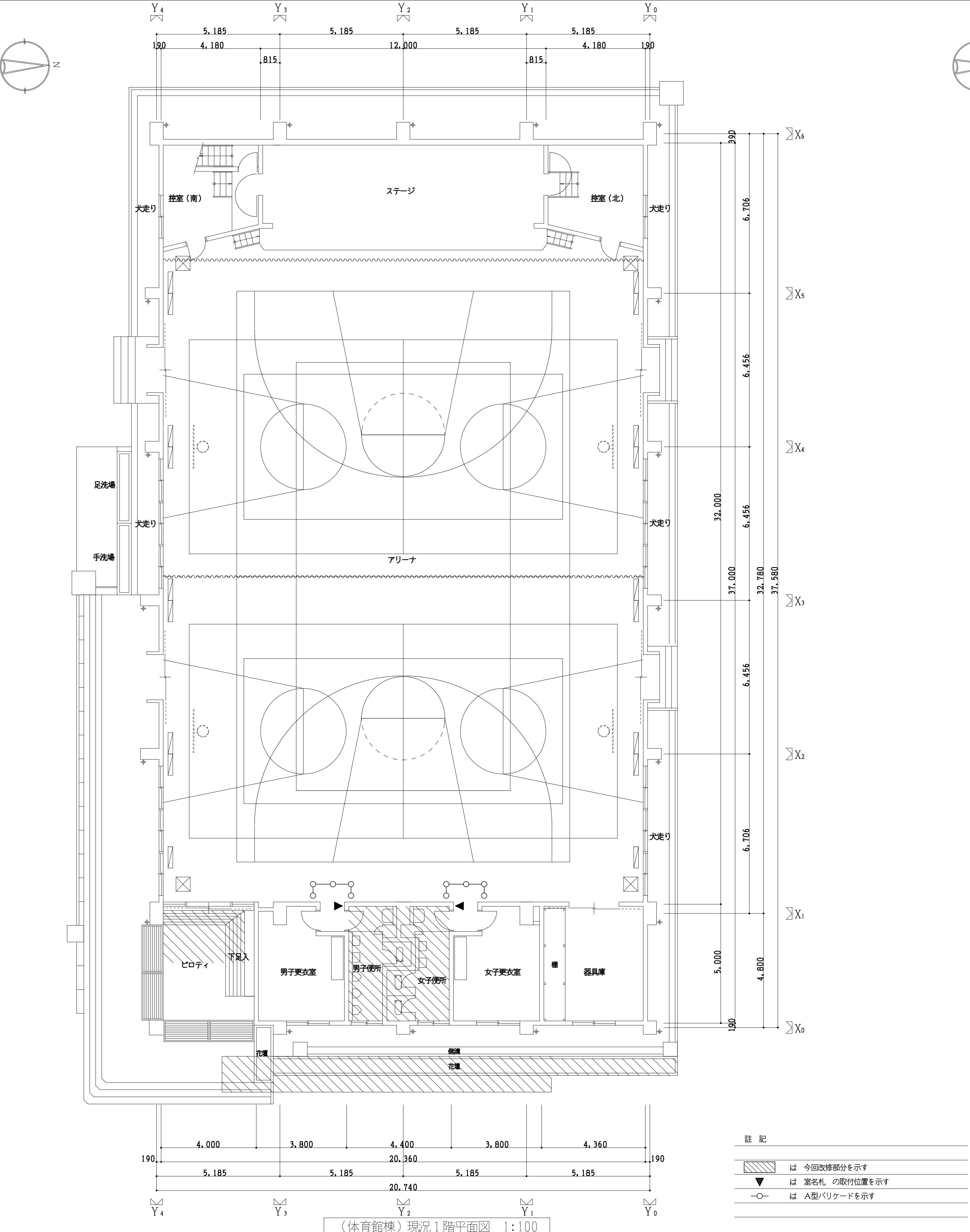
(校舎棟) 現況1、2階平面図

作成年月日  
令和2年5月

株式会社 日匠設計  
大蔵本社 大蔵松根町保1丁目3番12号 一般認定士 198531号 濱田 耕一  
TEL (0723)-331-3853 FAX (0723)-334-5021  
滋賀事務所 滋賀県大津市中央1丁目95 一般認定士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166

管理建築士 濱田 耕一 案図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二  
P-17519

縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号  
1:200 1:400 A-06



(体育館棟) 現況 1 階平面図 1:100

(体育館棟) 改修 1 階平面図 1:100

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

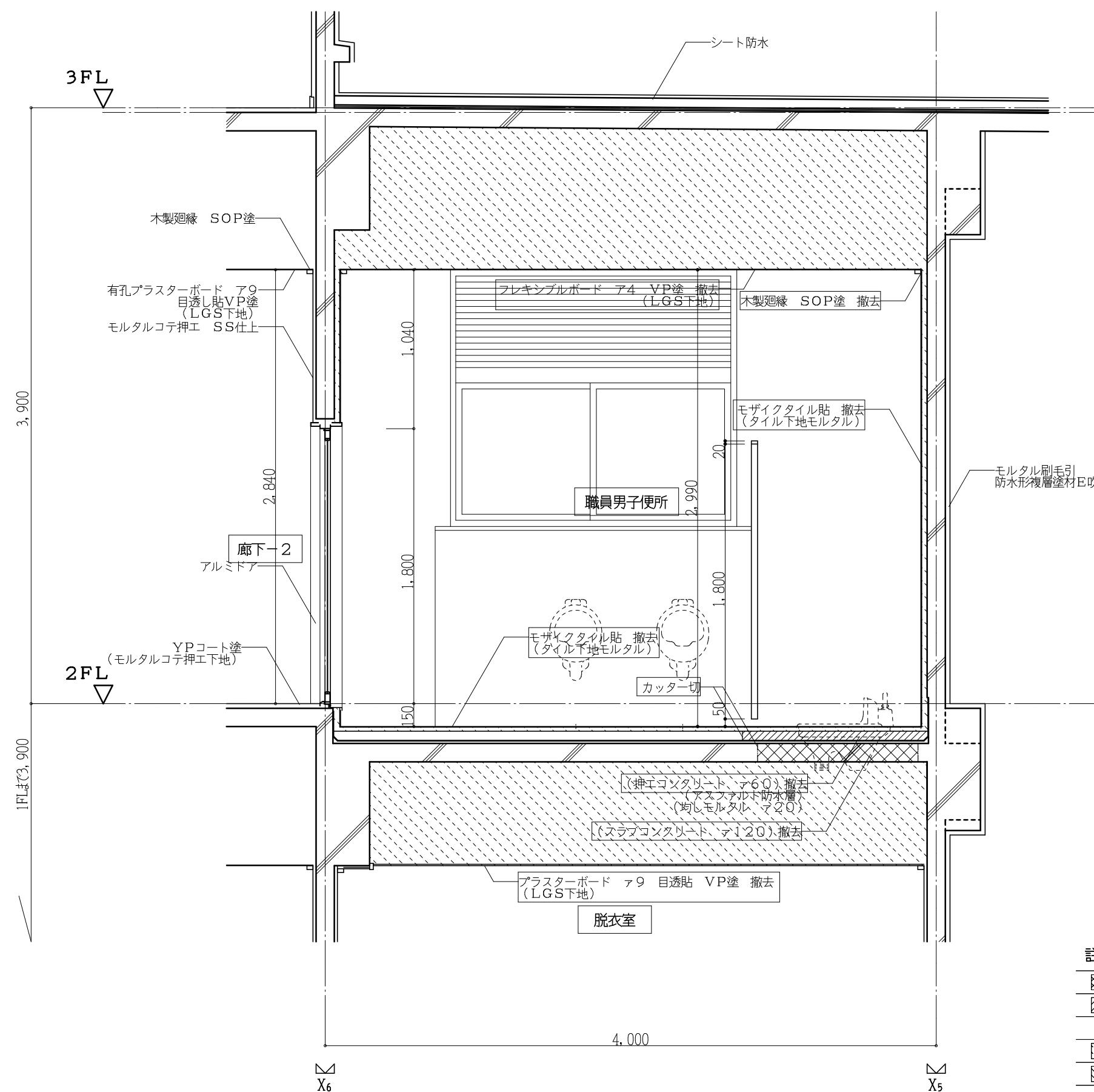
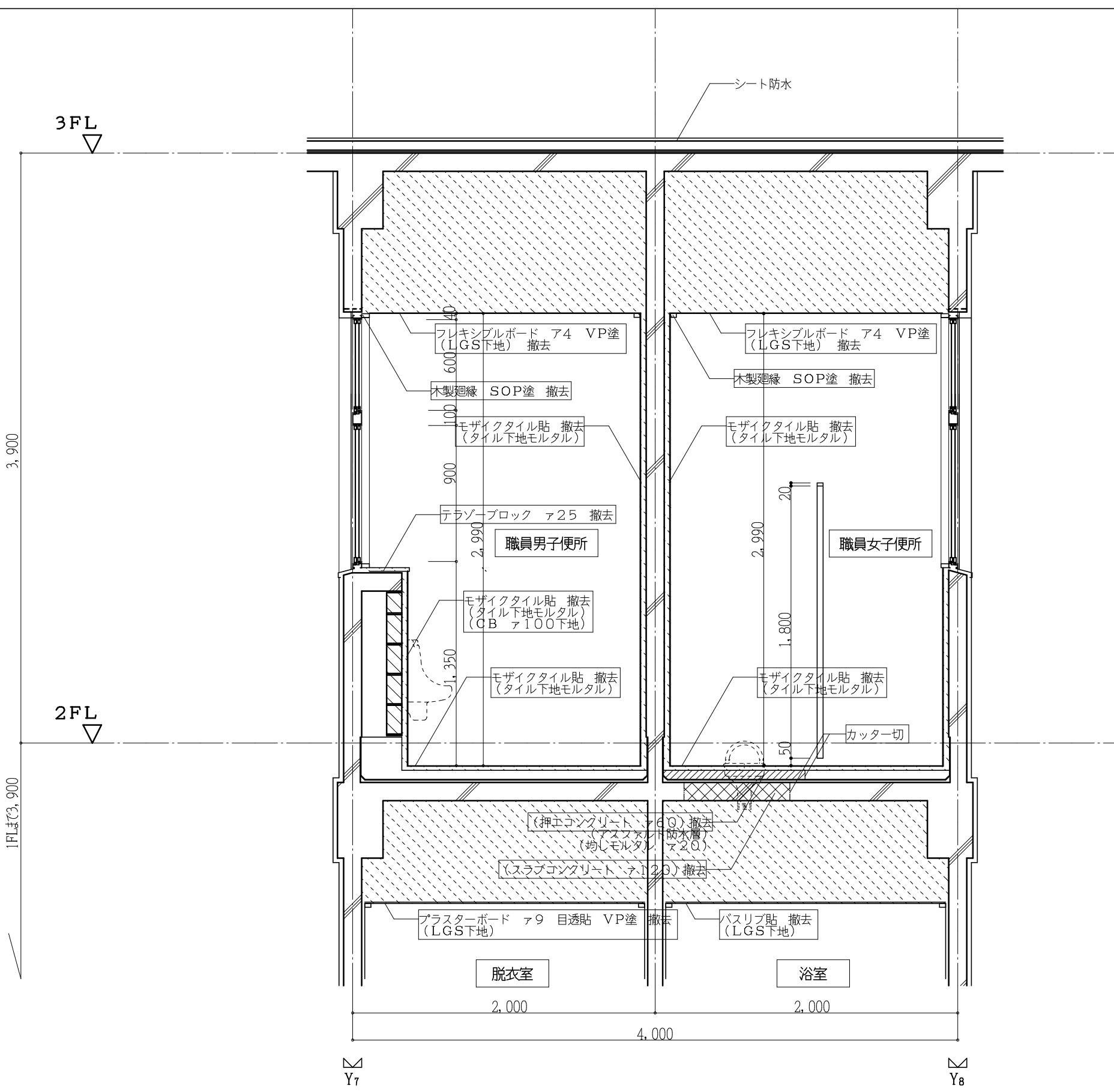
- 17519 | 図面の名称

## ( 体育館棟 ) 現況・改修 1 階平面図

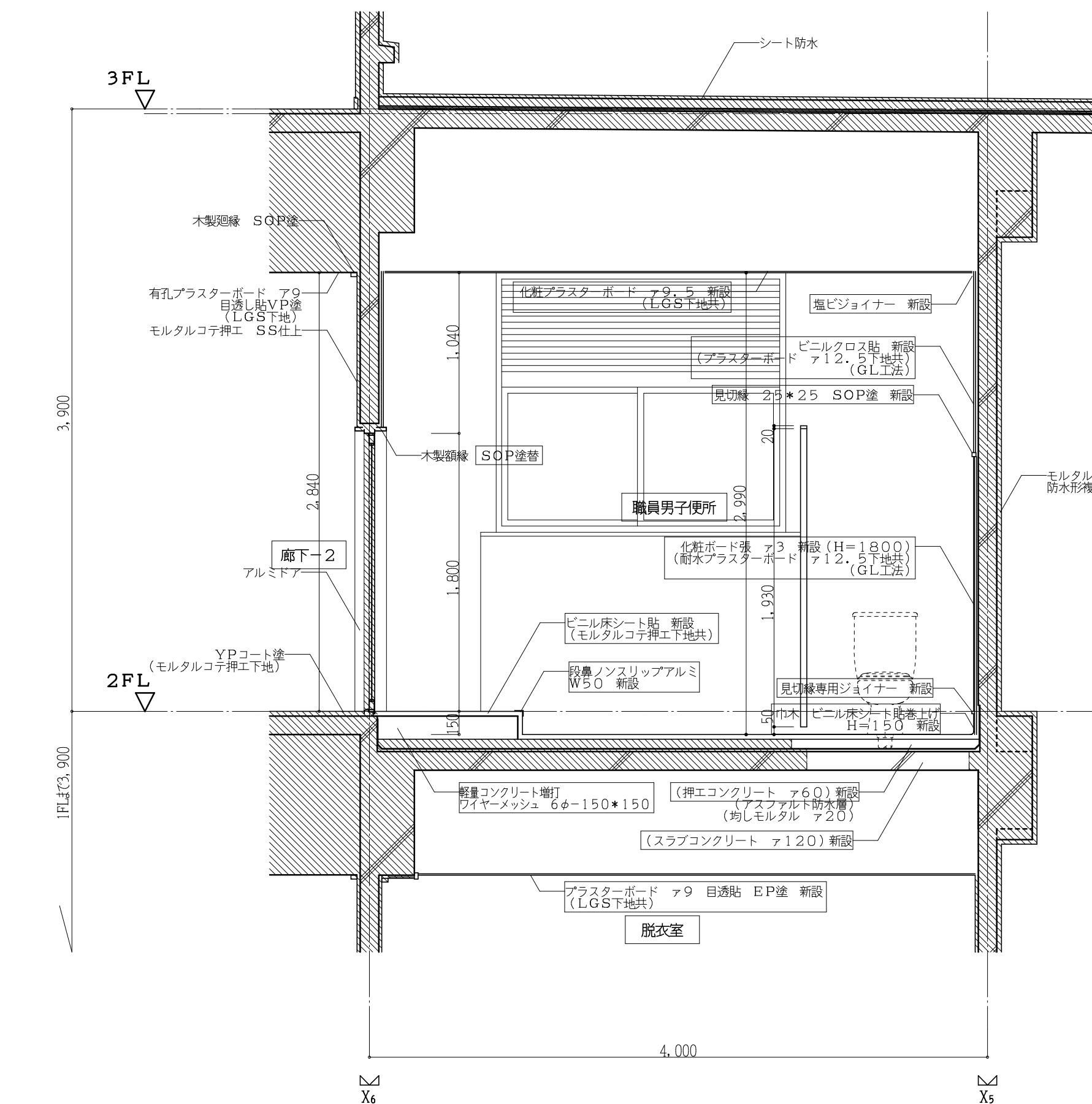
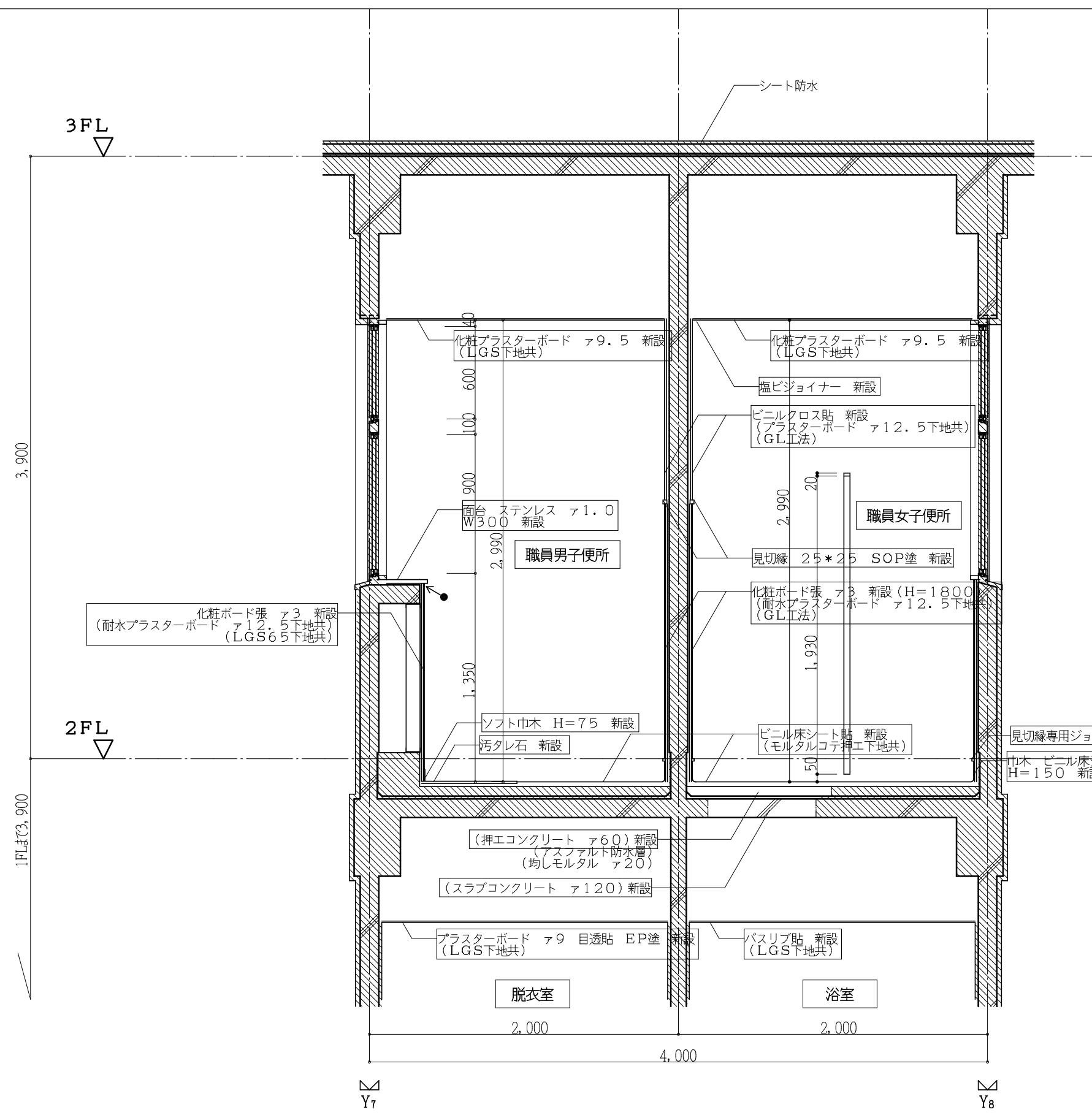
作成年月日

令和2年5月

株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一	検図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二		縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
					1:100	1:200	A-07



(校舎棟) 現況断面詳細図 1:30



(校舎棟) 改修断面詳細図 1:30

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P-17519 図面の名称

作成年月日

株式会社 日匠設計

大日本社 大阪府松原市保1丁目3番12号 一般認定士 198531号 濱田 耕一  
TEL (072) 331-3857 FAX (072) 334-5031  
滋賀事務所 滋賀県守山市中央丁目955 一般認定士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

管理建築士 濱田 耕一 桜田 栄良 作図 大久保 雄二

令和2年5月

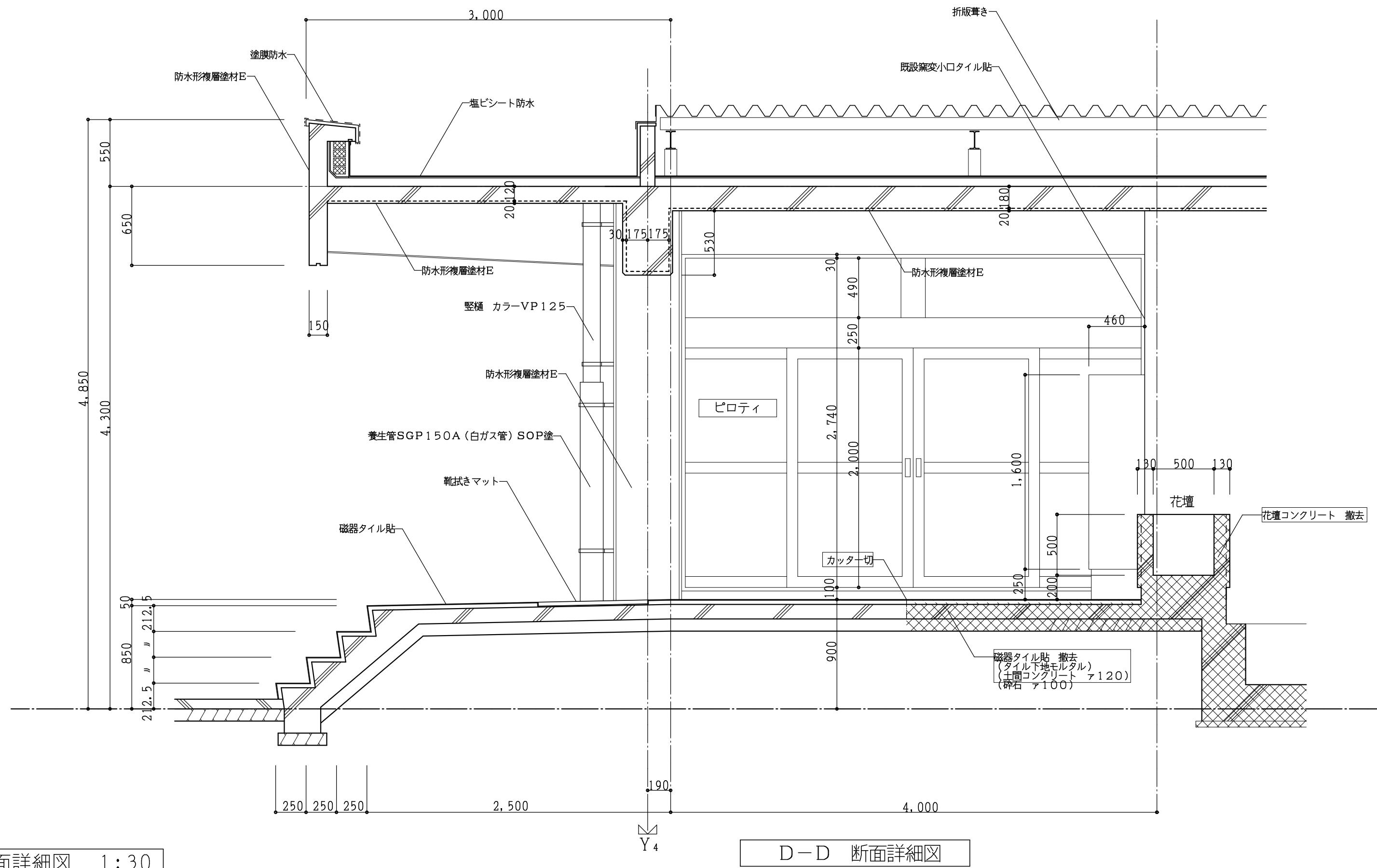
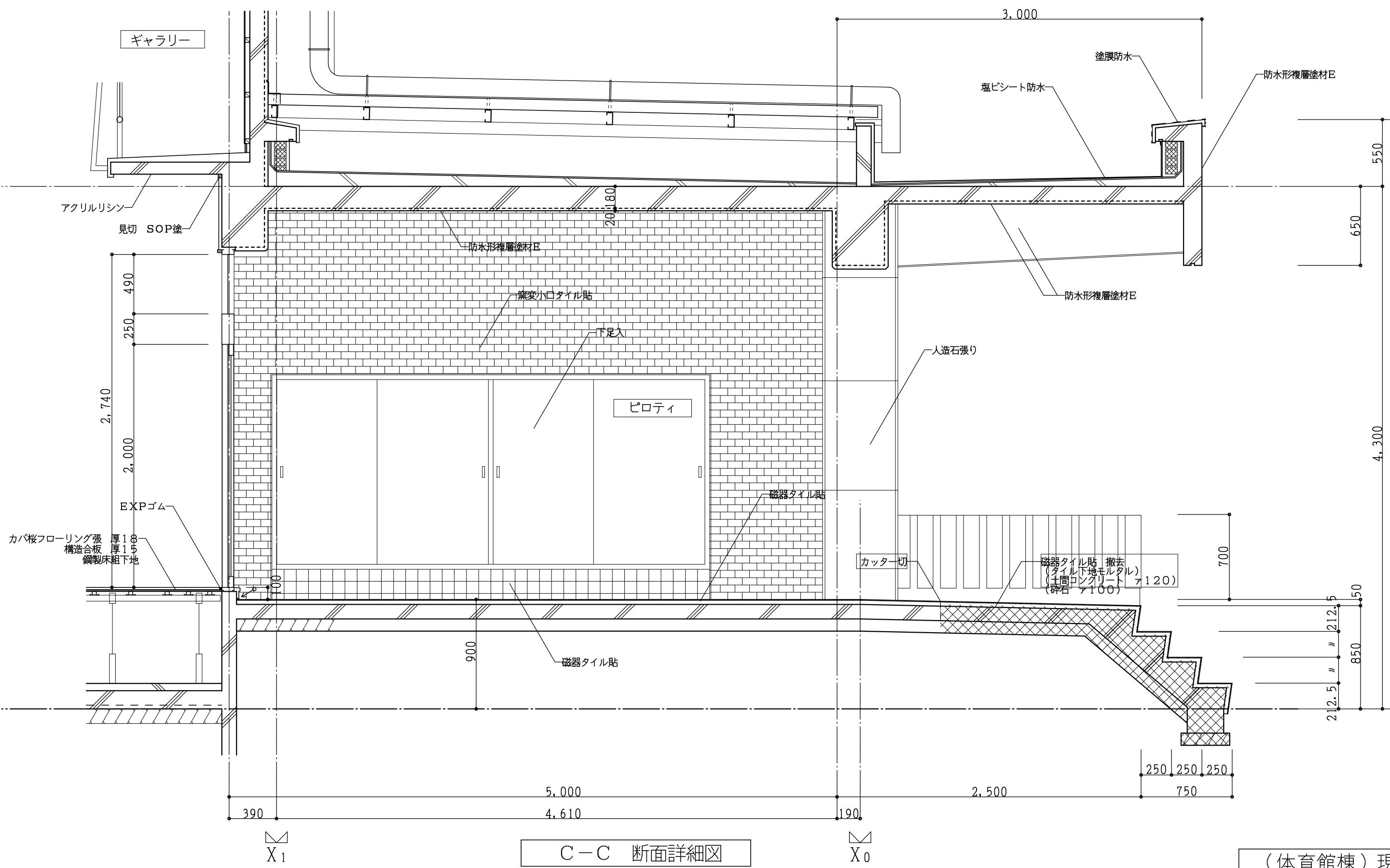
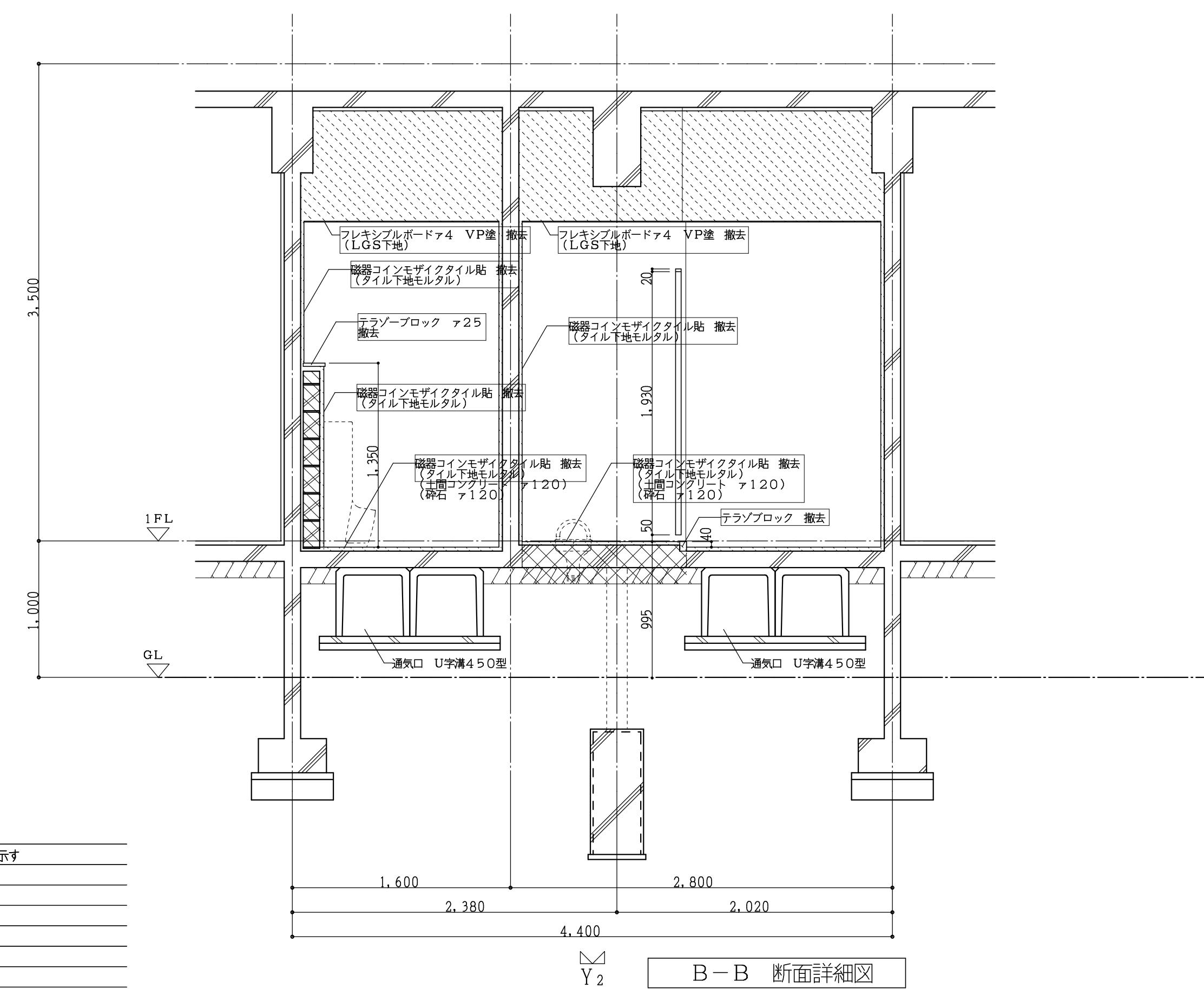
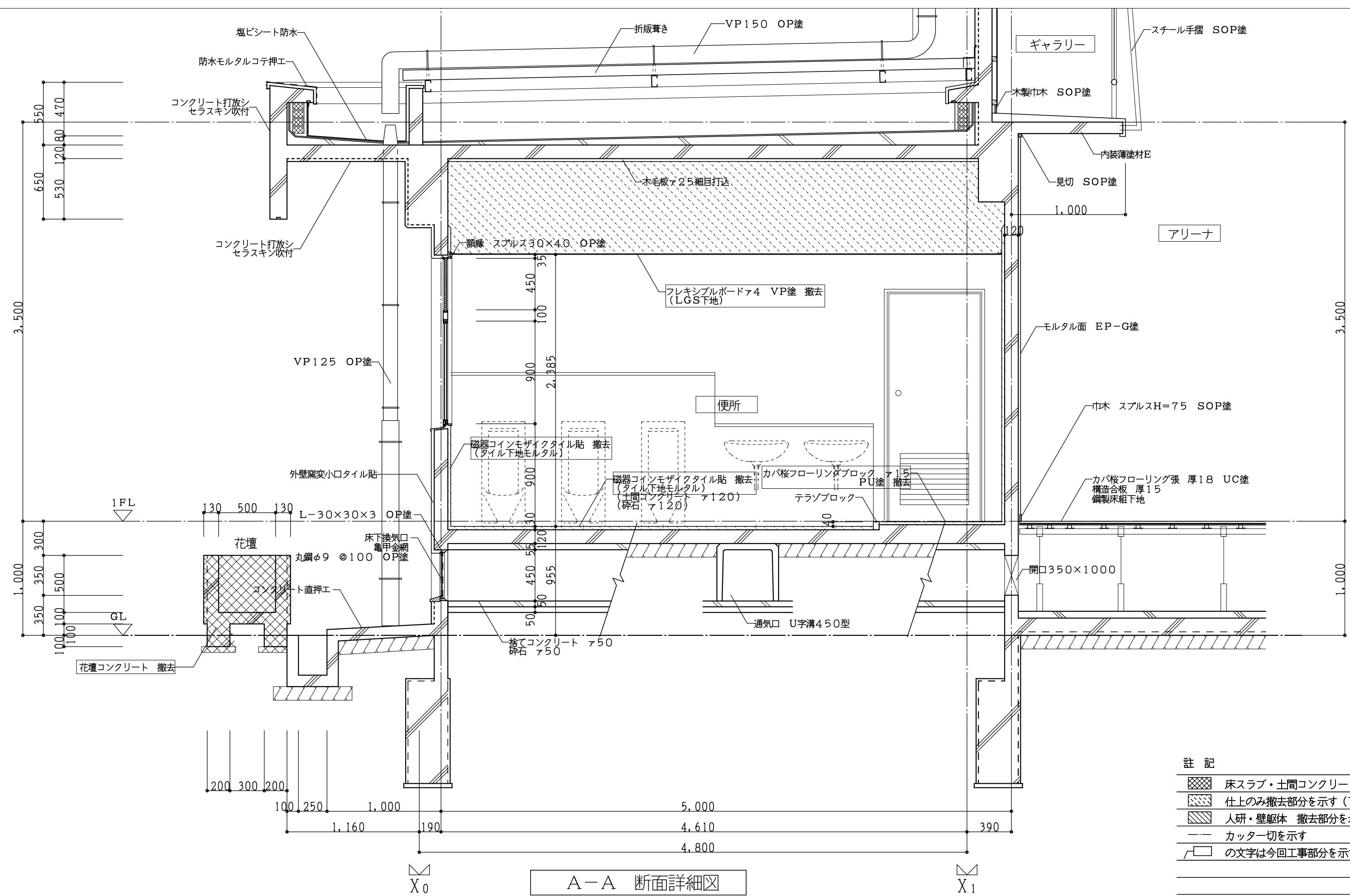
(校舎棟) 現況・改修断面詳細図

図面番号

縮尺 (A 1)	縮尺 (A 3)
1:30	1:60

○はコーキング新設部分を示す  
木材見切縫は桟を使用する

- 記 註
- 床スラブ・土間コンクリート撤去部分を示す
  - 軽量コンクリート撤去部分を示す
  - 仕上のみ撤去部分を示す(下地共)
  - 人研・壁鏡体・撤去部分を示す
  - カッター切を示す
  - の文字は今回工事部分を示す



(体育館棟) 現況断面詳細図 1:30

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519 図面の名称

(体育館棟) 現況断面詳細図

作成年月日

令和2年5月

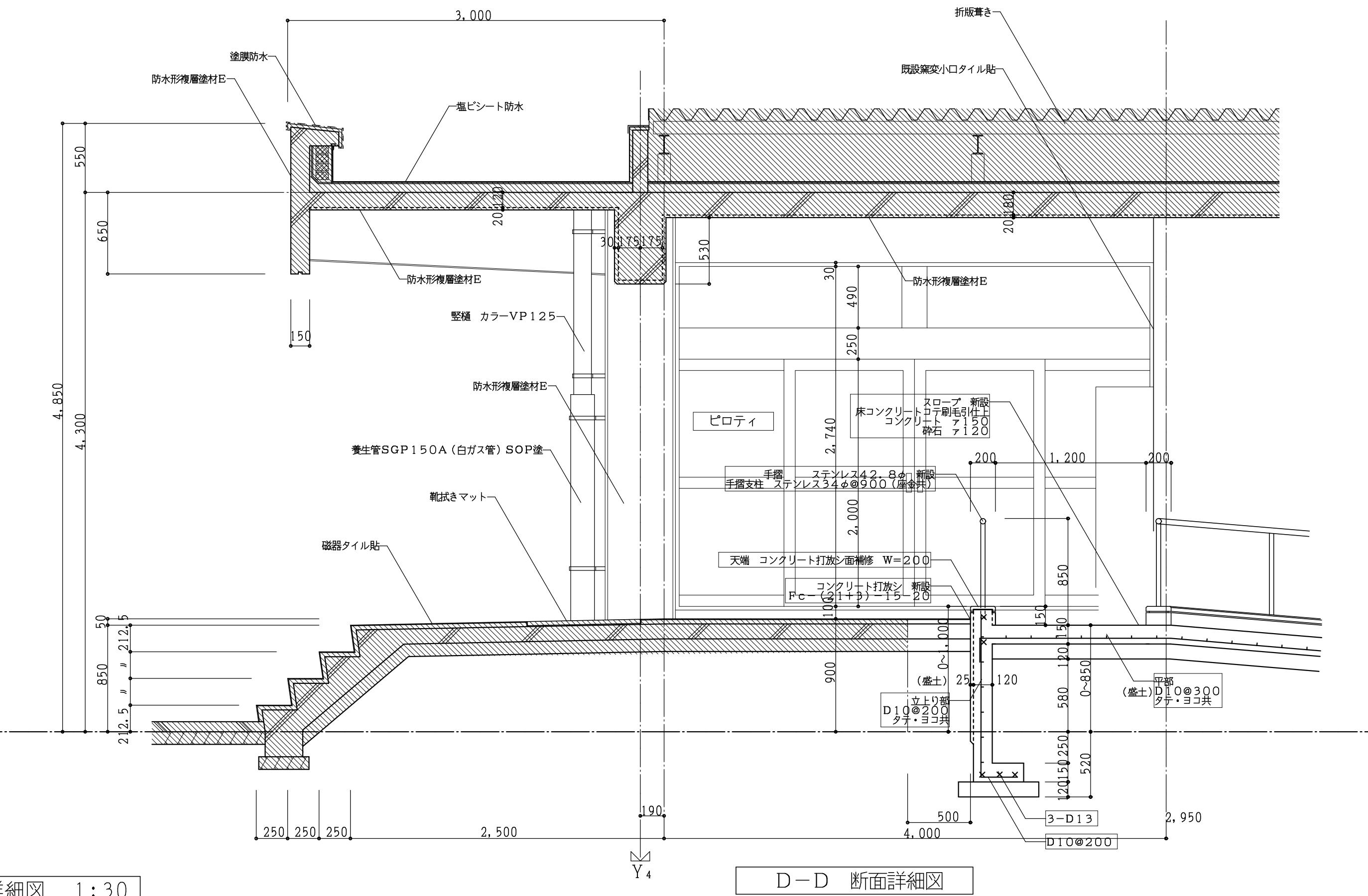
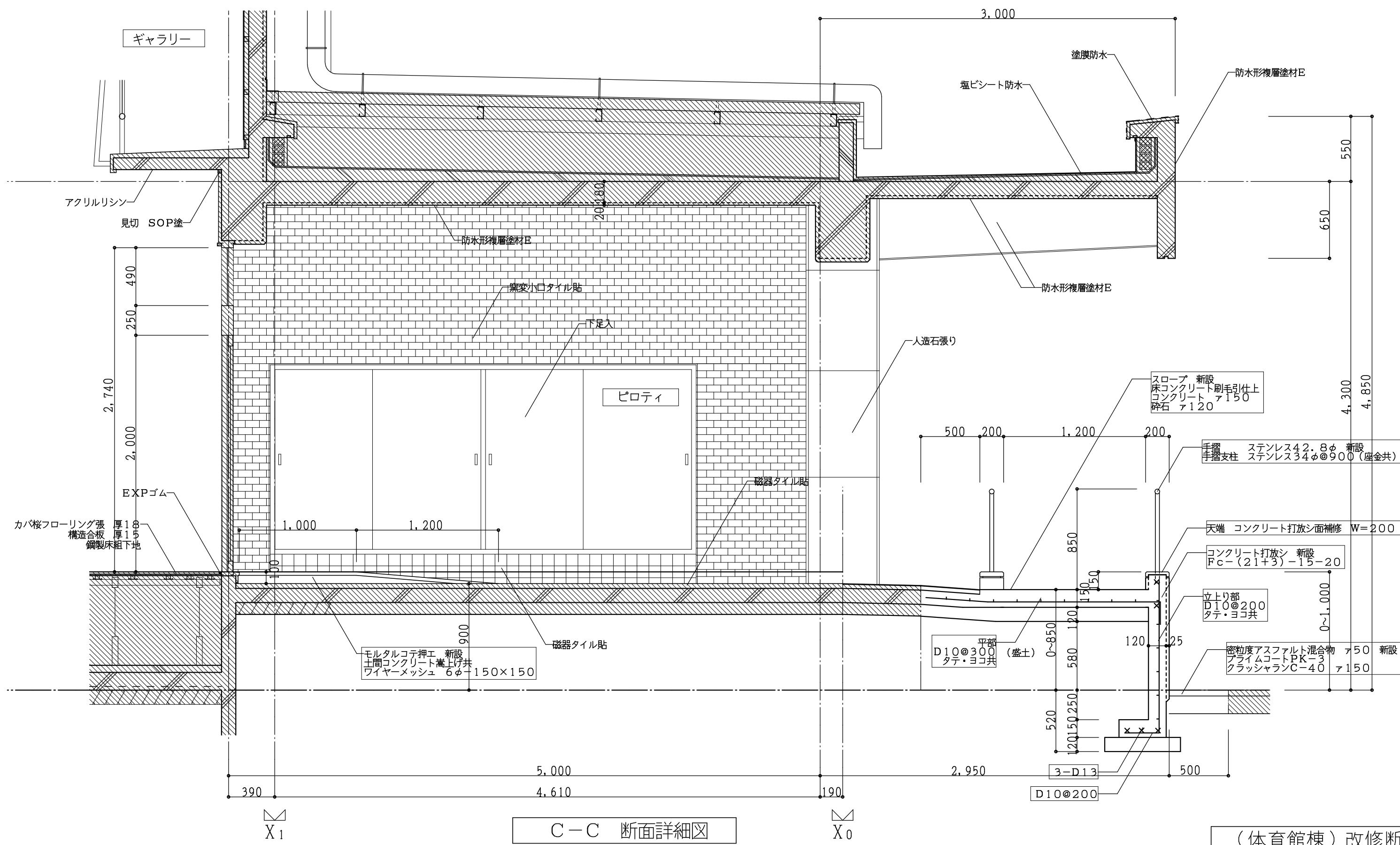
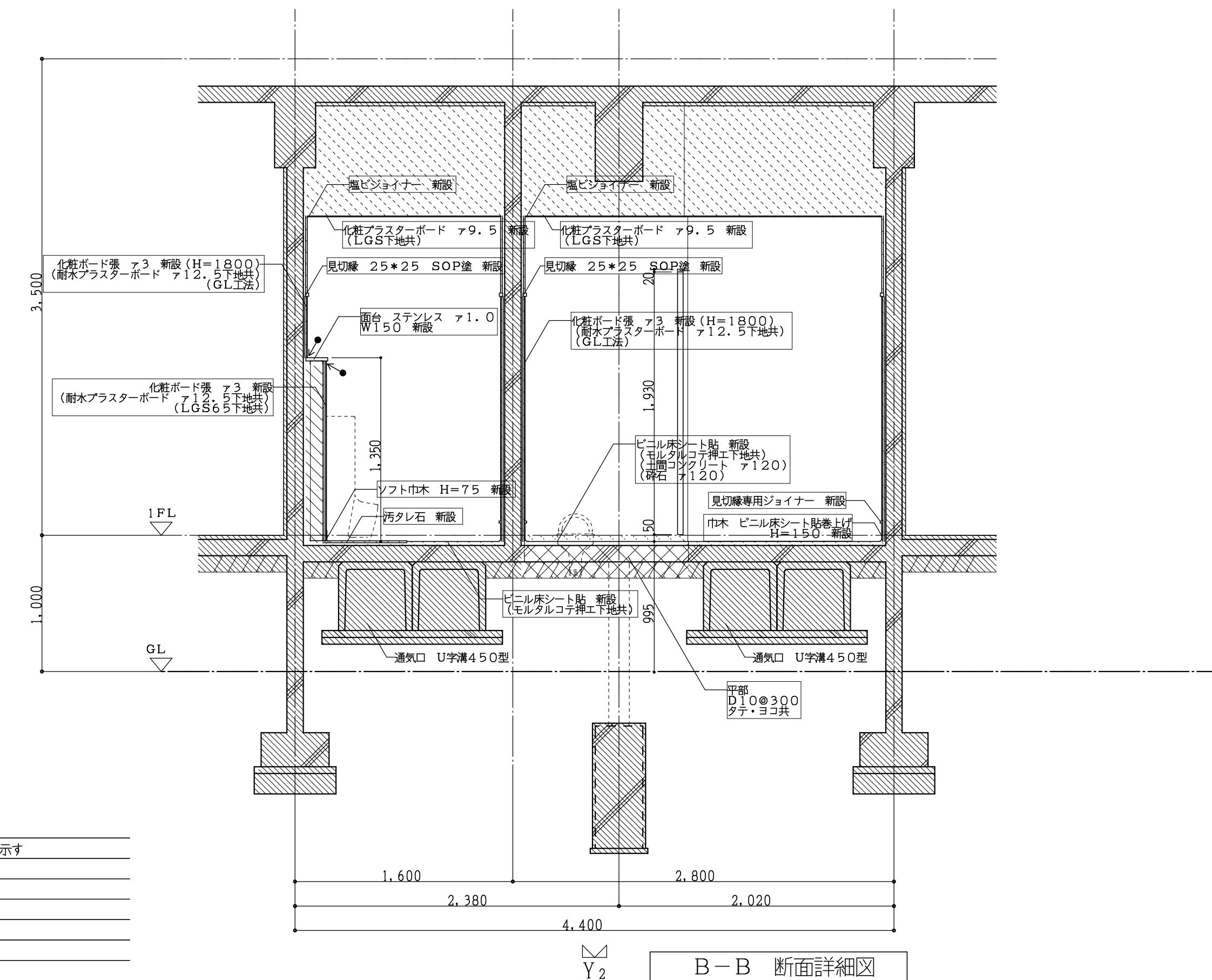
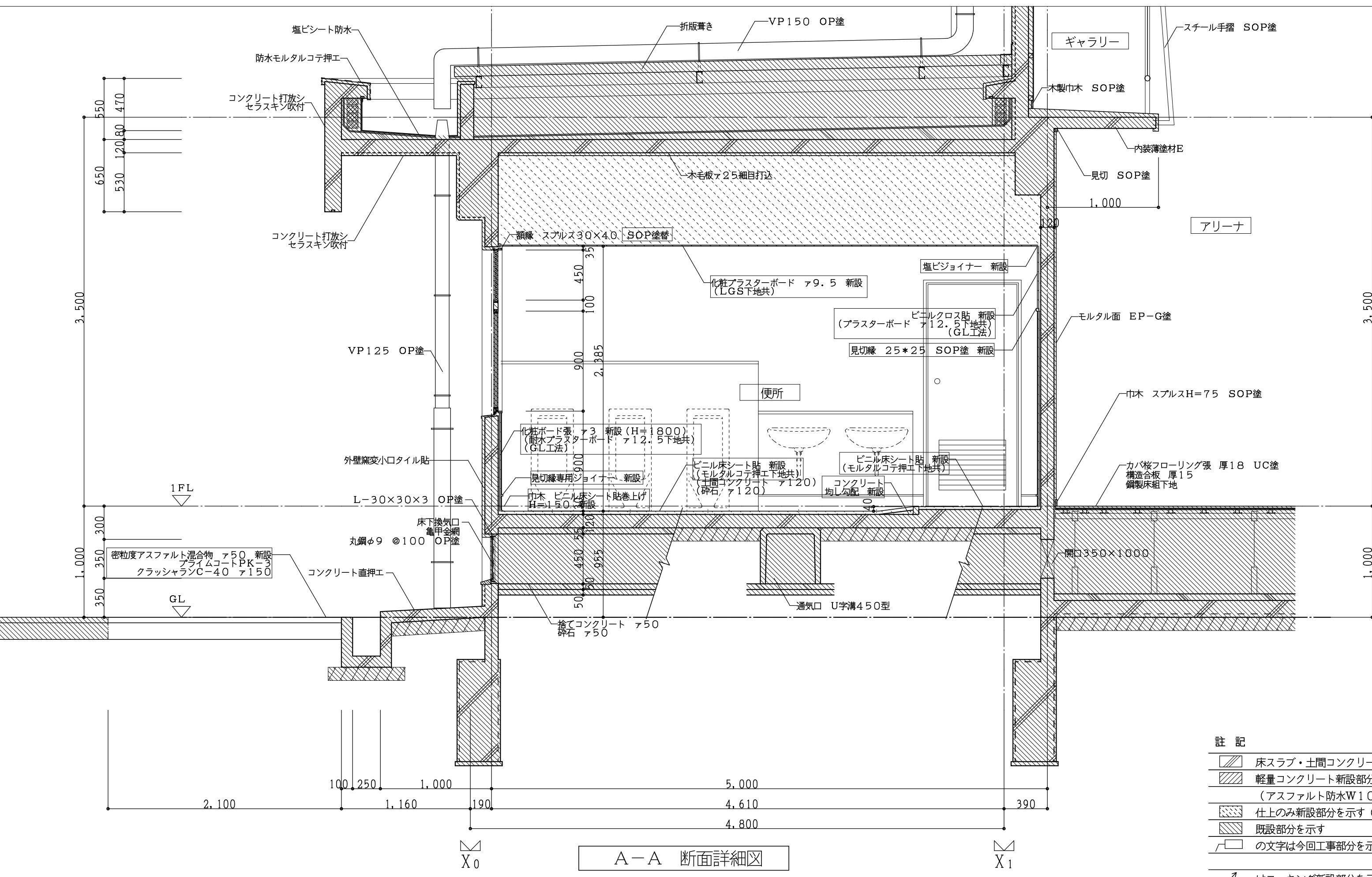
株式会社 日匠設計

大日本社 大阪府松原市保1丁目3番12号 一般認定士 198531号 濑田 耕一  
TEL (072) 331-3853 FAX (072) 334-5031  
滋賀事務所 滋賀県守山市中央丁目95 一般認定士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

管理建築士 濑田 耕一 案図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二

縮尺 (A 1) 縮尺 (A 3) 図面番号

1:30 1:60 A-09



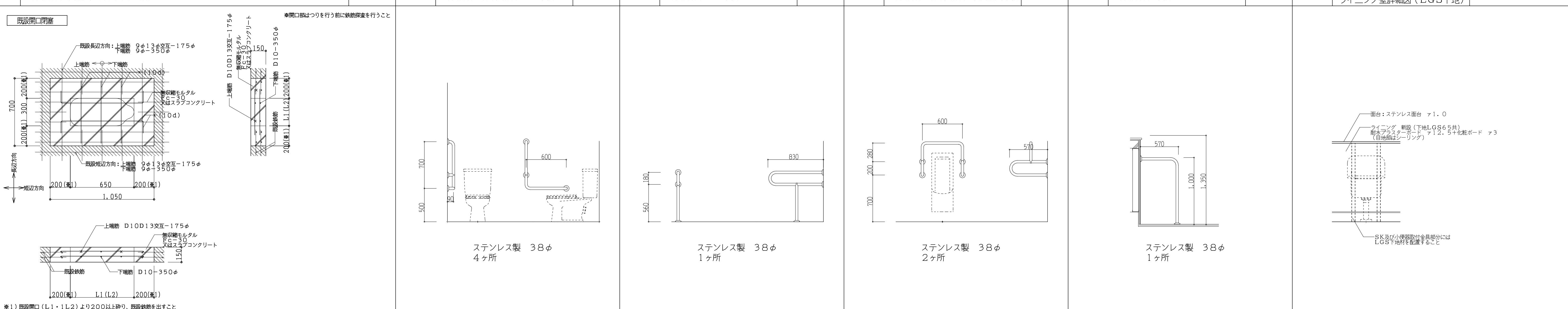
(体育館棟) 改修断面詳細図 1:3

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519 | 図面の名称

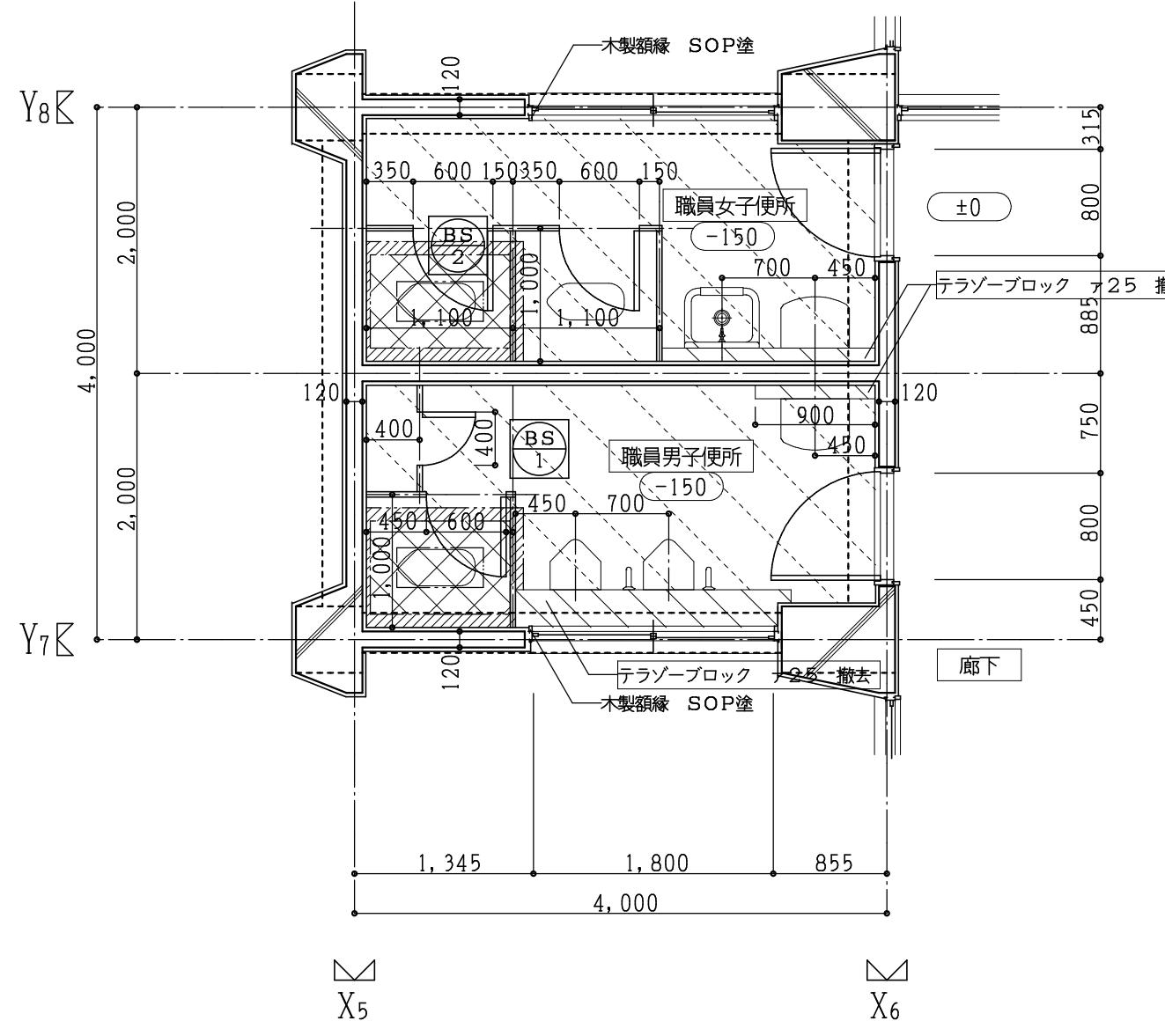
## ( 体育館棟 ) 改修断面詳細図

株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一	検図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二		縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
					1:30	1:60	A-10

D-1	(校舎棟) 便器開口詳細図(2階)	既設範囲を示す	1:20	D-2	(校舎棟・体育館棟) L型手摺	1:30	D-3	(校舎棟) P型手摺	1:30	D-4	(校舎棟・体育館棟) 小便器用手摺	1:30	D-5	(校舎棟) 手摺	1:30	D-6	(校舎棟) ライニング壁詳細図(LGS下地)	1:30
																		

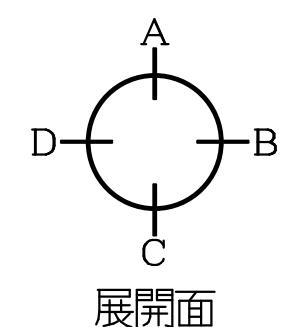
D-7	(体育館棟) スロープ手摺	1:50	D-8	(校舎棟・体育館棟) ステンレス面台	-												
																	

工事番号・工事名		2相連教第721号 相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)	P-17519	図面の名称	作成年月日
株式会社 日匠設計 大本社 大阪府枚方市保1丁目3番12号 一般認定士 198531号 濵田 耕一 TEL (072) - 331-3853 FAX (072) - 334-5031 滋賀事務所 滋賀県守山市中央丁目95 一般認定士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1166	管理建築士 濱田 耕一 杉本 孝良 大久保 雄二 作図 大久保 雄二	検図 杉本 孝良	縮尺(A1) 1:30	縮尺(A3) 1:60	図面番号 A-11 令和2年5月

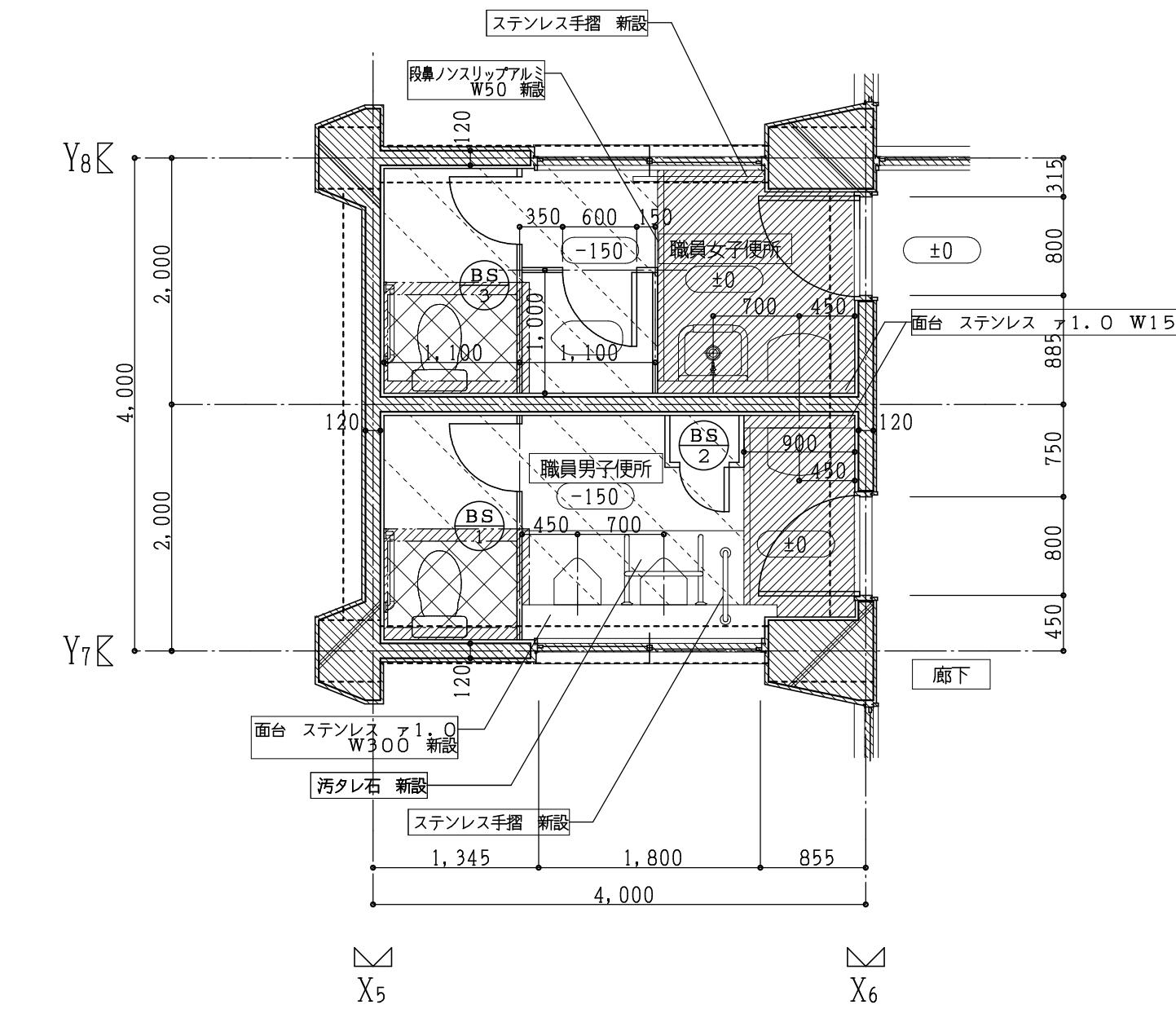


現況2階平面詳細図 1:50

記  
床スラブ・土間コンクリート撤去部分を示す  
軽量コンクリート撤去部分を示す  
仕上のみ撤去部分を示す(モルタル下地共)  
人研 撤去部分を示す  
カッタ一切を示す  
の文字は今回工事部分を示す  
撤去建具を示す  
床高さを示す  
衛生器具は職員女子便所、和便器1個残し他は撤去(設備)

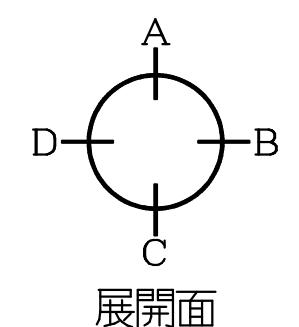


展開面



改修2階平面詳細図 1:50

記  
床スラブコンクリート新設部分を示す  
軽量コンクリート新設部分を示す  
仕上のみ新設部分を示す(モルタル下地共)  
既設部分を示す  
の文字は今回工事部分を示す  
新設・改修建具を示す  
+000 床高さを示す  
衛生器具は職員女子便所、和便器1個残し他は新設(設備)



展開面

室内仕上 ( )内は、下地を示す

棟	階	室名	天井高	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	
校舍棟	2	職員男子便所	現況	2,990	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) 一部 神エコタイル貼 Φ60共 一部 フラッシュタイル貼 Φ120共	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	フレキシブルボード Φ4 VP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース 撤去
			改修	2,990	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) モルタルコテ押工下地モルタル共 軽量コンクリートカナ上 Φ150共 一部 スラブコンクリート Φ60共	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) モルタルコテ押工下地モルタル共 軽量コンクリートカナ上 Φ150共 一部 スラブコンクリート Φ120共	化粧ボード張 Φ6 新設(H=1800) (耐水フロスターボード Φ12.5下地共)	ビニールクロス貼 新設 (耐水フロスターボード Φ12.5下地共)	化粧プラスチックボード Φ9.5 新設 (プラスチックボード Φ12.5下地共)	トイレブース、天井点検口 新設
		職員女子便所	現況	2,990	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) 一部 神エコタイル貼 Φ60共 一部 フラッシュタイル貼 Φ120共	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	フレキシブルボード Φ4 VP塗 撃去 (LGS下地共)	トイレブース 撃去
			改修	2,990	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) モルタルコテ押工下地モルタル共 軽量コンクリートカナ上 Φ150共 一部 神エコタイル貼 Φ60共	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) モルタルコテ押工下地モルタル共 軽量コンクリートカナ上 Φ150共 一部 スラブコンクリート Φ120共	化粧ボード張 Φ6 新設(H=1800) (耐水フロスターボード Φ12.5下地共)	ビニールクロス貼 新設 (耐水フロスターボード Φ12.5下地共)	化粧プラスチックボード Φ9.5 新設 (プラスチックボード Φ12.5下地共)	トイレブース、天井点検口 新設
	1	廊下	現況	2,840	YPコート塗 (モルタルコテ押工下地共)	木製巾木 H=75 OP塗	一部 モルタルコテ押工 スプレッドサテン吹付仕上	一部 モルタルコテ押工 スプレッドサテン吹付仕上	有孔プラスチックボード Φ9 目透し貼VP塗 (LGS下地共)	
			改修	2,840	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま		
		脱衣室	現況	2,840	フローリング張 Φ15 (モルタルコテ押工下地共)	木製巾木 H=75 OP塗	モルタルコテ押工 スプレッドサテン吹付仕上	モルタルコテ押工 スプレッドサテン吹付仕上	プラスチックボード Φ9 目透し貼VP塗 撃去 (LGS下地共)	
		浴室	現況	2,840	モザイクタイル貼 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 (タイル下地モルタル共)	モザイクタイル貼 (タイル下地モルタル共)	バスリップ貼 新設 (LGS下地共)	
		改修	2,840	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま		

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519 図面の名称

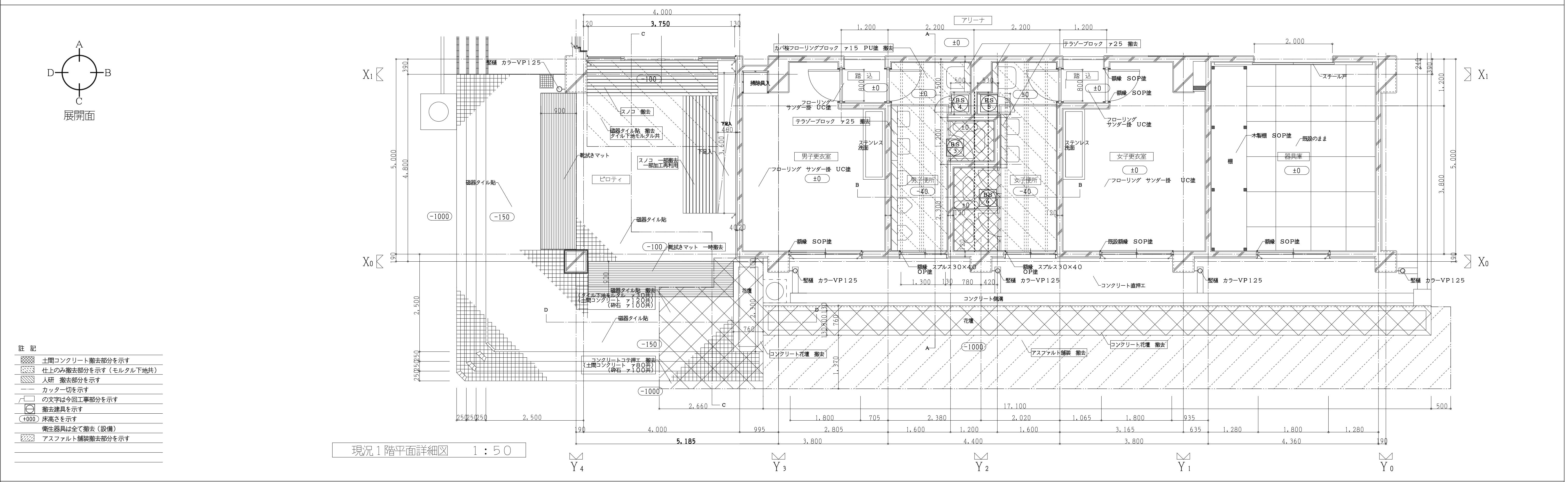
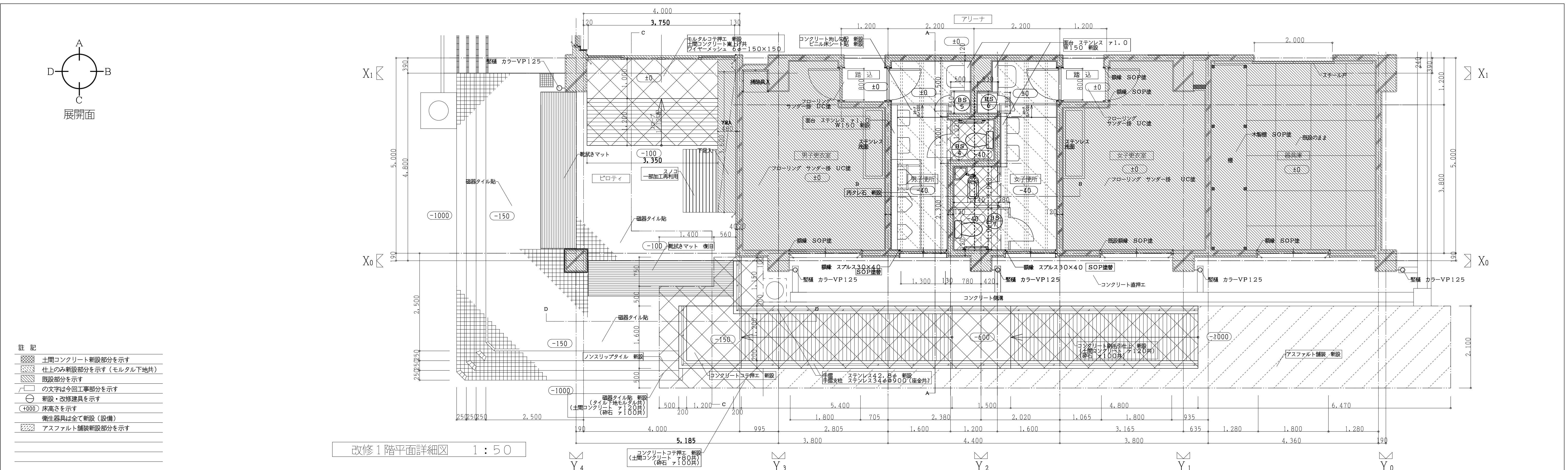
(校舎棟) 現況・改修 2階平面詳細図

作成年月日

令和2年5月

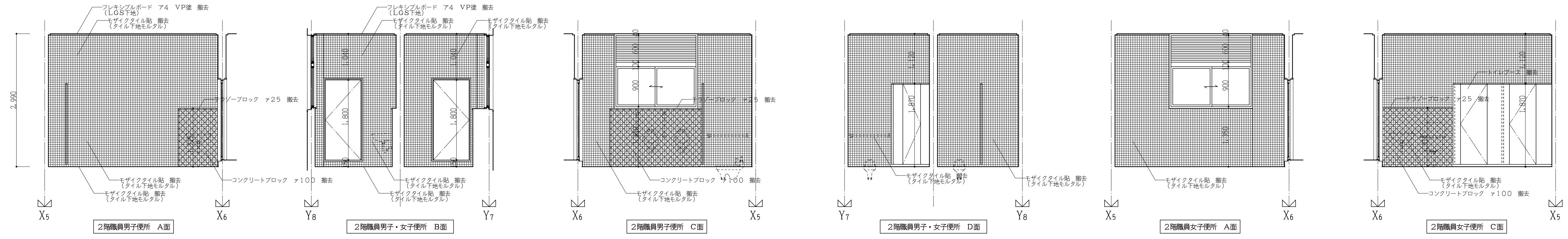
株式会社 日匠設計  
大蔵本社 大蔵松根町南1丁目3番12号 一般認定士 198531号 濱田 耕一  
TEL (0723) 331-3853 FAX (0723) 334-5031  
滋賀事務所 滋賀県大津市中央丁目955 一般認定士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

管理建築士 濱田 耕一 案図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二  
縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号  
1:50 1:100 A-12

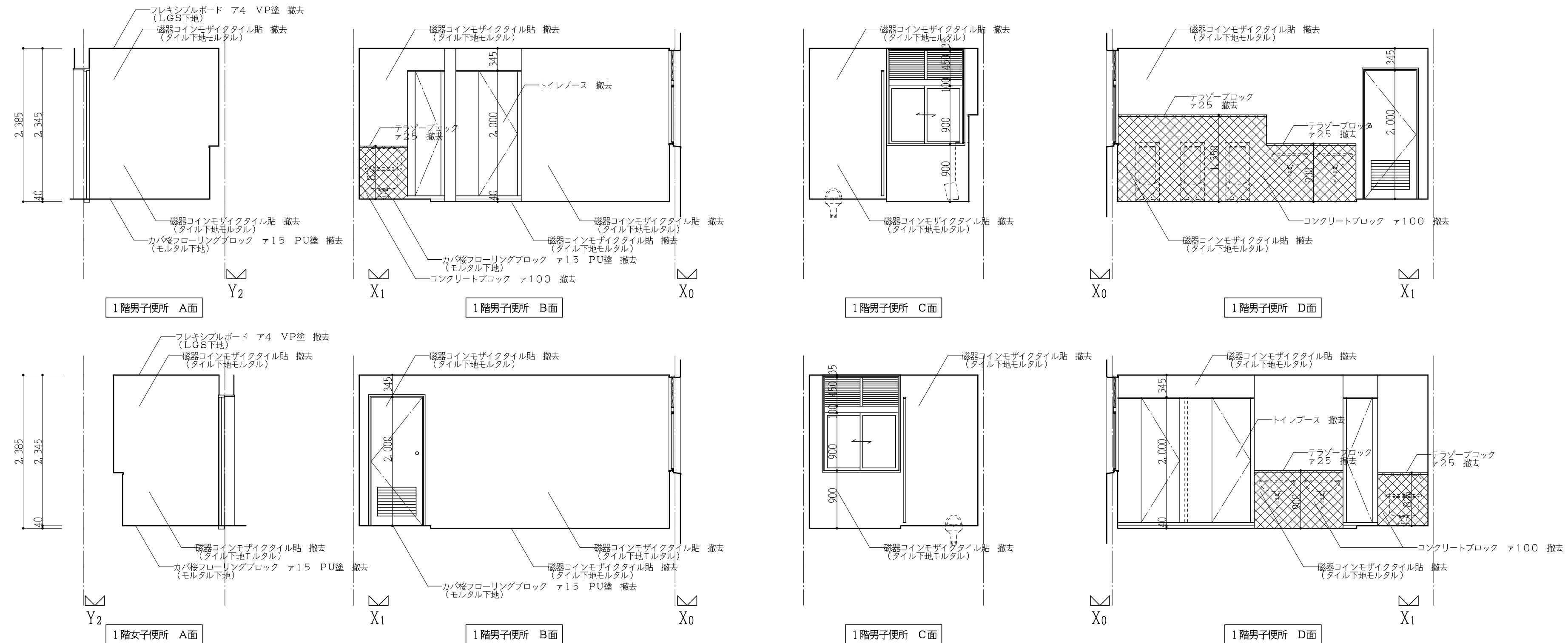


棟	階	室名	天井高	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考
体育館棟	1	男子便所	現況	2,385 磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 土間コンクリート ア120共) 一部 カバ桜フローリングブロック ア15 PU塗 撤去	磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	磁器コインモザイクタイル貼 撤去	フレキシブルボード ア4 VP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース 撤去
			改修	2,385 ビニール床シート貼 新設(モルタルコテ押工下地共) 汚垂石タイル貼 新設 (タイル下地モルタル共) (一部 土間コンクリート ア120共)	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) 一部 ソフト巾木 H=75 新設	化粧ボード張 ア6 新設(H=1800) (耐水プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニールクロス貼 新設 (プラスチックボード ア12.5下地共)	化粧プラスチックボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース, 天井点検口 新設
	2	女子便所	現況	2,385 磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 土間コンクリート ア120共) 一部 カバ桜フローリングブロック ア15 PU塗 撤去	磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	磁器コインモザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	磁器コインモザイクタイル貼 撤去	フレキシブルボード ア4 VP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース 撤去
			改修	2,385 ビニール床シート貼 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 土間コンクリート ア120共)	ビニール床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共)	化粧ボード張 ア6 新設(H=1800) (耐水プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニールクロス貼 新設 (プラスチックボード ア12.5下地共)	化粧プラスチックボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース, 天井点検口 新設

工事番号・工事名 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 ( 笠置中学校第 2 期 )	P - 1 7 5 1 9	図面の名称 ( 体育館棟 ) 現況・改修平面詳細図	作成年月日 令和2年5月		
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	縮尺 ( A 1 ) 1 : 30	縮尺 ( A 3 ) 1 : 60	図面番号 A - 1 3



(校舎棟) 現況展開図 1 : 50



(体育館棟) 現況展開図 1 : 50

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519 図面の名称

(校舎棟・体育館棟) 現況展開図

作成年月日

令和2年5月

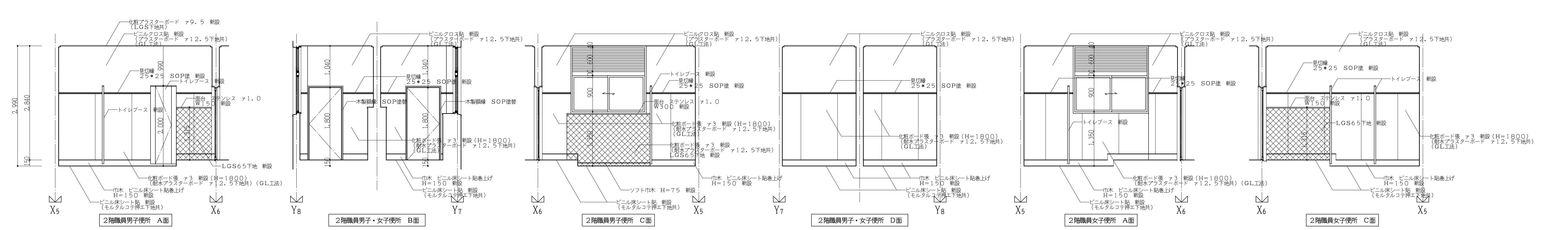
株式会社 日匠設計

大森本社 大森駅前ビル1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濱田 耕一  
TEL (0723) 331-3857 FAX (0723) 334-5031  
滋賀事務所 滋賀県湖東市中央丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

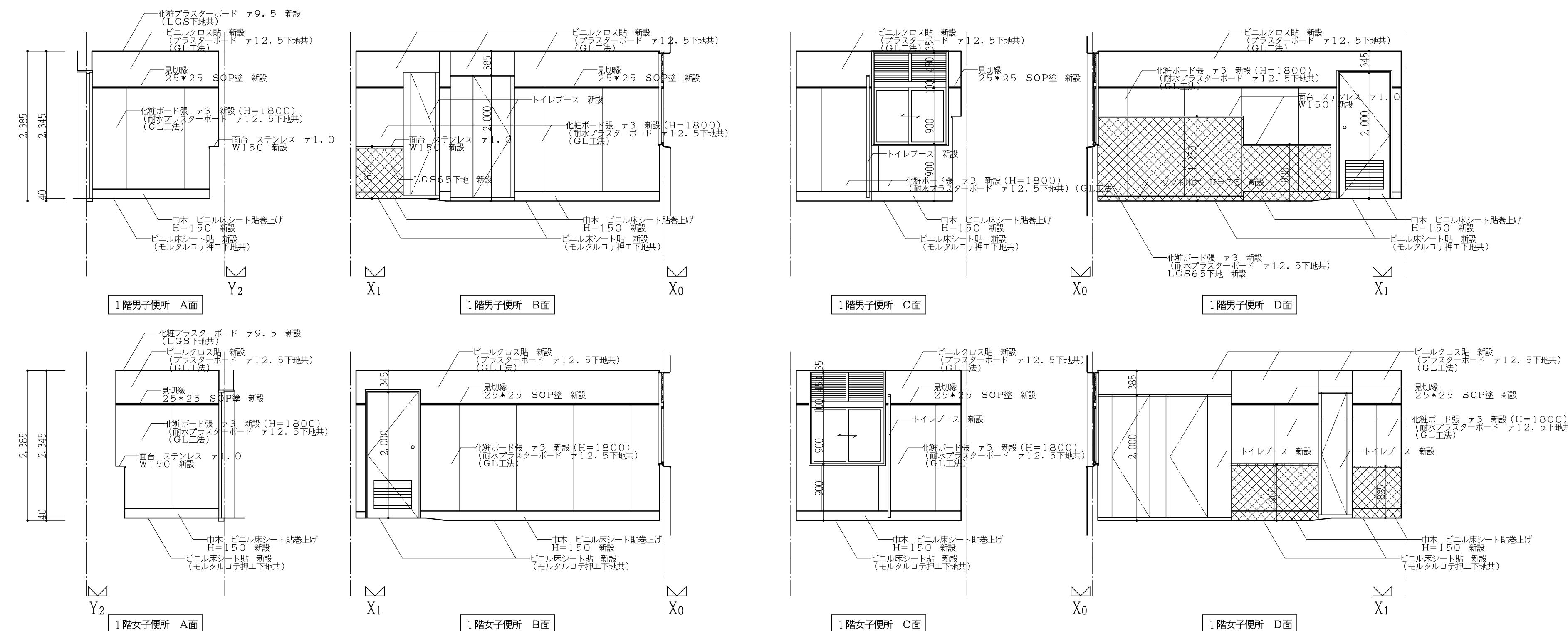
管理建築士 濱田 耕一 案図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二

縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号

1:50 1:100 A-14



(校舎棟) 改修展開図 1 : 50



(体育館棟)改修展開図 1 : 50

工事番号・工事名 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)	P - 17519	図面の名称 (校舎棟・体育館棟)改修展開図	作成年月日 令和2年5月	
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 (A1) 1:50	縮尺 (A3) 1:100	図面番号 A-15

## 現況建具リスト 1:50

記号	(BS-1) トイレブース 撃去	(BS-2) トイレブース 撃去	(BS-3) トイレブース 撃去	(BS-4) トイレブース 撃去	(BS-5) トイレブース 撃去	(BS-6) トイレブース 撃去	
数	1ヶ所	40	1ヶ所	40	1ヶ所	40	1ヶ所
見込							
仕上	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	
ガラス	-	-	-	-	-	-	
金物	-	-	-	-	-	-	
使用箇所	校舎棟 2階職員男子便所	校舎棟 2階職員女子便所	体育館棟 1階男子便所	体育館棟 1階男子便所	体育館棟 1階女子便所	体育館棟 1階女子便所	
備考	-	-	-	-	-	-	

## 改修建具リスト 1:50

記号	(BS-1) トイレブース 新設	(BS-2) トイレブース 新設	(BS-3) トイレブース 新設	(BS-4) トイレブース 新設	(BS-5) トイレブース 新設	(BS-6) トイレブース 新設	(BS-7) トイレブース 新設
数	1ヶ所	40	1ヶ所	40	1ヶ所	40	1ヶ所
見込							
仕上	ボリューム(小口処理)	同左	同左	同左	同左	同左	同左
ガラス	-	-	-	-	-	-	-
金物	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, 表示板, グレービティヒンジ, 戸当り帽子掛け付	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, グレービティヒンジ	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, 表示板, グレービティヒンジ, 戸当り帽子掛け付	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, 表示板, グレービティヒンジ, 戸当り帽子掛け付	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, グレービティヒンジ	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, 表示板, グレービティヒンジ, 戸当り帽子掛け付	SUS鋼ソナギ40×20, SUS鈴木, 表示板, グレービティヒンジ, 戸当り帽子掛け付
使用箇所	校舎棟 2階職員男子便所	校舎棟 2階職員女子便所	校舎棟 2階職員女子便所	体育館棟 1階男子便所	体育館棟 1階男子便所	体育館棟 1階女子便所	体育館棟 1階女子便所
備考							

記号							
数							
見込							
仕上							
ガラス							
金物							
使用箇所							
備考							

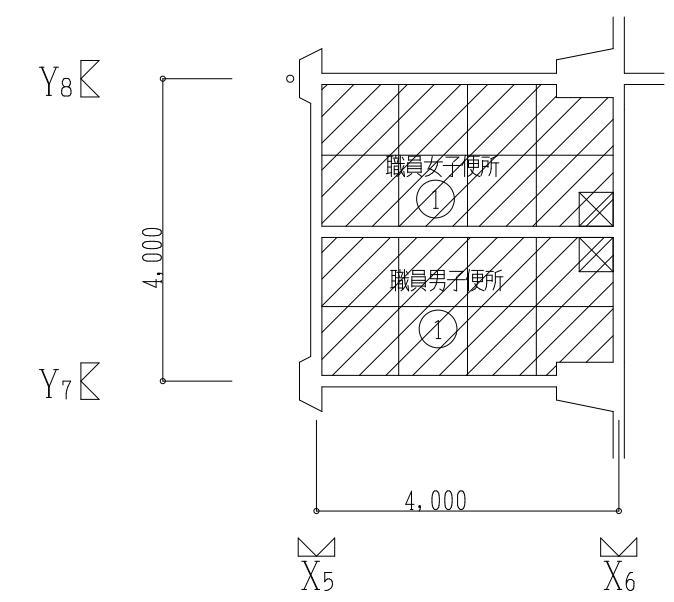
工事番号・工事名 2相連教第721号  
 相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
 (笠置中学校第2期)

P - 17519 図面の名称

作成年月日 令和2年5月

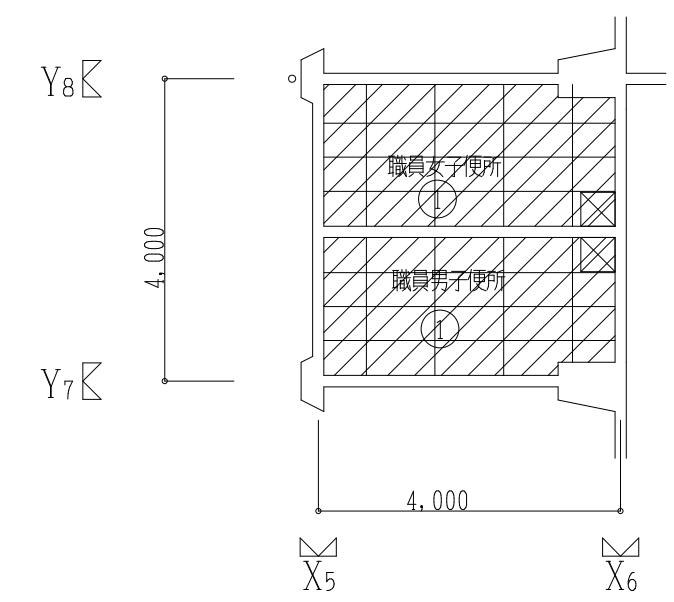
株式会社 日匠設計  
 大阪本社 大阪府枚方市御厨1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一  
 TEL (072) 331-3853 FAX (072) 334-5931  
 滋賀事務所 滋賀県大津市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
 TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

管理建築士 濑田 耕一	検図	杉本 孝良	作図 大久保 雄二	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
				1:50	1:100	A-16



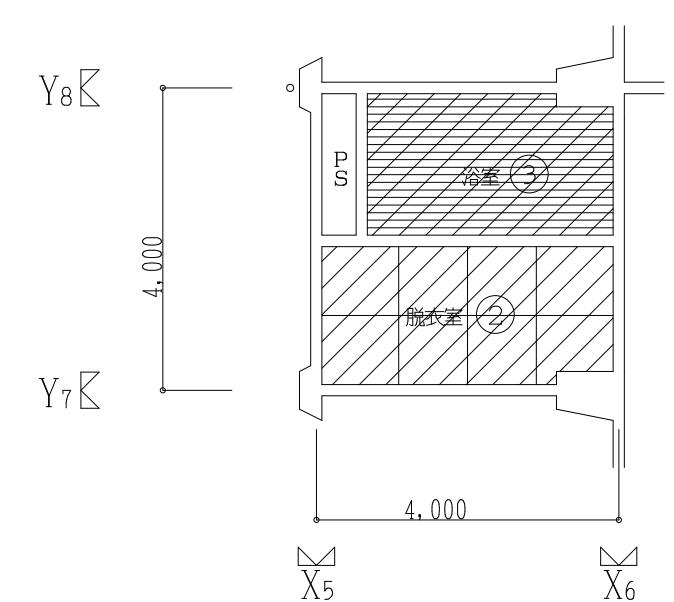
(校舎棟) 現況2階天井伏図 1:100

現況天井 仕上リスト	
	改修
①	フレキシブルボード 74 VP塗 撤去 (LGST地共)
②	プラスチーボード 79.0 目隠し貼VP後 新設 (LGST地共)
③	バシリフ貼 撤去 (LGST地共)
☒	点検口アルミ製 450角 撤去
	撤去範囲を示す

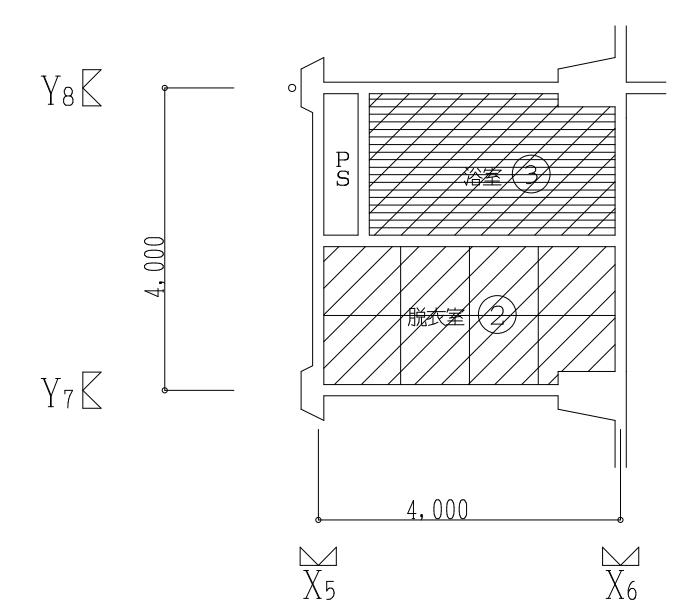


(校舎棟) 改修2階天井伏図 1:100

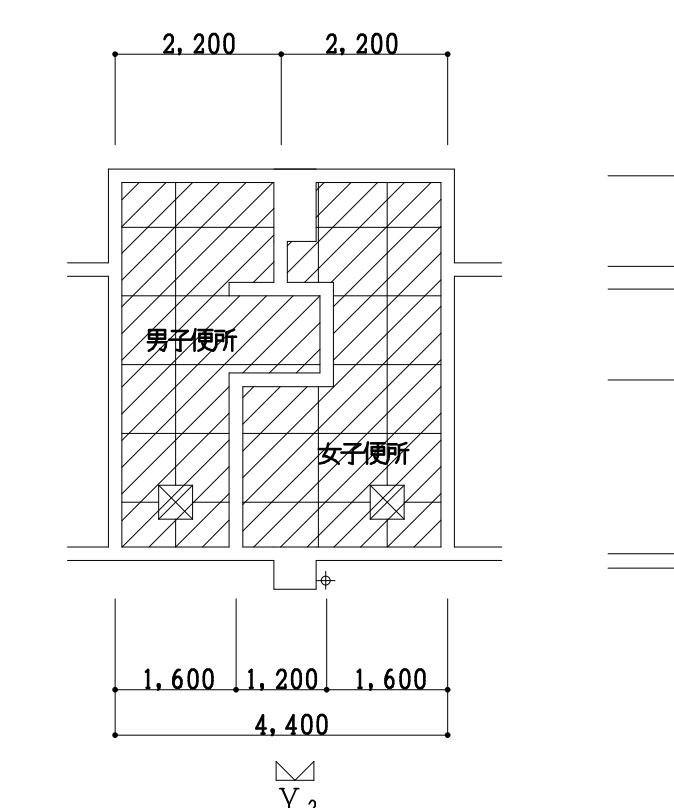
改修天井 仕上リスト	
	改修
①	化粧プラスチーボード 79.5 新設 (LGST地共)
②	ナスカーボード 79.0 目隠し貼EP後 新設 (LGST地共)
③	バシリフ貼 新設 (LGST地共)
☒	点検口アルミ製 450角 新設
	新設範囲を示す



(校舎棟) 現況1階天井伏図 1:100

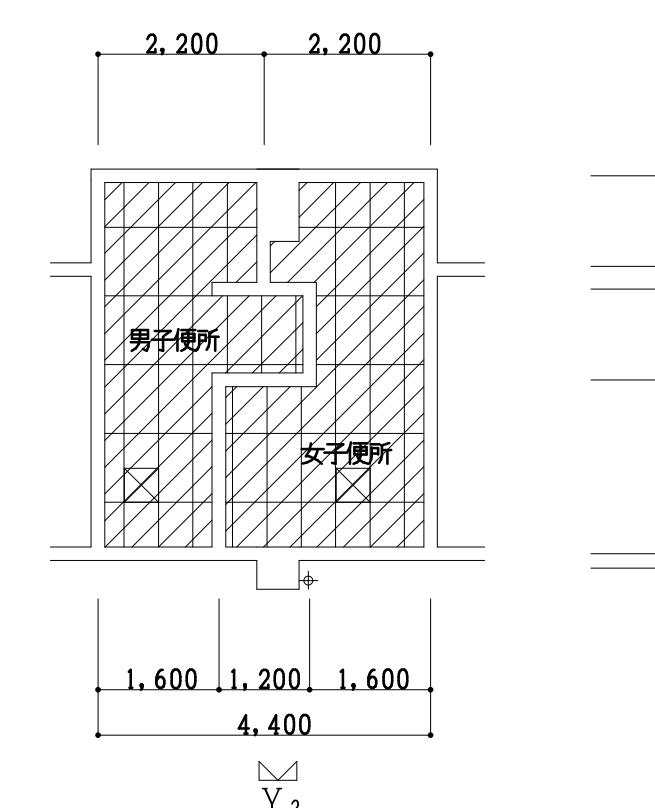


(校舎棟) 改修1階天井伏図 1:100



(体育館棟) 現況1階天井伏図 1:100

現況天井 仕上リスト	
	改修
①	フレキシブルボード 74 VP塗 撤去 (LGST地共)
☒	点検口アルミ製 450角 撤去
	撤去範囲を示す



(体育館棟) 改修1階天井伏図 1:100

改修天井 仕上リスト	
	改修
①	化粧プラスチーボード 79.5 新設 (LGST地共)
☒	点検口アルミ製 450角 新設
	新設範囲を示す

工事番号・工事名 2相連教第721号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P - 17519

図面の名称  
(校舎棟) 現況・改修1、2階天井伏図  
(体育館棟) 現況・改修1階天井伏図

作成年月日  
令和2年5月

株式会社 日匠設計  
大森本社 大阪府枚方市深原1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一  
TEL (072) 331-3853 FAX (072) 334-5031  
滋賀事務所 滋賀県大津市中央1丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166

管理建築士 濑田 耕一 構図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二  
1:200 1:400 A - 17

縮尺 (A 1) 縮尺 (A 3) 図面番号  
1:200 1:400 A - 17

## 電気設備工事特記仕様書

1) 工事概要	
工事名称	相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事(笠置中学校第2期)
工事場所	京都府相模郡笠置町大字北大河原地内
建物構造	<input checked="" type="checkbox"/> 一般建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物
建物用途	建築基準法 消防法施行令 第7項( )
用途地域	都市計画区域外
工事期間	(ただし、現地における作業は、平成 年 月 日以後とする。)

2) 工事項目		工事項目は、No.記入項目を適用する。							
N0	工事項目	新設	増設	改修	No.	工事項目	新設	増設	改修
( )	低圧引込設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	電気時計設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	受変電設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	自動火災報知設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	自家発電設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	防火戸自閉設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	電動動力幹線設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	ガス漏れ警報設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	動力設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	構内情報設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(1)	電灯コンセント設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	( )	緊急通報設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	電話設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	機械設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	拡声設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	在席・退出表示設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	テレビ共聴設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	中央監視設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	監視カメラ設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	ナイター照明設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	インターホン設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	太陽光発電設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	トイレ呼出設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	( )	9) 本工事の工事区分は建築工事 工事区分表参照とする。			
( )	チャイム設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

3) 建物概要	
N0	建物名称
1	構造
2	階数 地下/地上 延面積 m <sup>2</sup>
3	備考
	合計

4) 共通事項	
● 適用	項目および特記事項は、印の付いたものを本工事に適用する。
● 監督員	監督員とは、工事請負契約書に規定する監督員をい。
	● 国土交通省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事標準仕様書」最新年度版
	● 国土交通省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事標準仕様書解説(総則編・電気編)」最新年度版
	● 国土交通省大臣官房官公廳官舎監修「電気設備工事標準仕様書」平成28年度版
	● 国土交通省大臣官房官公廳官舎監修「電気設備工事標準仕様書」平成28年度版
	● 電気設備技術基準
	● 日本電気協会電気技術標準調査委員会編「内規規定」平成28年度版
	● 建設設備設計施工上の指導指針(住宅局) 最新年度版

● 優先順位	
1)	現場説明 2) 本特記仕様書 3) 本設計図 4) 標準仕様書
2)	① 本工事は、工事請負契約書より契約款式遵守し、現場説明、特記仕様書、設計図、施工標準図および「共通仕様書」により完全に施工する。
3)	② 必要な開通手続へ必ず手続きをすれば、施工する。
4)	③ 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督員と打ち合わせの上、その指示に従い施工する。
5)	④ その他開通諸法規に基づき完全に施工する。

● 施工基準	
1)	本工事は、工事請負契約書より契約款式遵守し、現場説明、特記仕様書、設計図、施工標準図および「共通仕様書」により完全に施工する。
2)	① 既存のコンクリート床、壁等の貫通部の穴開けは原則として、ダイヤモンドカッターによる。
3)	② その他開通諸法規に基づき完全に施工する。
4)	③ だれもが住みたくなる福音のまちづくり条例に準拠し施工のこと。

● 設工図	
1)	工事写真に関しては、国土交通大臣官房官舎監修部監修「工事写真の撮り方」に準ずる。
2)	工事完成後に見えない地中埋設、コンクリート埋設、天井裏部分等の監督員指示箇所を撮影する。
3)	国土交通大臣官房官舎監修部監修「電気設備工事施工監理指針」平成28年度版による。

● 技術管理	
1)	請負人は専任として建設業法に定める技術者の任命を行い、現場に派遣し、(常駐●否常駐)技術管理にあたるとともに全工事に支障なきよう施工する。資格の区分は、「I」とする。
2)	各試験を必要とするもの、責任施工のもの等は、各自格書または保証書を提出する。
3)	なお、責任施工のものは、材料製造者、施工業者、請負契約者等名前を記す。
4)	請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準じて適切に処理すること、事前に監督員に処理計画書を提出し、承諾を得ること。特別管理産廃物(○有●無)

● 保険等	
1)	請負人は工事の内容に応じて火災保険、組合保険、第三者保険を工事目的物に付するものとする。(●建築工事 ○電気設備工事 ○機器設備工事)
2)	工事着工前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講じること。
3)	機器材料、製品等は記載されたもの、または同品目以上とする監督員の承認を受けること。
4)	労働安全衛生管理義務者には、(●建築工事 ○電気設備工事 ○機器設備工事)の記載事項の工事請負を指名する。

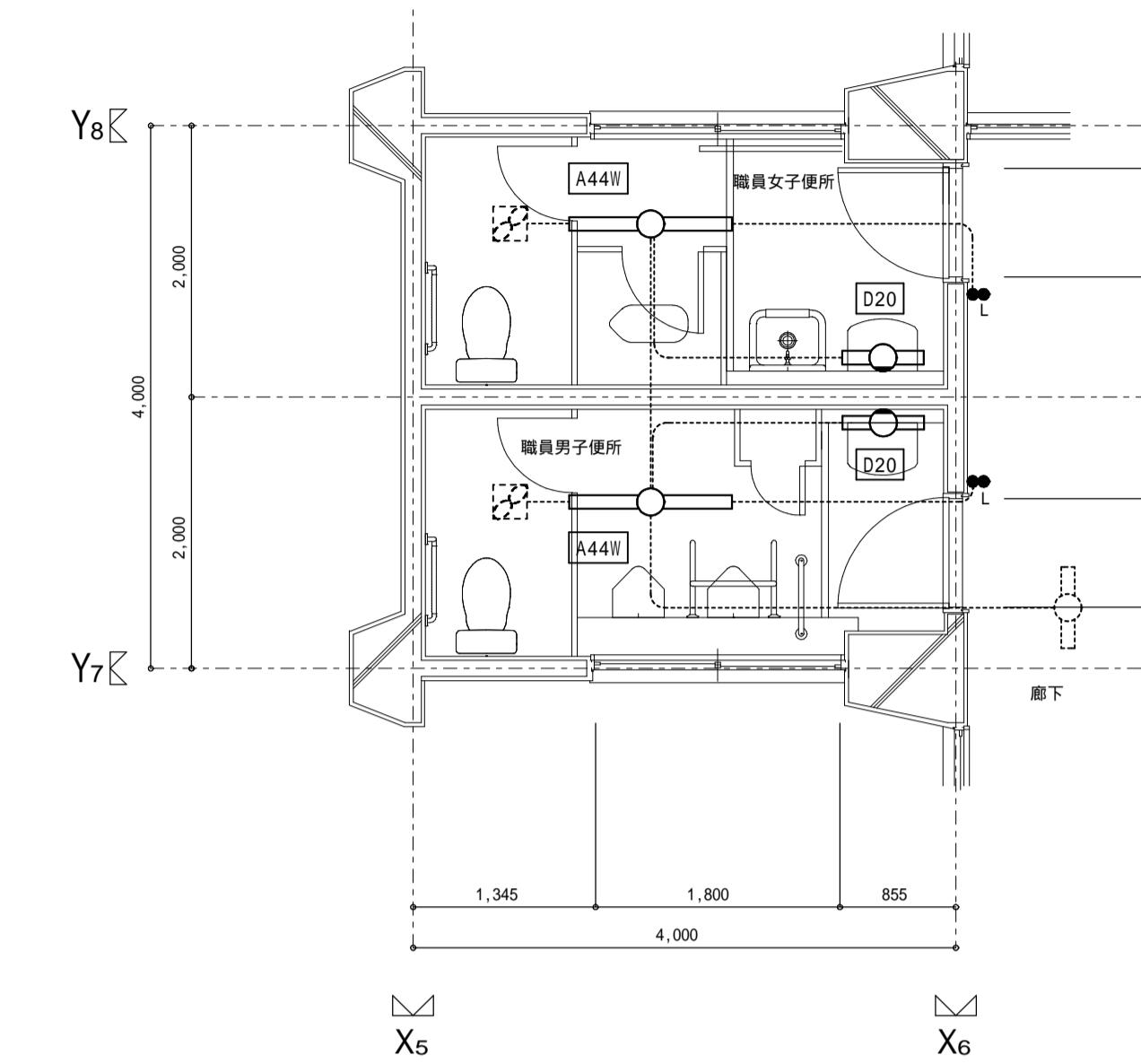
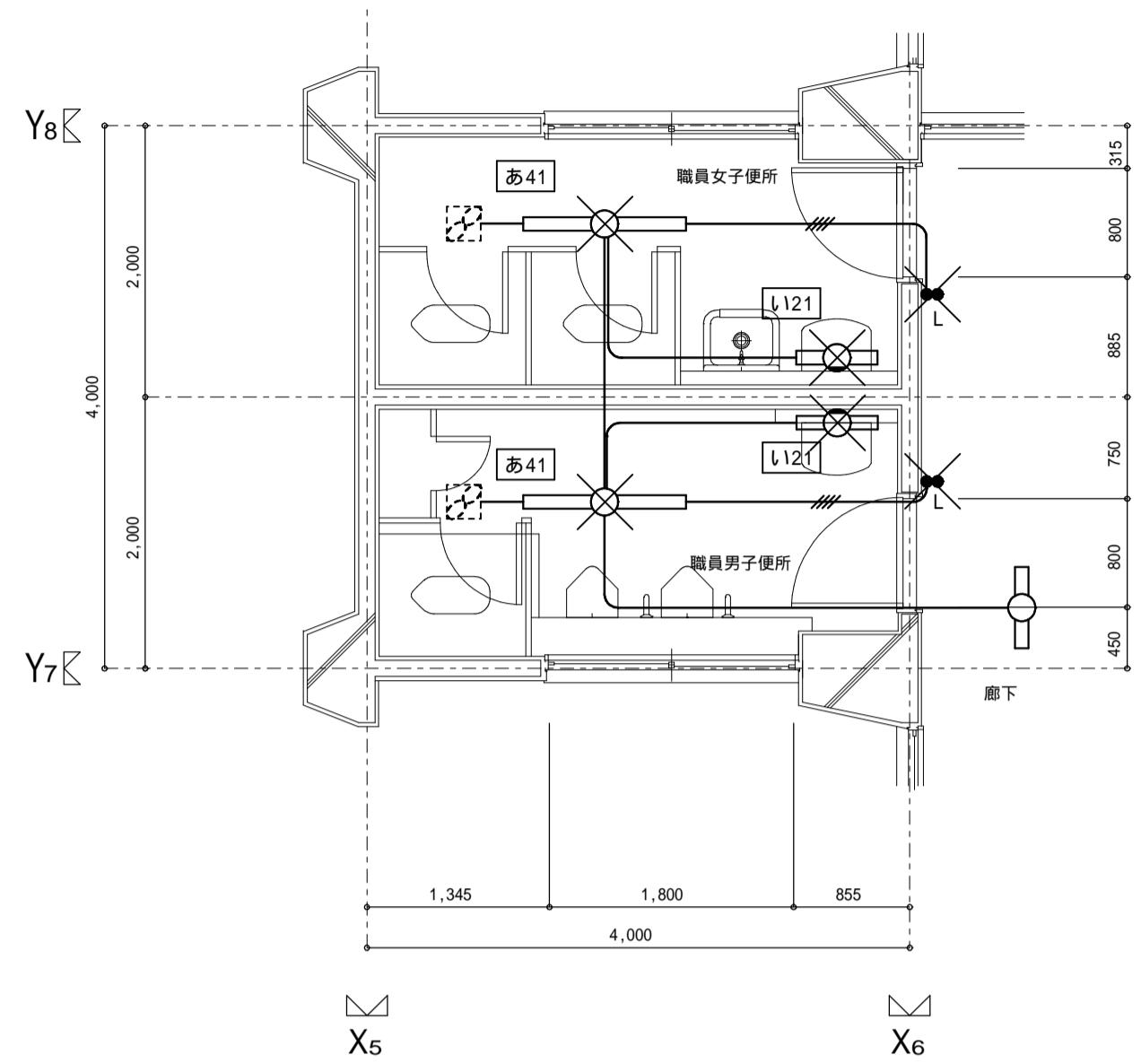
● 安全対策	
1)	工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。また沿道に駐車、振替等で公害発生のなきよう留意し、工事全般に支障なきよう万全の策を講ずること。
2)	請負人は工事の業者であっても連絡を取り、定期的に協議を行い工事施工上の調整を図ること。
3)	着工に先立ち検査本A1版A、A3版(2つ折り)提出のこと。
4)	本工事見積り用青焼き図面は、後日施工用図面とするため、青焼き図面は落札業者の負担とする。

● 別途工事連絡協議	
1)	請負人は工事の業者であっても連絡を取り、定期的に協議を行い工事施工上の調整を図ること。
2)	着工に先立ち検査本A1版A、A3版(2つ折り)提出のこと。
3)	本工事見積り用青焼き図面は、後日施工用図面とするため、青焼き図面は落札業者の負担とする。
4)	消防設備等は、消防法第1条の2第5項の規定により設置する。

● 補足事項	
1)	建築基準法施行令第12条の2第5項に基づく該当する防火配管を費する管は、貯通前1m不燃材料であるかは、建設省告示142号の基準によること。
2)	電線・ケーブルまたは可燃性の配管の防火区画通路は、建築基準法に適合する工法又は、請負人交換大臣認定工法による。
3)	電気設備については、電気基準法に適合する。
4)	建築設備の構造については、H1.2建告138号に適合する。
5)	消防設備等は、消防法第1条の2第5項の基準により設置する。

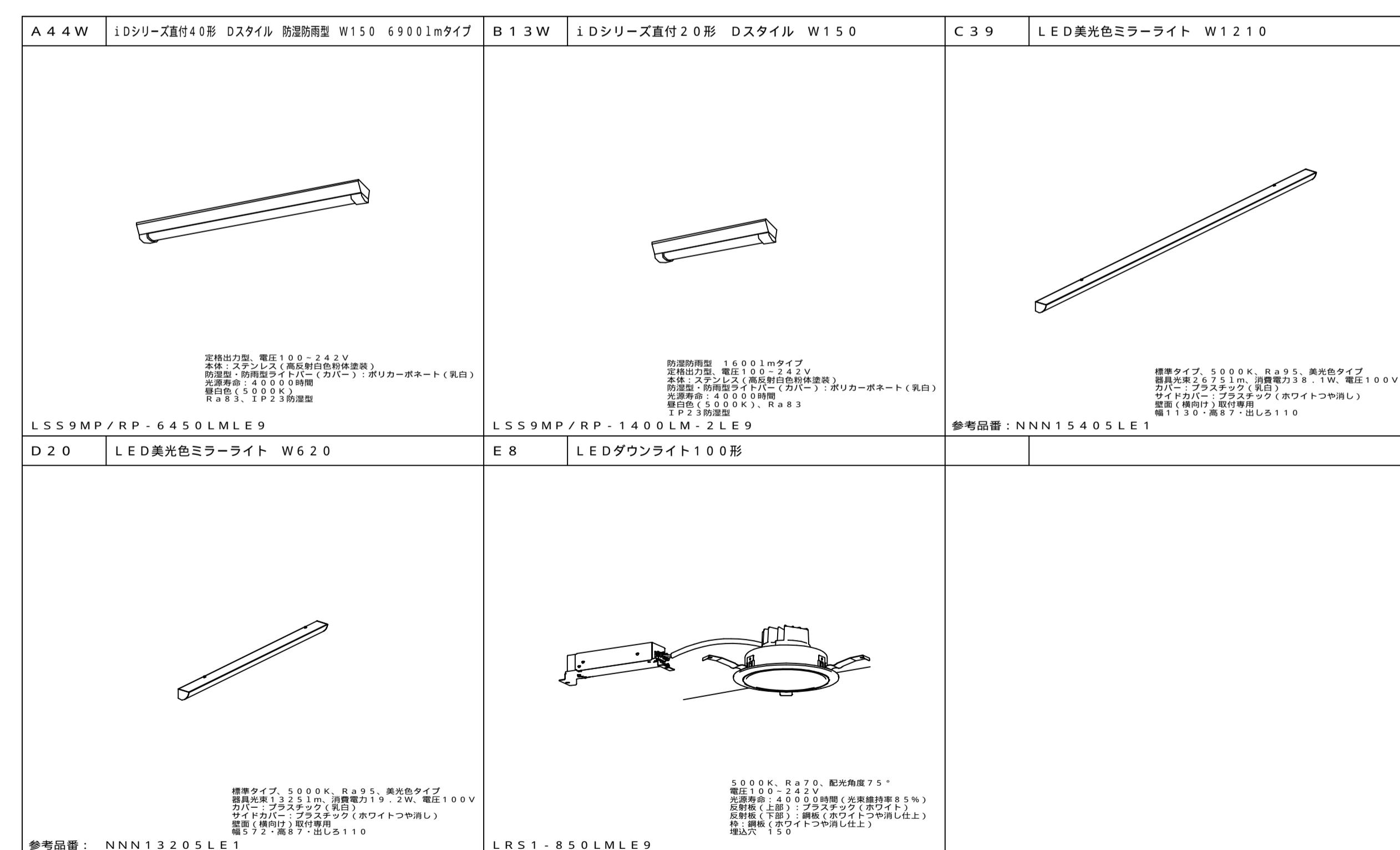
5) 一般事項	
通用	通用事項
●	1) 本工事は、契約規則、建設業法、電気事業法、電気設備技術基準、有線電気通信法、NTT技術基準電波法、有線テレビジョン放送法、消防法、建築基準法、労働安全衛生法等、関係法令を尊重し、施工すること。
●	2) 本工事に必要な板金、電線、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで原則として請負人の負担とする。引渡し日までの本工事費も同様とする。
●	3) 発生した内、引き渡しを要しない物は監督員が指示する場所に整備の上、調書を添付し監督員に引き渡す。また、引き渡しを要しない物は監督員が指示する場所に保管する法律に準じ、適確に処理する。
●	4) 既設設備外し再使用取扱機器は、ワックス溶着および距離測定(必要に応じ本工事費内にて改修)し、照明白器においてはランプを新品に取り替えの上、取扱のこと。
●	5) 設計図書は、工事の大要を示すものであり、着工前に施工図等を提出し、監督員の承認を受けること。尚、設計

凡例 ..... 既存配管配線



【特記事項】	
特記なき配管配線は下記の通りとする	
I V2.0 x2 (E19)	
I V2.0 x4 (E25)	
【凡 例】	
×	撤去処分を示す。

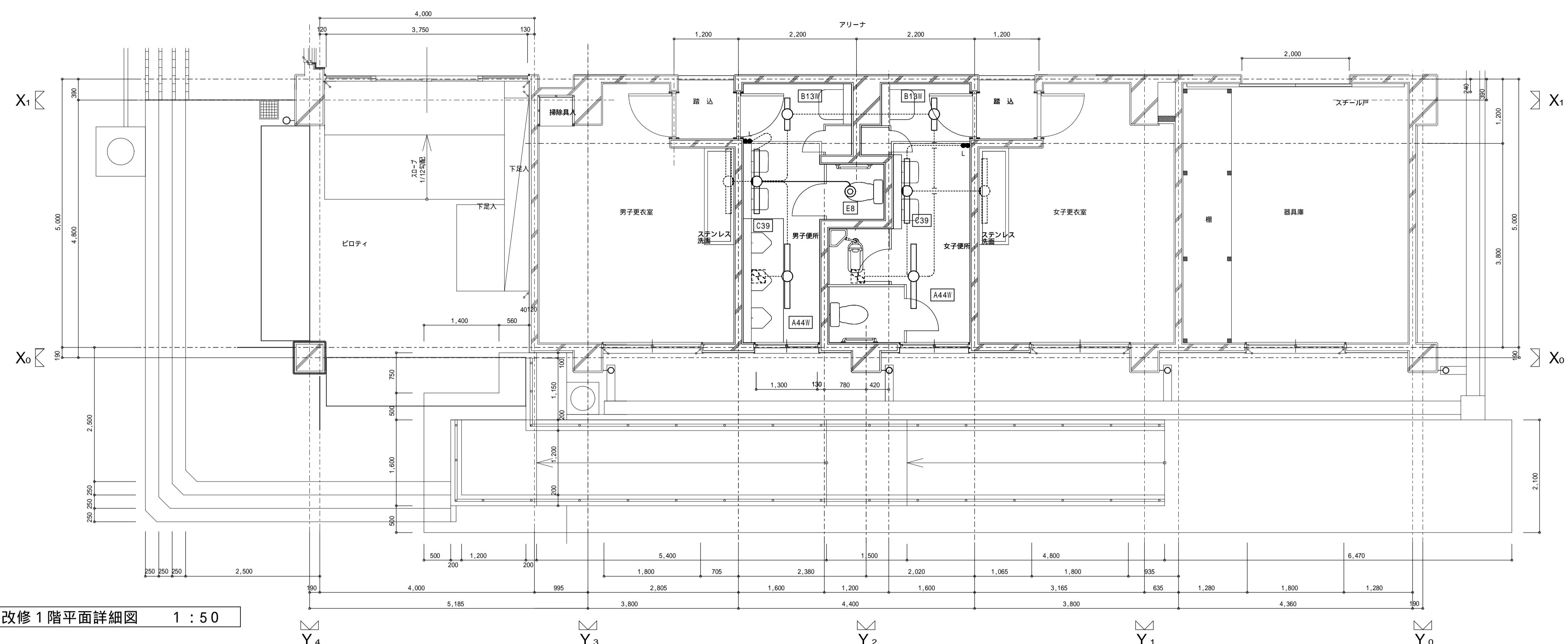
脱着及び撤去照明器具リスト		
a41	直付富士型	FL40W x 1
l121	壁付富士型	FL20W x 1



工事番号・工事名	2相連教第721号	P - 1 7 5 1 9	図面の名称	作成年月日
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)		(校舎棟) 現況・改修 電灯設備 2階平面詳細図		令和2年5月
株式会社 日匠設計	大飯本社 大飯町松原市阿保1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一 TEL (0723) - 33118857 FAX (0723) - 33456931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1116	管理建築士 濑田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二	縮尺 (A 1) 1:50	縮尺 (A 3) 1:100

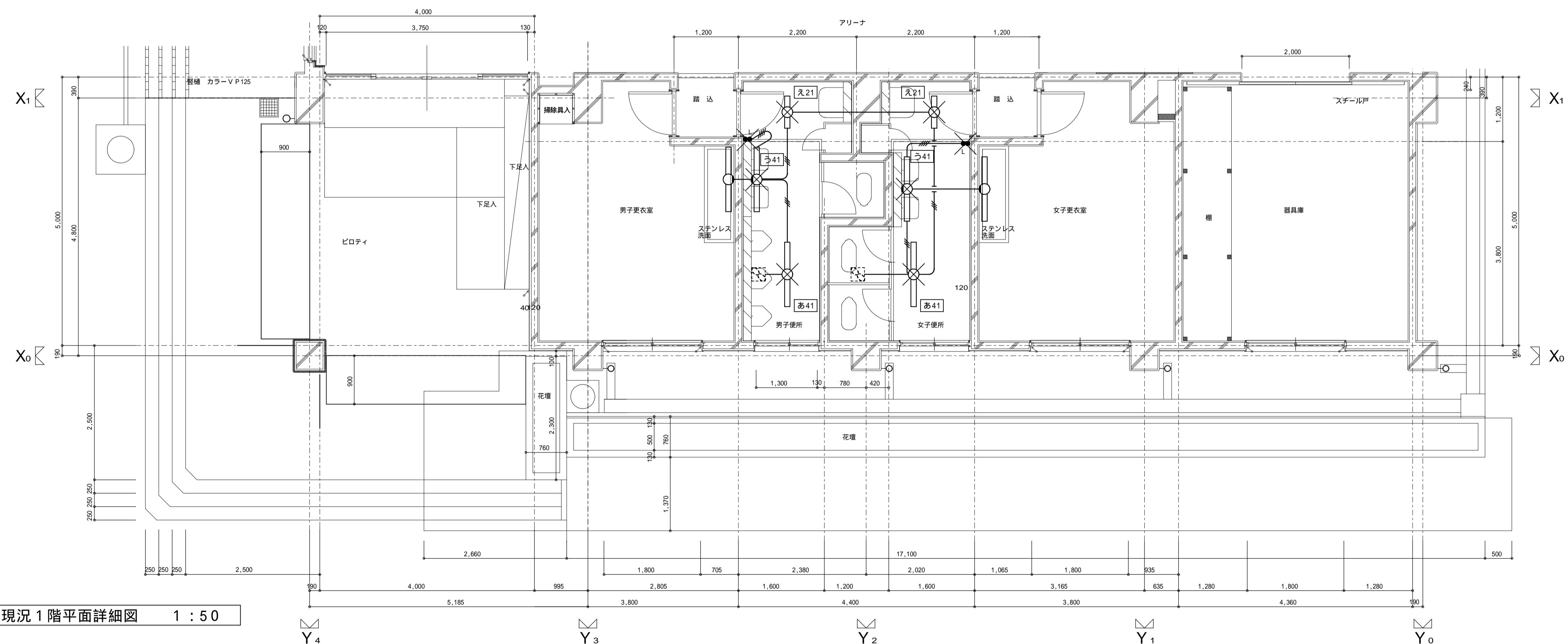
工事番号・工事名	2相連教第721号	P - 1 7 5 1 9	図面の名称	作成年月日
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)		(校舎棟) 現況・改修 電灯設備 2階平面詳細図		令和2年5月
株式会社 日匠設計	大飯本社 大飯町松原市阿保1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一 TEL (0723) - 33118857 FAX (0723) - 33456931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1116	管理建築士 濑田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 雄二	縮尺 (A 1) 1:50	縮尺 (A 3) 1:100
		図面番号 E - 2		

【特記事項】	
1) 特記なき配管配線は下記の通りとする。但し下は電線管にて保護の事。	
EM-EFP 1.6-2C	
凡 例	
隠蔽配管配線	O Aケーブル配線
土間配管配線	露出配管配線 (屋内 E.P. 屋外 G.P.電線管)
地中埋設配管配線	既存配管配線
架空リブ配管	



【特記事項】	
特記なき配管配線は下記の通りとする	
IV1.6 x2 (E19)	
IV1.6 x3 (E19)	
IV1.6 x4 (E25)	
【凡 例】	
X	撤去処分を示す。

脱着及び撤去照明器具リスト		
あ41	直付富士型	FL40W x 1
う41	壁付富士型	FL40W x 1
え21	直付富士型	FL20W x 1



工事番号・工事名 2相連教第7.2.1号  
相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

株式会社 日匠設計

大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一般建築士 198531号 濑田 耕一  
TEL (072) - 33-8857 FAX (072) - 33-5931  
滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1116

P - 17519

図面の名称

(体育馆棟)現況・改修 電灯設備平面詳細図

作成年月日

令和2年5月

管理建築士 濑田 耕一 検図 杉本 孝良

作図 大久保 雄二

縮尺 (A 1) 縮尺 (A 3)  
1 : 50 1 : 100

図面番号  
E - 3

# 機械設備工事特記仕様書

機械設備工事特記仕様書	
A) 工事概要	
工事名称	相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事(笠置中学校第2期)
工事場所	京都府相楽郡笠置町大字北大河原地内
建物構造	<input type="radio"/> 一般建築物 <input type="radio"/> 準耐火建築物 <input type="radio"/> 耐火建築物
建物用途	建築基準法( - ) 消防法( - )
用途地域	都市計画区域外
工事期間	

C) 工事種目						
摘要	No	工事種目	新設	増設	改修	撤去
●	1	給水設備	●	○	○	●
●	2	排水通気設備	●	○	○	●
●	3	衛生器具設備	●	○	○	●
○	4	ガス設備	○	○	○	○
○	5	給湯設備	○	○	○	○
○	6	消防設備	○	○	○	○
○	7	し尿浄化槽設備	○	○	○	○

摘要	No	工事種目	新設	仮設	改修	撤去
○	8	空調機器設備	○	○	○	○
○	9	空調配管設備	○	○	○	○
○	10	空調ダクト設備	○	○	○	○
○	11	放射冷暖房設備	○	○	○	○
●	12	換気設備	●	○	○	●
○	13	消火器設備	○	○	○	○
○	14	灌水設備	○	○	○	○

D) 共通事項		
● 適用	● 適用	本共通事項及び特記事項については、●印のついたのもを本工事に適用する。
● 監督員	● 監督員	監督員とは、工事請負契約書に規定する監督員をいう。
● 共通仕様書	● 共通仕様書	● 國土交通大臣官房官庁營繕部監修工事標準仕様書(以下[標仕]という)(最新版) ● 同標準図(最新版) ● 改修工事標準仕様書(最新版) ● 建築設備施工上の指導指針及びその他関係諸法規に基づき完全に施工する。
● 関連法規	● 関連法規	本工事は、契約規則、建設業法、建築基準法、消防法及び労働安全衛生法等関係諸法令を遵守し施工する。
● 優先順位	● 優先順位	本工事施工に当たり、優先順位は下記順位による。 1. 現場説明書 2. 質疑回答書 3. 特記仕様書 4. 本設計図書 5. 共通仕様書
● 施工基準	● 施工基準	イ. 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面、標準図及び共仕により完全に施工する。また、本工事契約前の質疑回答以外の事項に付いては、法的及び技術上において本設計図施工内容を承諾したものとみなし、全ての検査合格までの責任をもって施工する。 ロ. 必要な関係諸官庁への申請手続きは、全て請負人が代行し、その費用も請負人の負担とする。 ハ. 各市町村の上下水道条例の摘要を受ける場合はこれに従って施工する。 二. 本設計図書は、工事の大要を示すものであるから、着工前に施工図等を提出し、詳細位置等については監督員の承諾を受けること。 ホ. 本設計図書に明記なき事項で、技術上、美観上、または保安上当然必要と認められるもの並びに現場の納まり上必要な軽微な変更は、監督員と協議の上その指示により施工する。この場合原則として、工事の増減は行わない。 二. 長寿社会福祉住宅設計マニュアルに準拠し施工のこと。(建設省住宅局住宅整備課監修)
● 技術管理	● 技術管理	請負人は専任として建設業法に定める技術者の任命を行い、現場に派遣し(○常駐する ○常駐しない) 技術管理にあたると共に建築主体工事、電気設備工事、その他関連工事について、その施工者と綿密な連絡を取り全工事に支障なきよう施工する。● 主任技術者は1級管工事施工管理技士とする。
● 提出書類	● 提出書類	1.施工計画書 2.下請業者リスト 3.メーカーリスト 4.機器承諾図 5.施工図 6.各種工程表 7.日報 8.自主検査成績表 9.その他必要書類 10.製作図
● 機器材料等	● 機器材料等	機器材料、製品等は特記されたもの、又は同等品以上とし監督員の承諾を受ける事。 また工場製作機器類においては、その工場での立会検査を行う場合がある。
● 仮設工事	● 仮設工事	本工事に必要な仮設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料等は引渡しの日まで原則として請負人の負担とする。
● 建築工事との取扱い	● 建築工事との取扱い	着工前に施工図を作成し、建築工事、電気設備工事担当者と協議し承認の上監督員の承諾を得るものとする。
● 工事写真	● 工事写真	工事写真に関しては、(● 写真撮影は、建設大臣官房官庁營繕部監修[工事写真の撮り方] ● 工事完成後に見えない地中埋設、コンクリート埋設、天井裏部分等を監督員の指示箇所をカバー撮影)による。
○ 既設再使用品	○ 既設再使用品	既設取外し再使用機器は、機器性能を確認の上、整備(必要最小限の配管、配線、塗装等のやり替え)をし、再使用する。
● 耐震施工	● 耐震施工	機器の据付、配管等の支持については、地震力を考慮し、[建築設備対震設計施工指針]を参考とする。
● 別途工事の連絡協議	● 別途工事の連絡協議	請負人は工事別の業者でお互いに連絡をとり、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図る事。 又工事区分の取り合いについて図示あるも施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。
● 産業廃棄物の処理	● 産業廃棄物の処理	発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理の上調書を添えて監督員に引渡す。 又、引渡しを要しないものは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、建設副産物適正処理推進要綱等に準じ適確に処理することとし、事前に監督員に施工計画書を提出し承諾を得る事。 特別管理産業廃棄物(有・無)
● 公害対策	● 公害対策	工事着工前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講じる事。
○ 統括安全衛生管理義務者	○ 統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者には、(○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事)の請負人を指名する。
● 安全対策	● 安全対策	工事車両の出入りに付いては、危険防止に努める事。また必要に応じて交通整理員を配置するとともに近隣家屋に騒音、振動等の公害を発生しないよう留意し、工事全般に支障なきよう万全の策を講じること。 また施設運営についても監督員と協議し、支障なきよう努める事。
○ 保険等	○ 保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、組立保険、第三者保険を工事目的物に付託のとする。
● 試運転調整	● 試運転調整	工事完成後、監理者の指示により各機器の試運転調整及び総合的試験を行う。
● 竣工引継	● 竣工引継	本工事竣工時に諸官公庁の竣工検査及び監理者、施主の検査に合格して竣工とし引渡しものとする。
● 竣工提出図書	● 竣工提出図書	1.竣工図 2.竣工写真 3.機器取扱説明書 4.機器保証書 5.各種申請許可書 6.各種自主検査記録 7.備品及び備品リスト 8.検査済証
● 竣工図	● 竣工図	建築特記仕様書による

●	責任施工保証書	責任施工の保証は材料製造所、施工下請業者、請負契約者連名書の合格書又は保証書を提出する。	
●	取扱説明	本工事完了後引継までの間に保守保安担当者に各機器の取扱説明を行うこと。	
●	工事保証	竣工引渡後、契約保証期間内において、施工上の欠陥或いは使用材料の不備により生じた破損又は故障箇所は、直ちに無償にて修理する。	
○	隣接施設のについて		
○	提出図面		
○	省エネ		
E) 工事範囲			
種目	適用	項目	特記事項
1 給水設備	●	工事範囲	本工事は下記の事項に従って給水栓に至るまでの配管、機器及び器具取付工事の一切を施工する。
	●	水源	● 上水道
	●	給水方式	○ 直圧式 ○ 加圧式 ● 重力式 ○ 既設管分岐延長
	○	引込工事	○ 本工事 ○ 別途工事 親メーター(○貸与 ○買取) 子メーター(○貸与○本工事)
	○	負担・加入金等	○ 本工事 ○ 別途工事
	○	受水槽	( ) 製・容量( m3 ) 耐震 1. OG ○ ポンプ室付
	○	高架水槽	( ) 製・容量( m3 ) 耐震 1. OG
	●	配管材料 JIS 規格品 JWWA 規格品 SHASE規格品	屋外埋設: ○ 硬質塩化ビニール管 HIVP (JIS K 6742)
			○ ピニールライニング鋼管 VD (JWWA K 116) ○ 鋳鉄管 (JIS G 5525)
	屋外架空: ○ ピニールライニング鋼管 VA (JWWA K 116) ○ ポリ粉体ライニング鋼管 PB (JWWA K 132)		
	○ ステンレス鋼管 (JIS G 3448・SUS304)		
	屋内埋設: ○ 硬質塩化ビニール管 HIVP (JIS K 6742) ○ ピニールライニング鋼管 VD (JWWA K 116)		
	○ ポリ粉体ライニング鋼管 PD (JWWA K 116) ○ 排水用鉛管 (SHASE-S 203)		
	屋内架空: ● ピニールライニング鋼管 VA (JWWA K 116) ○ ポリ粉体ライニング鋼管 PB (JWWA K 132)		
	○ ステンレス鋼管 (JIS G 3448・SUS304)		
●	継手・弁類 JIS 規格品 JWWA 規格品 SHASE規格品 JV 規格品	青銅製バルブ (JIS B 2011) 鋳鉄製バルブ (JIS B 2031)	
		青銅製コア付バルブ (JV5-1, JV5-2) ステンレス製バルブ (JV8-1, JV8-2)	
		ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)を使用。	
		ライニング鋼管に使用する50A以下の弁は管端コア付弁、65A以上はライニング弁とする。	
		上水道直圧部 JIS 10 Kg/cm <sup>2</sup> その他 JIS 5 Kg/cm <sup>2</sup> とする。	
●	各種試験	● 区間水圧試験 ○ 飲料水適性試験を行う。( 箇所 )	
●	その他	給水装置の構造及び材質については、水道法施行令第5条の基準に適合する事。	
		給水配管の接合剤は、上水道用接合剤とする。	
		配管材料及び施工方法は市の規格等に合ったものを使用する事	
2 排水通気設備	●	工事範囲	本工事は下記の事項に従って排水器具取付、配管工事を行い公共枠までの一切を施工する。
	●	排水種別	● 汚水 ● 雜排水 ○ 雨水
	●	排水方式	○ 単独式 ○ 合流式 ● 屋内分流屋外合流式
	●	放流先	○ 公共下水道 ○ 排水処理槽 ○ 側溝・水路 ● 既設管 ○ その他
	○	通気方式	○ 伸張通気 ○ ループ通気
	●	配管材料 JIS 規格品 JWWA 規格品	屋外埋設: ○ 硬質塩化ビニール管 VU (JIS K6741) ○ 卵形管 (EGP) ○ ヒューム管 (HP)
			屋外架空: ○ 硬質塩化ビニール管 VP (JIS K6741)
			屋内埋設: ○ 硬質塩化ビニール管 VP (JIS K6741) ○ 排水用ビニールライニング鋼管 (DVLP)
			○ ステンレス鋼管 (高温水)
			屋内架空: ● 硬質塩化ビニール管 VP (JIS K6741) ○ 排水用ビニールライニング鋼管 (DVLP)
	○ 排水用鋳鉄管 (CIP) ○ 石綿2層管 (TMP) ○ 耐熱塩化ビニール管 (HT)		
	PS豎管: ○ 耐火パイプ ○ 排水用鋳鉄管 (CIP)		
○	排水枠材料	○ 現場打ち ○ 住宅公団型 ○ コンクリート製既製品 ○ 樹脂製既製品	
○	ポンプ槽	○ PC製 (樹脂製ポンプ)	
○	各種試験	○ 通水試験 ○ 満水試験 ○ 煙試験	
●	その他	排水設備の設置及び構造については、下水道法施行令第8条の基準に適合する事。	
		曲がり部は大曲がりエルボを使用し排水の流通をよくする。	
		3階以上の建物に関する排水管には、各階毎に満水試験継手を設ける。	
		居室の天井、壁を通る排水管で排水音の発生する恐れのある箇所には防音シート巻きを施す。	
		コンクリート製会所、汚水枠、浄化槽との硬質塩化ビニール管の接続部は、砂付き加工の工場	
		製品を使用し漏水防止を図る。	
		配管材料及び施工方法は市の規格等に合ったものを使用する事	
3 衛生器具設備	●	工事範囲	本工事は衛生器具表及び下記の事項に従って衛生器具の供給、取付工事を行なう一切を施工する。
	●	衛生器具	大便器洗浄方式は ● フラッシュ(FV)弁(バキュームブレーカー付)式 ○ ロータンク式
			○ 身障者用FV弁(○ 壁及び足踏み式 ○ 光電式)
			小便器洗浄方式は ○ 押釦FV式 ● 電子式 ○ ハイタンク(○ 洗浄管露出 ○ 同左埋込)式
	○	その他	水栓類は節水コマ付き、フラッシュバルブは節水型とする。なお管末屋外水栓は凍結防止水栓
	とする。		
4 ガス設備	○	工事範囲	本工事は下記の事項に従ってガス配管、機器及び器具の供給、取付工事を行ないガス器具への
	○	ガスの種別	○ 都市ガス ○ プロパンガス
	○	負担金等	○ 要 ○ 不要
	○	工法	○ ネジ込工法 ○ SGM工法
	○	配管材料	屋外埋設: ○ ポリエチレン被覆鋼管 (PLS) ○ ガス用ポリエチレン管 ○ 大阪ガスの仕様
			屋外架空: ○ 配管用炭素鋼管 (SGP-B) ○ 大阪ガスの仕様
			屋内埋設: ○ ポリエチレン被覆鋼管 (PLS) ○ 塩ビ外面被覆鋼管 (VS) ○ 大阪ガスの仕様
			屋内架空: ○ 配管用炭素鋼管 (SGP-B) ○ ガス用ポリエチレン管 ○ 大阪ガスの仕様
	○	使用機材	都市ガスの場合は供給会社の認定品
	コック類は過流出防止装置付		
	湯沸器の接続は可とう管及び可とう管コックとする。		
○	試験	気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。	
○	その他	埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆	
		ボールバルブとする。	
		本工事はガス事業法または、高圧ガス取締法に準じて施工を行う。液化石油ガスの各種検査は、	
		供給者又はLPガス保安センターの検査を受け合格すること。	
		プロパンガス設備工事の施工者は、特定液化石油ガス設備工事業者であり、作業者は液化石油	
	ガス設備士とする。		

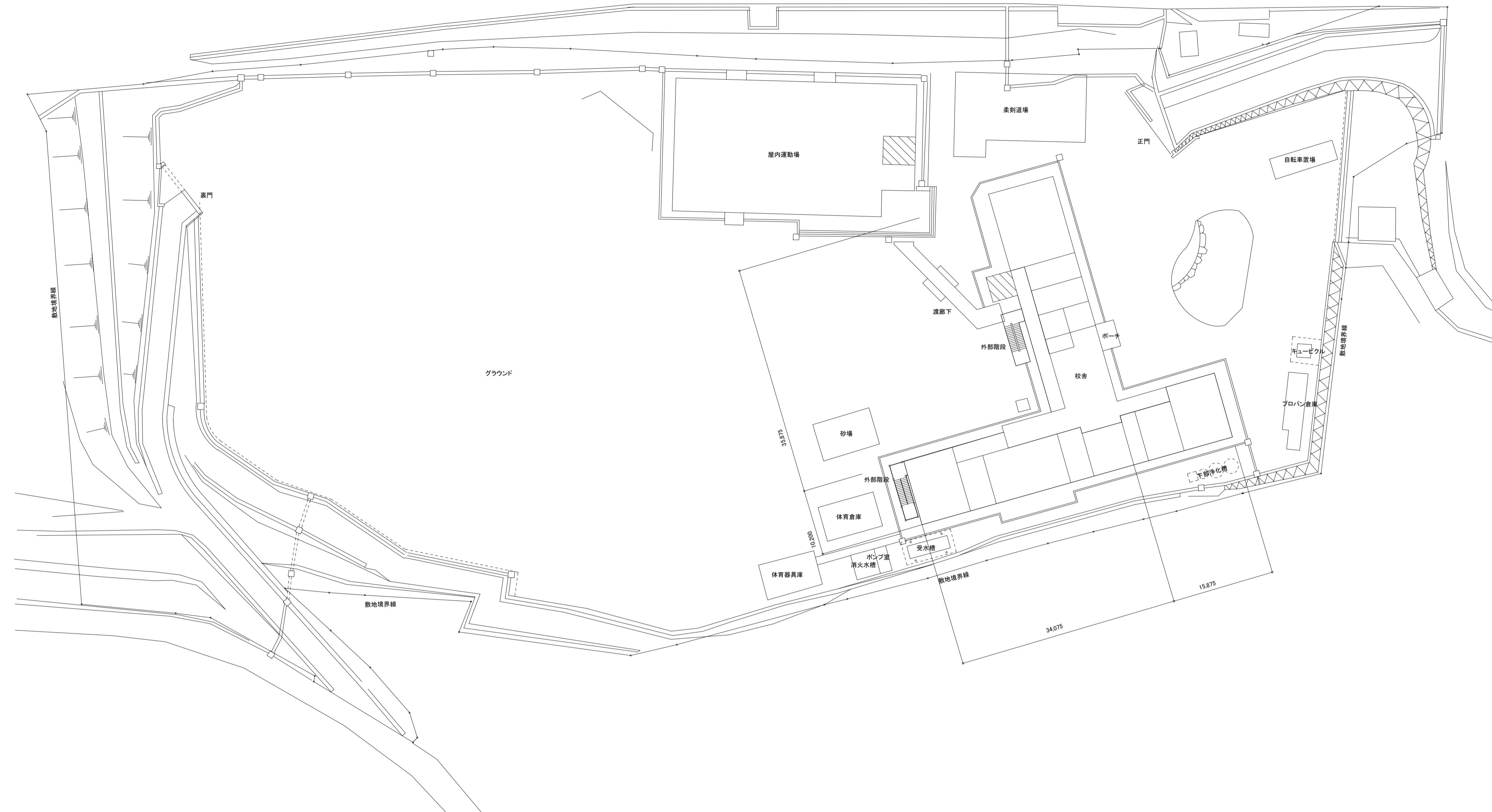
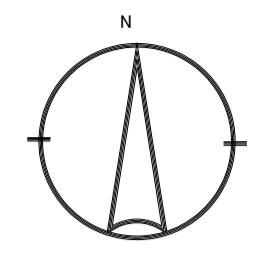
項目	適用	項目	特記事項																			
5 給 湯 設 備	<input type="radio"/>	工事範囲	本工事は下記の事項に従って給湯栓に至るまでの配管、機器及び器具取付工事の一切を施工する。																			
	<input type="radio"/>	方 式	<input type="radio"/> 個別(局所)方式 <input type="radio"/> 中央方式 <input type="radio"/> 中央個別方式																			
	<input type="radio"/>	給湯機器	<input type="radio"/> 瞬間湯沸器 <input type="radio"/> 給湯機 <input type="radio"/> 電気温水器 <input type="radio"/> 業務用エコキュート																			
	<input type="radio"/>	熱 源	<input type="radio"/> 都市ガス <input type="radio"/> プロパンガス <input type="radio"/> 灯油 <input type="radio"/> A重油 <input type="radio"/> 電気 <input type="radio"/> クラッド鋼板製 <input type="radio"/> ステンレス鋼板製 <input type="radio"/> 鋼板製内部ライニング加工																			
	<input type="radio"/>	貯湯槽	<input type="radio"/> 防食( <input type="radio"/> 外部電源方式 <input type="radio"/> 電流陽極方式) <input type="radio"/> 鋼板製 <input type="radio"/> ステンレス鋼板製 <input type="radio"/> 耐熱樹脂製																			
	<input type="radio"/>	膨張水槽等	<input type="radio"/> 密閉式																			
	<input type="radio"/>	その 他																				
	<input type="radio"/>	配管材料	<input type="radio"/> 防食 ( <input type="radio"/> 亜鉛アルミニウム合金溶射 <input type="radio"/> エポキシ樹脂ライニング) <input type="radio"/> 脱酸銅管(M) <input type="radio"/> 保温材(20t)付金属強化ポリエチレン管 <input type="radio"/> 鋼板製( <input type="radio"/> φ) <input type="radio"/> ステンレス製( <input type="radio"/> φ) <input type="radio"/> 亜鉛鍍鉄板製( <input type="radio"/> φ)																			
	<input type="radio"/>	煙道材料	湯沸器排気筒は厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。 付属設備 排煙濃度計( <input type="radio"/> 設ける <input type="radio"/> 設けない)																			
	<input type="radio"/>	その 他	配管には空気溜まりのないように施工し、図示以外で施工上必要な箇所には空気ぬき弁を取り付ける。 配管の膨張伸縮の逃がしが必要な箇所には伸縮継手を取り付のこと。																			
6 消 火 設 備	<input type="radio"/>	工事範囲	本工事は下記の事項に従って機器取付工事の一切を施工する。																			
	<input type="radio"/>	方 式	<input type="radio"/> パッケージ型消火設備 <input type="radio"/> 屋内消火栓 <input type="radio"/> 泡消火栓 <input type="radio"/> スプリンクラー																			
	<input type="radio"/>	消火栓形式	<input type="radio"/> 連結送水管 <input type="radio"/> 水噴霧消火 <input type="radio"/> 粉末消火 <input type="radio"/> 連結散水																			
	<input type="radio"/>	消火栓ポンプ形式	<input type="radio"/> 埋込型 <input type="radio"/> 露出型 <input type="radio"/> 自火報組込型 <input type="radio"/> 連結送水口組込型 <input type="radio"/> 易操作性1号 <input type="radio"/> 消火器格納箱付消火栓格納箱																			
	<input type="radio"/>	配管材料	<input type="radio"/> ユニット <input type="radio"/> 单 体 <input type="radio"/> 呼水タンク付 <input type="radio"/> 制御盤付 屋外埋設: <input type="radio"/> ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) <input type="radio"/> 塩ビ外面被覆鋼管(VS) 屋外架空: <input type="radio"/> 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) <input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(SGP-B) 屋内埋設: <input type="radio"/> ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) <input type="radio"/> 塩ビ外面被覆鋼管(VS) 屋内架空: <input type="radio"/> 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) <input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(SGP-B)																			
	<input type="radio"/>	各種試験	<input type="radio"/> 区間水圧試験 <input type="radio"/> 放水水圧試験 <input type="radio"/> ポンプ遠方起動試験																			
	<input type="radio"/>	その 他	所轄消防署と充分協議のうえ、法的に支障のないよう施工を行う。 凍結(屋外等)の恐れがある箇所においては保温を行う。 屋内消火栓箱には消火ポンプ運転表示灯を取付けのこと。																			
	<input type="radio"/>	工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管、機器取付工事の一切を施工する。																			
	<input type="radio"/>	浄化槽種類	<input type="radio"/> 単独浄化槽 <input type="radio"/> 合併浄化槽 <input type="radio"/> 小規模合併浄化槽																			
	<input type="radio"/>	材 質	<input type="radio"/> FRP製 <input type="radio"/> コンクリート製 ( <input type="radio"/> 全て本工事 <input type="radio"/> 軸体のみ建築工事)																			
7 し 尿 淨 化 槽 設 備	<input type="radio"/>	構造・材質	<input type="radio"/> 地下式 <input type="radio"/> 半地下式 <input type="radio"/> 地上式 <input type="radio"/> ユニット型																			
	<input type="radio"/>	処理能力	<input type="radio"/> 人槽( <input type="radio"/> m <sup>3</sup> /日)																			
	<input type="radio"/>	処理方式	<input type="radio"/> 接触ばつ氣 <input type="radio"/> 長時間ばつ氣 <input type="radio"/> 沈殿分離ばつ氣 <input type="radio"/> 分離接触ばつ氣 <input type="radio"/> 嫌気ろ床接触ばつ氣 <input type="radio"/> 分離ばつ氣 <input type="radio"/> 現場施工型																			
	<input type="radio"/>	処理水質	BOD( <input type="radio"/> ppm) COD( <input type="radio"/> ppm) N( <input type="radio"/> ppm) P( <input type="radio"/> ppm)																			
	<input type="radio"/>	山 止 め	<input type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 要 ( <input type="radio"/> 簡易矢板 <input type="radio"/> 木製矢板 <input type="radio"/> 鋼矢板)																			
	<input type="radio"/>	放 流 先	<input type="radio"/> 敷地内排水溝 <input type="radio"/> 河川 <input type="radio"/> 詳細図は別紙図面参照のこと。																			
	<input type="radio"/>	その 他	<input type="radio"/> 本体保護用コンクリートスラブ及び支柱 <input type="radio"/> 制御盤及び2次側電気配管配線工事 <input type="radio"/> プロア用配管 <input type="radio"/> プロアポンプ基礎及び保護カバー																			
	<input type="radio"/>	工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管、機器取付工事の一切を施工する。																			
	<input type="radio"/>	方 式	<input type="radio"/> 中央方式 <input type="radio"/> 個別方式 <input type="radio"/> 中央・個別方式 <input type="radio"/> マルチ方式																			
	<input type="radio"/>	熱 源	<input type="radio"/> 都市ガス <input type="radio"/> プロパンガス <input type="radio"/> 灯油 <input type="radio"/> A重油 <input type="radio"/> 電気																			
8 空 調 機 器 設 備	<input type="radio"/>	熱源機器	<input type="radio"/> 吸収式冷温水機 <input type="radio"/> 水冷式チーリングユニット <input type="radio"/> 空冷式チーリングユニット																			
	<input type="radio"/>	空気調和機	<input type="radio"/> 温水ボイラー <input type="radio"/> 蒸気ボイラー <input type="radio"/> ヒートポンプチラー <input type="radio"/> ファンコイル <input type="radio"/> ファンコンベクター <input type="radio"/> ガスヒートポンプエアコン <input type="radio"/> コンベクター <input type="radio"/> ヒートポンプエアコン <input type="radio"/> エコアイス <input type="radio"/> 温風暖房機																			
	<input type="radio"/>	設計温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th><th colspan="2">屋 外</th><th colspan="2">屋 内</th></tr> <tr> <th>時期</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td><td>33.3 °C</td><td>59.9 %</td><td>26 °C</td><td>50 %</td></tr> <tr> <td>冬期</td><td>-2.1 °C</td><td>71.1 %</td><td>22 °C</td><td>50 %</td></tr> </tbody> </table>	場所	屋 外		屋 内		時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏期	33.3 °C	59.9 %	26 °C	50 %	冬期	-2.1 °C	71.1 %	22 °C
場所	屋 外		屋 内																			
時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																		
夏期	33.3 °C	59.9 %	26 °C	50 %																		
冬期	-2.1 °C	71.1 %	22 °C	50 %																		
<input type="radio"/>	付属機器	<input type="radio"/> 感震器 <input type="radio"/> 膨張水槽 <input type="radio"/> 密閉式膨張タンク <input type="radio"/> クッションタンク <input type="radio"/> 外機防雪フード <input type="radio"/> 防雪高置架台 <input type="radio"/> 防振架台( <input type="radio"/> OS式メーカー指定品)																				
<input type="radio"/>	工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管工事の一切を施工する。																				
<input type="radio"/>	配管材料	冷温水管: <input type="radio"/> ステンレス鋼管 <input type="radio"/> スーパーエスロメタックス(50A以下) 冷却水管: <input type="radio"/> ビニールライニング鋼管(VA) <input type="radio"/> 耐衝撃性硬質塩化ビニール管(HIVP) 冷 媒 管: <input type="radio"/> 冷媒用被覆鋼管 排 水 管: <input type="radio"/> 硬質塩化ビニール管(VP) <input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(SGP-B) 膨 張 管: <input type="radio"/> 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) <input type="radio"/> 耐熱性ビニールライニング鋼管(HTLP) 蒸 気 管: <input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(SGP-A) <input type="radio"/> 圧力配管用炭素鋼鋼管(SCH40 HTLP)																				
<input type="radio"/>	その 他	必要な箇所には自動空気抜弁、温度計、圧力計、バイパス弁等を取付ける。 配管の膨張伸縮の逃がしが必要な箇所には伸縮継手を取り付のこと。 配管には空気溜まりのないように施工し、図示以外で施工上必要な箇所には空気ぬき弁を取り付ける。																				

	工事番号・工事名 2相連教721号  相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)	P-17519	図面の名称  機械設備工事特記仕様書(1)	作成年月日 令和2年5月
	株式会社 日匠設計  大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1) 縮尺(A3)	図面番号 M-01

防火区画貫通箇所施工要領	
《給排水管》	
1. 鋼管の場合	
- 管径に係る無常の保溫工事で良い	
- 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う	
2. VP管の場合	
- 125mm以上は鋼管又は大臣認定のトジパイプを使用する	
- 100mm以下は0.5t垂鉛板を前後1m巻く事	
- 保溫は保溫材がボリスチレンフォーム保溫筒の場合は	
- ロックウール保溫筒25mmを鉄線にて取り付ける	
- 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う	
- 鉄板は区画貫通箇所を通じて、前後1m管材の上に巻き	
- その上に保溫を行う	
- 75mm以下は鉄板巻き不要である	
- 保溫材はボリスチレンフォーム保溫筒で良い、ただし	
- 貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めをする	
《鋼管》	
《VP管100A》	
《ダクト》	
F) 追記事項	
設備図共通特記事項	
1・建築設備の構造については、H12建告1388号に適合する事。	
2・給水装置の構造及び材質については、水道法施行令第5条の基準に適合する事。	
3・排水設備の設置及び構造については、下水道法第10条・下水道法施行令第8条の基準に適合する事。	
4・建築設備の支持構造部および緊結金物で腐食のおそれがある部分には平12建告1388号第1に従い防腐措置を講じること（令129条の2の4第2号）	
5・配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う（令129条の2の4第2号）	
6・配管・風道が令112条15項に規定する防火区画および令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通する場合は、モルタルまたはロックウールを充填すること（令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、平12建告1376-1377号）	
7・給水装置について（水道法施行令5条、給水装置の構造および材質の基準に関する省令）	
8・排水設備の構造は下水道法10条3項および同法施行令8条の規定に従う（下水道法施行令8条に基づく条例）	
9・ガスおよび換気設備は、液化石油ガスの保安の確保および取引の適正化に関する法律施行規則44条の規定に従う（液化石油ガスの保安の確保および取引の適正化に関する法律38条の2）	
10・電気設備は、電気技術基準に関する省令に定める工法により設ける（法32条、電気事業法39条1項・56条1項、電気設備に関する技術基準を定める省令）	
11・火災を使用する設備またはその使用に際し火災の発生の恐れのある設備の位置、構造は火災予防条例の規定に従う（消防法9条）	
12・消火用設備などは、消防法17条の規定に従い設置する（消防法施行令2章、消防法17条2項に基づく条例）	
13・水道法16条・ガス事業法40条の4・液化ガス38条の2により適切な施工を行うこと。	
14・給排水その他の配管設備の設置及び構造について、施工令第129条の2の5各項、各号及び関係告示による。	
15・排水のための配管設備の容量及びその算定方法並びに傾斜	
■ 排水負荷単位法	
□ 定常流量法（SHASE S206-2000）	
□ その他	
※配管の傾斜は有効な数値を確保するものとする。	
16・給水管に講じたウォーターハンマー防止のための処置	
■ 流速を小さくする。	
□ ウォーターハンマー防止器を設置する。	
□ 搾水ポンプ出口に水撃防止型逆止弁を使用する。	
□ その他	

G) 特記事項	
● 地盤埋設の鋼管類は防食処理を行ふ。またコンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めとする。	
● 建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は共仕による。	
○ 冷蔵庫・給湯設備における試運転用油はオイルシングルの1/3程度とする。	
○ 埋設配管において、深さ1.5m以上の施工に関しては、山止め工事を行う。	
● 既設建物等のはつり穴あけに際しては、ダイヤモンドカッターを使用する。	
● 本工事にて別途及び支機器の配管等の接続工事、機器調整はすべて本工事とする。	
● 屋外土中埋設配管に関しては、埋設標示テープ、標示ピン及び標示杭を設ける。	
● 機械設備工事範囲内の電気設備工事は、全て別途電気設備工事様に準じて施工する。	
● 新設工事以外の既設工事部分に付いては、既設内容、取り合いを良く調査して既存施設の機能を低下せしめではならない。	
● なお当該工事に付いては、既設配管、既設配管があつた場合は監督員の指示により本工事で巡回等の工事を行う。	
● また撤去工事は既設配管の行き先を確認したうえ安全に処理する。	
● 防火区画、用途区画貫通に際しては建築基準法施行令第129条の2の2第1項7号に基づき区画貫通する管は、貫通前後1mを不燃材で造るか建設省告示3183号により完全に施工する。	
● 防火、防煙シール類は、財日本建築センターの防災認定マークを貼付された ものとする。	
○ 配管設置標準深さは 一般地 GL-300mm 車両道路 GL-750mm 公道 GL-1200mm とする。	
● 本工事にて別途及び支機器の配管等の接続工事、機器調整はすべて本工事とする。	
● 排水管の曲がり部は大曲がりエルボを使用し通水をよくする。	
○ 3階以上の建物に於ける排水管には、各階毎に漏水試験継手を設ける。	
○ 屋室の天井、壁に通る排水管で排水音の発生する恐れのある箇所には防音シート巻きを施す。	
● コンクリート製金具所、汚水栓、浄化槽との硬質塩化ビニール管の接続部は、砂付き加 工の工場製品を使用し漏水防止を図る。	
○ 埋設で合成樹脂被覆钢管の接続は、合成樹脂被覆钢管を組み合わせ、サービスコックは合成樹脂被覆ボルバルブとする。	
● 水栓類は節水コマ付き、フランジバルブは節水型とする。なお管末屋外水栓は凍結防止水栓とする。	
○ LPGの場合には、親メーター 自動切替弁 転倒防止鎖	
● 本工事はガス事業法または、高圧ガス取締法に準じて施工を行う。液化石油ガスの各種検査は、供給者又はLPガス保安センターの検査を受け合格すること。	
● プロパンガス設備工事の施工者は、特定液化石油ガス設備工事業者であり、作業者は液化石油ガス設備士とする。	
● 配管には空気溜まりのないよう施工し、回示以外で施工上必要な箇所には空気ぬき弁を取り付け。	
● 配管の膨張伸縮の逃がし必要な箇所には原則としてペローズ型伸縮継手を取り付けて。	
● 所轄消防署と充分協議のうえ、法的に支障のないよう施工を行う。	
● 凍結(屋外等)の恐れがある箇所においては保溫を行ふか抜き配管を施工する。	
○ 屋内消火栓箱には消火ポンプ運転表示灯を取付ける。	
○ 風量測定可能な箇所には測定口を監督員と協議の上取り付ける。	
○ 外壁ガラリに直接取り付けるチャンバー類にはドレン抜を設ける。	
○ チンバーには点検口を設ける(断熱仕様)	
● 送風機設付については、防音、防震に注意して施工し、必要な箇所には防音、防振 器具を設ける事。	
○ 全熱交換ユニットにおける本体から外壁までの給気及び排気ダクトには防露工事を行う。	
● 排気ダクトの外壁から1m以内及び給気ダクトには防露工事を行う。	
○ 多孔箇所及び多湿箇所を通過するダクトは塗装とする。	
○ 医療ガス設備に関しては、厚生省保険医療監修機器設備共通仕様に準ずる。	
○ 住戸内の給水・給湯・ガス配管はボリティン管を使用し蛇管ヘッダー方式により施工 する。	
○ また、将来配管の入れ替え交換や接続が容易に行える様施工する事。	
○ 配管等の防火区画貫通の防火措置工法は、220号特例基準に準拠し、防災（BCJ）認定品及び工法を用いること。	
○ 総合調整	
下記の項目の総合調整を行うものとし調整時期、日程、人員、安全対策、調整方法等をまとめた実施計画書を作成し測定をおこなうものとし、結果を記録し提出のこと。	
A. 測定及び調整	
(1)個別機器の試運転調整・(2)風量の調整及び測定・(4)室温の測定・(5)水量調節、調整、測定	
(5)交換・振動	
B. 調整後の確認	
(1)異常音・(2)設計値との最終確認	
C. 調整結果の記録	

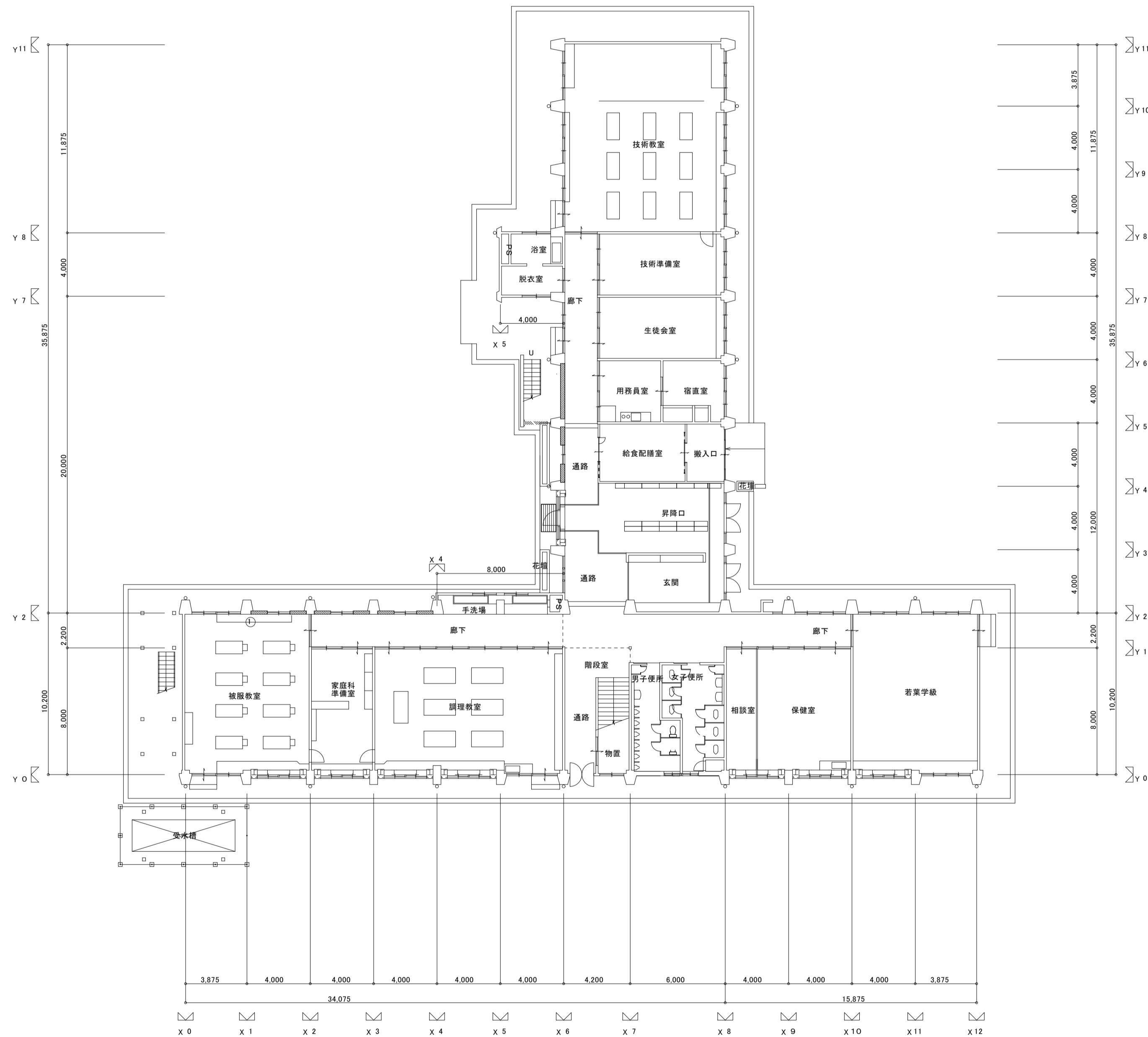
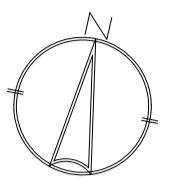
I) 工事区分 指別紙参照	
通用	工事項目
○	建 築 電 気 機 械 別 途
● 1) 配管、衛生器具、換気扇、ダクト等スリーブ、箱入れ工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 2) 同上構体鉄筋骨組工事	○ ○ ○ ○ ○
● 3) 外壁貫通部分の防水処理工事	○ ○ ○ ○ ○
● 4) 配管等穴開け、はつり部分の仕上げ工事	● ○ ○ ○ ○
● 5) 埋込盤類、埋込機器類等天井、壁ボード開口工事	○ ○ ○ ● ○
● 6) 同上地盤強化工事	● ○ ○ ○ ○
● 7) 天井、壁、床に必要な点検口取付工事	● ○ ○ ○ ○
○ 8) 設備機器基礎 空調機器類及び床暖房熱源機の基礎工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 9) " 水槽類及び業務用エコキュートの基礎工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 10) 上水道引込本管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 11) ガス引込本管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 12) 公共下水道接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 13) 雨水排水工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 14) 業務用厨房器具取付工事	○ ○ ○ ○ ○
● 15) 同上配管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
● 16) 洗面カウンターエルゴ	○ ○ ○ ○ ○
○ 17) 合成洗面器配管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 18) 化粧鏡	○ ○ ○ ○ ○
○ 19) 洗濯機パン供給、取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 20) ユニットシャワー供給、設置工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 21) ユニットバス配管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 22) ガス給湯機リモコン取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 23) 同上リモコン配管工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 24) 同上リモコン配管接続工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 25) 給排水消除等 ポンプユニット制御盤1次側電源工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 26) 同上ポンプユニット制御盤2次側電源工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 27) 同上ポンプユニット警報回路2次側電気工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 28) 液面電極棒取付及び液面調整工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 29) 換気扇取付工事	○ ○ ○ ○ ○
● 30) 換気扇供給、取付工事	○ ○ ○ ● ○
○ 31) 同上用温度スイッチ供給取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 32) OAガラリ、換気ガラリ取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 33) ドアーガラリ取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 34) クーラー配管スリーブ、カバーブレード取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 35) エアコン供給取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 36) 空調機室内機外機一次側電源供給	○ ○ ○ ○ ○
○ 37) 空調機室外機間の配線	○ ○ ○ ○ ○
○ 38) 空調室内機リモコンスイッチ取付工事	○ ○ ○ ○ ○
○ 39) 空調室内機リモコンスイッチ用配線配管工事	○ ○ ○ ○ ○
● 40) 土間コンクリート取り壊し、復旧	● ○ ○ ○ ○
● 41) 同上仕	



配置図 1:400

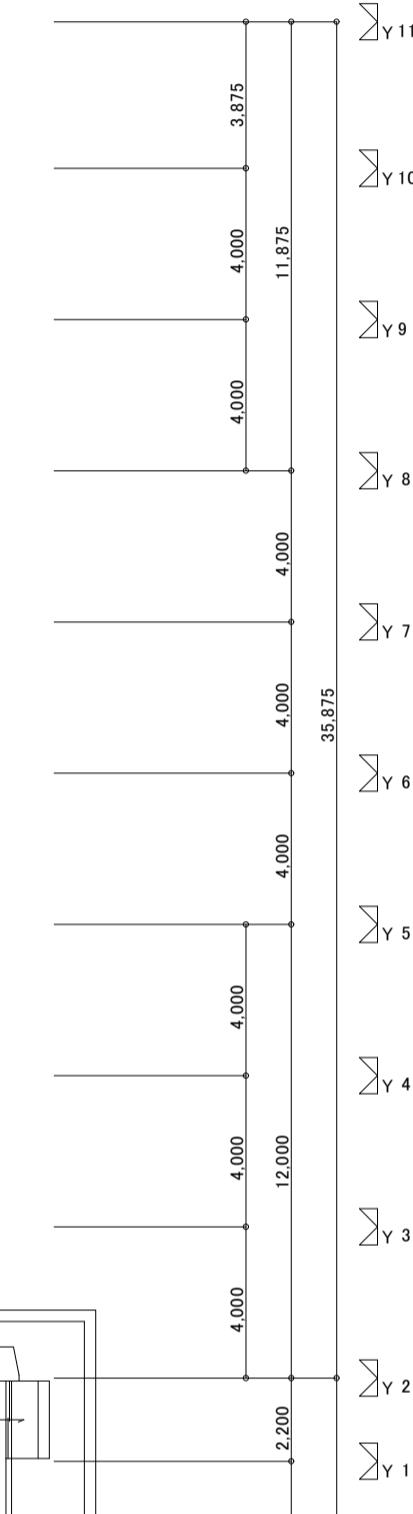
註記 今回改修建物ヲ示ス

工事番号・工事名	2相連教721号	P-17519	図面の名称	作成年月日
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)				
株式会社 日匠設計	管理建築士 澤田 耕一	接図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	令和2年5月
大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072) - 331-3857 FAX (072) - 334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1166				
			縮尺(A1) 1:400	縮尺(A3) 1:800
			図面番号 M-03	



現況1階平面図

1: 200



工事番号・工事名

2相連教721号  
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第1期)

P-17519

図面の名称

現況1階平面図

作成年月日

令和2年5月

株式会社 日匠設計

大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目9番12号 総建築士 198531号澤田 耕一  
TEL (072) - 331-3857 FAX (072) - 334-5931  
滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号杉本 孝良  
TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1166

管理建築士 澤田 耕一

検図 杉本 孝良

作図 大久保 靖二

縮尺(A1)

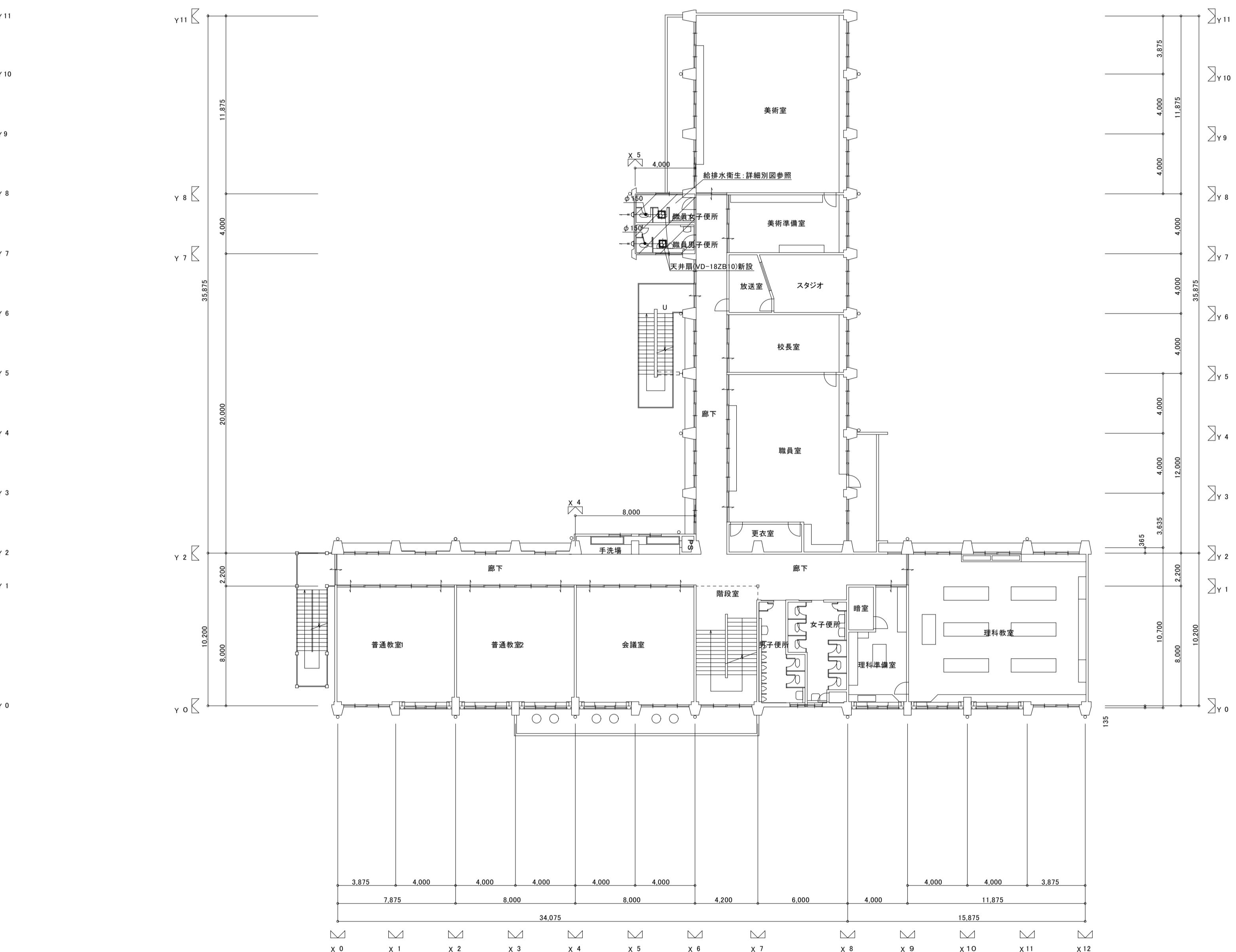
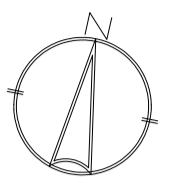
1: 200

縮尺(A3)

1: 400

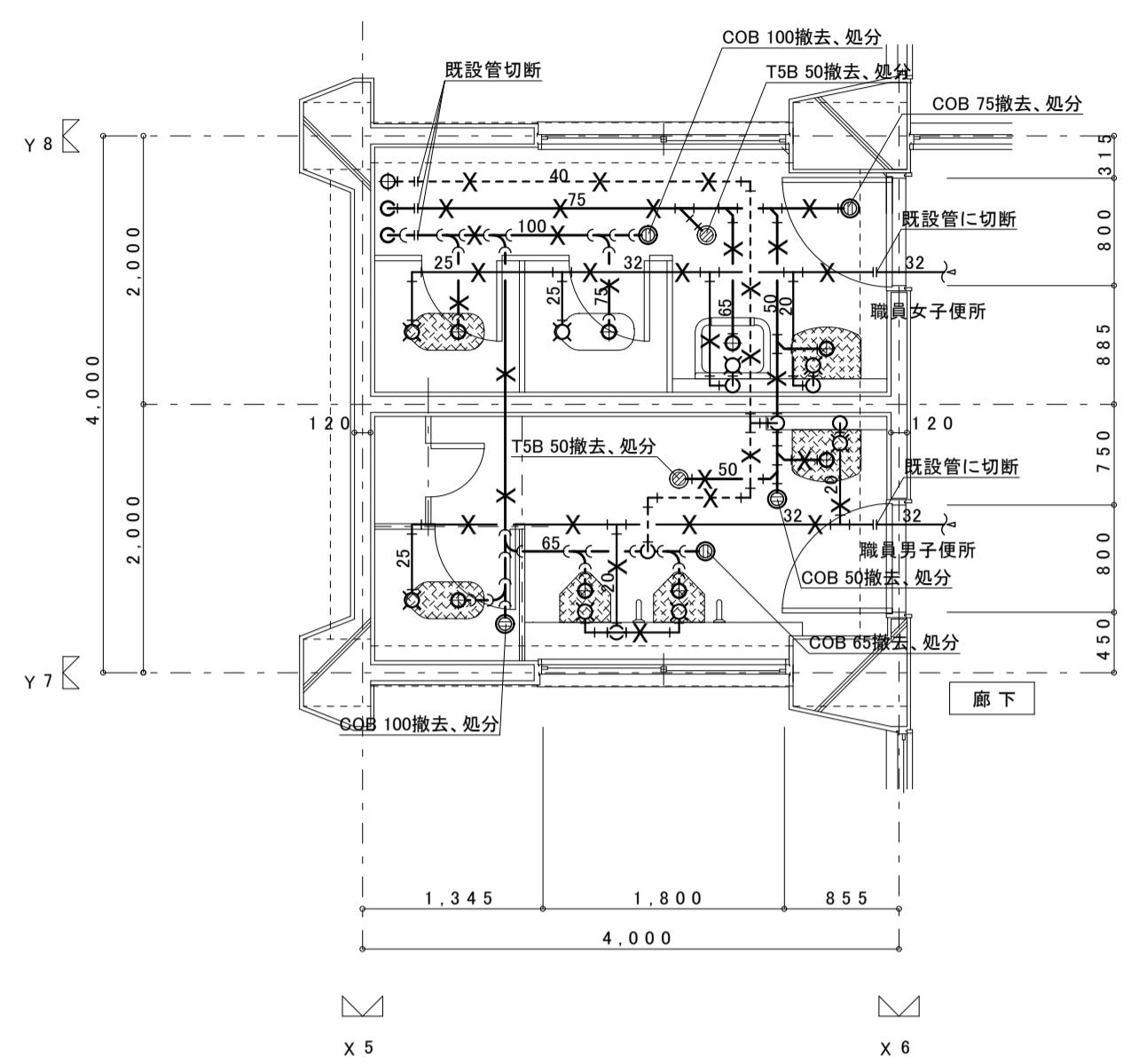
図面番号

M-04

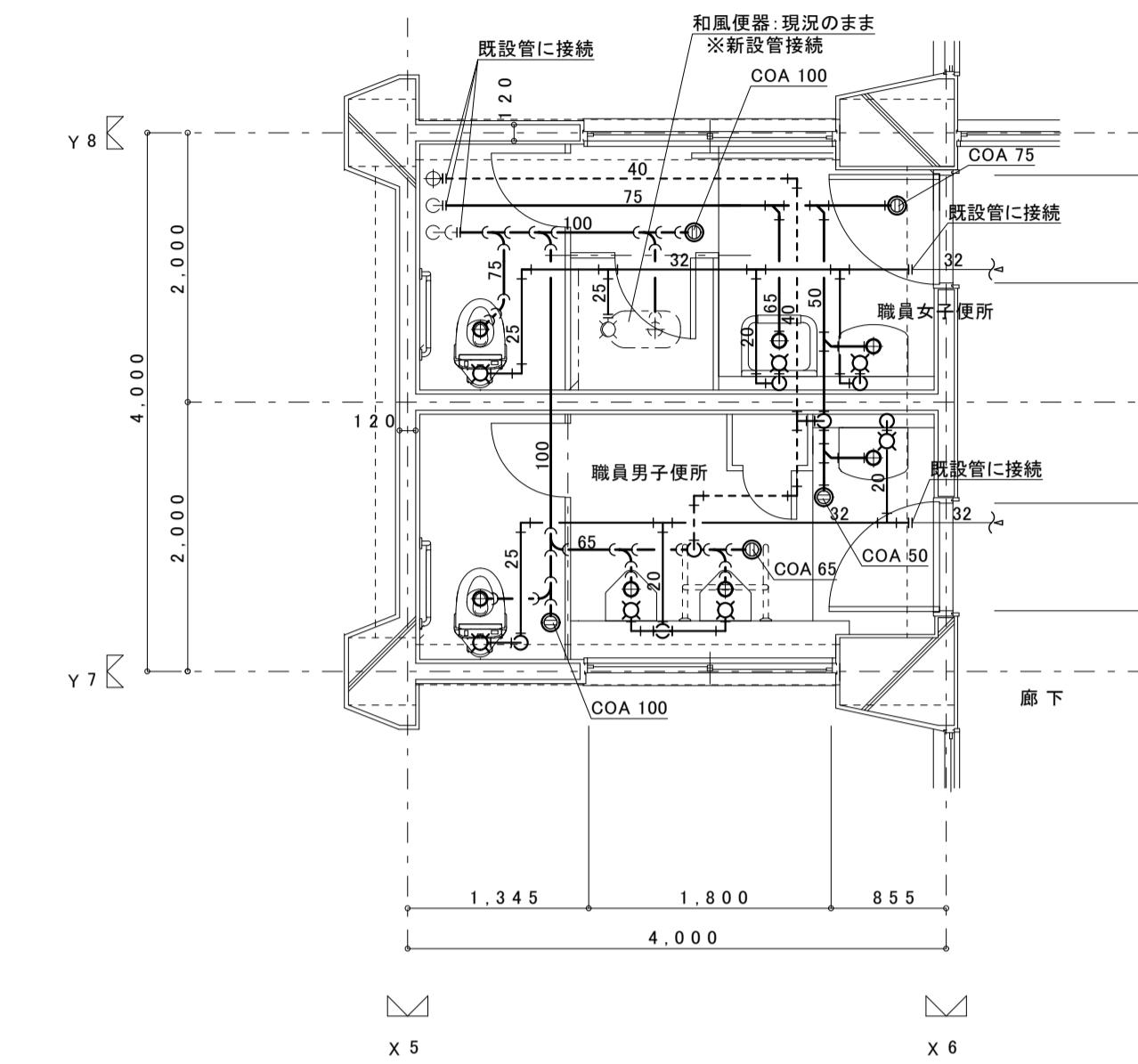


工事番号・工事名	2相連教721号	P-17519	図面の名称	作成年月日
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)				
株式会社 日匠設計	管理建築士 澤田 耕一	接図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	令和2年5月

大坂木社 大阪府松原市阿保1丁目Q番12号 総建築士 198531号澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931	造算事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	縮尺(A1) 1: 200	縮尺(A3) 1: 400	図面番号 M-05
管理建築士 澤田 耕一	接図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二		



現況2階平面詳細図 S=1/50



改修2階平面詳細図 S=1 / 50

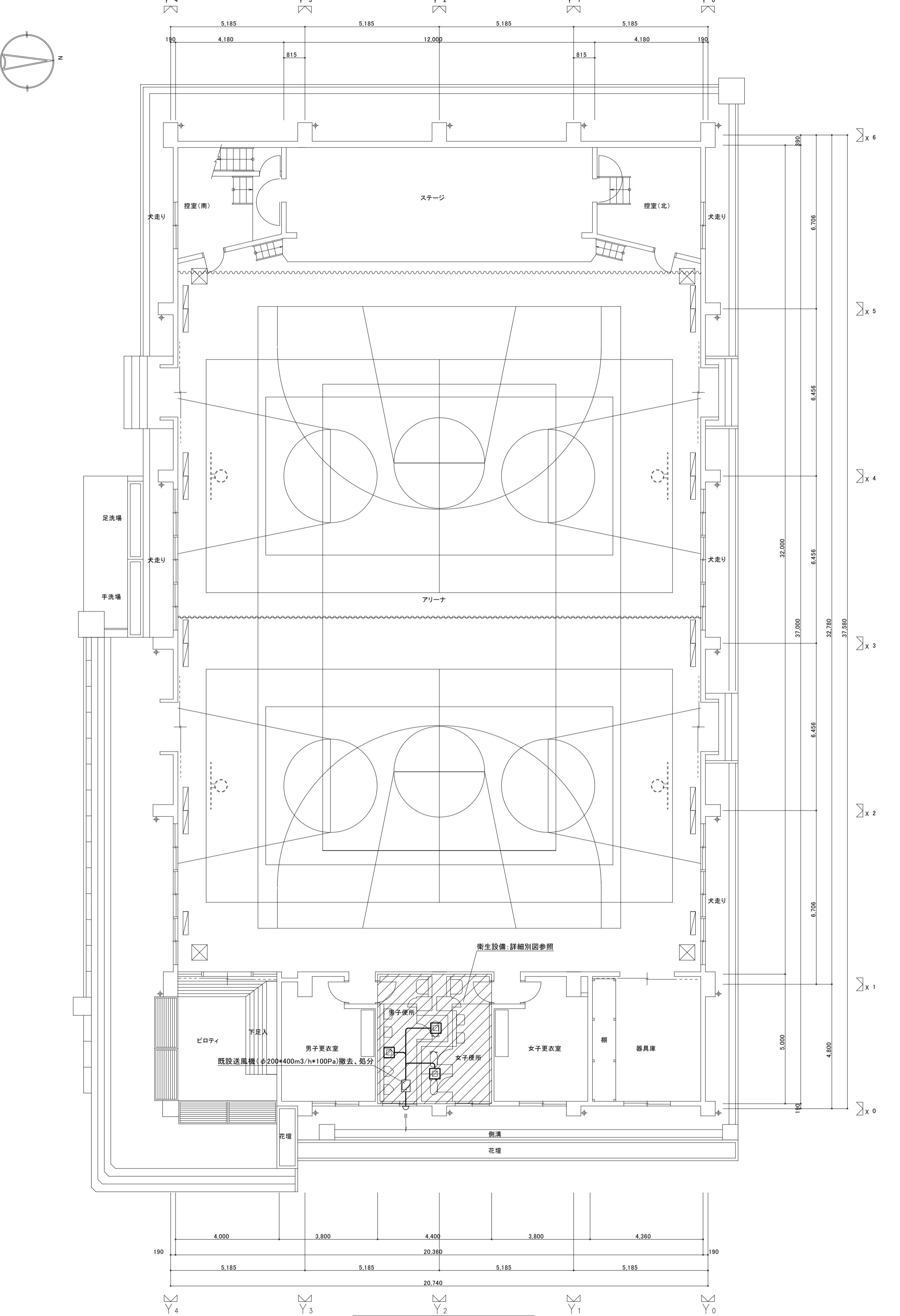
## 新設衛生器具表

凡 例

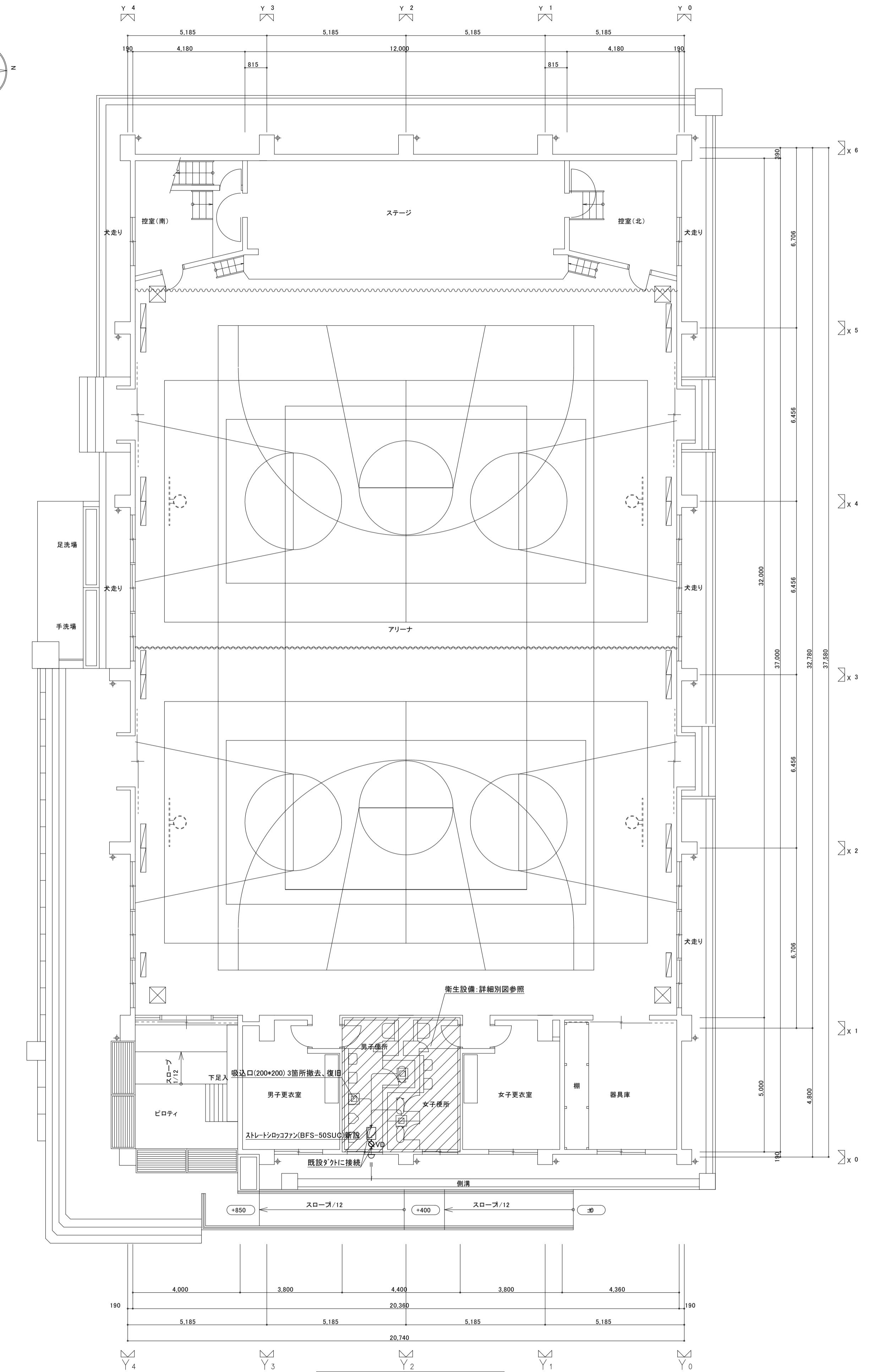
凡 例	
	撤去器具を示す。
	撤去配管を示す。

撤去衛生器具リスト

器具名	品番	数量	備考
和風大便器(FV)	C-375V	2	
小便器(FV)	U57	2	
洗面器	L-220	2	水石鹼(TS-126AS)共
化粧鏡	TS119AS3	2	
化粧棚	S-3	2	
掃除用流し	SK22A	1	



現況1階平面図 1:100



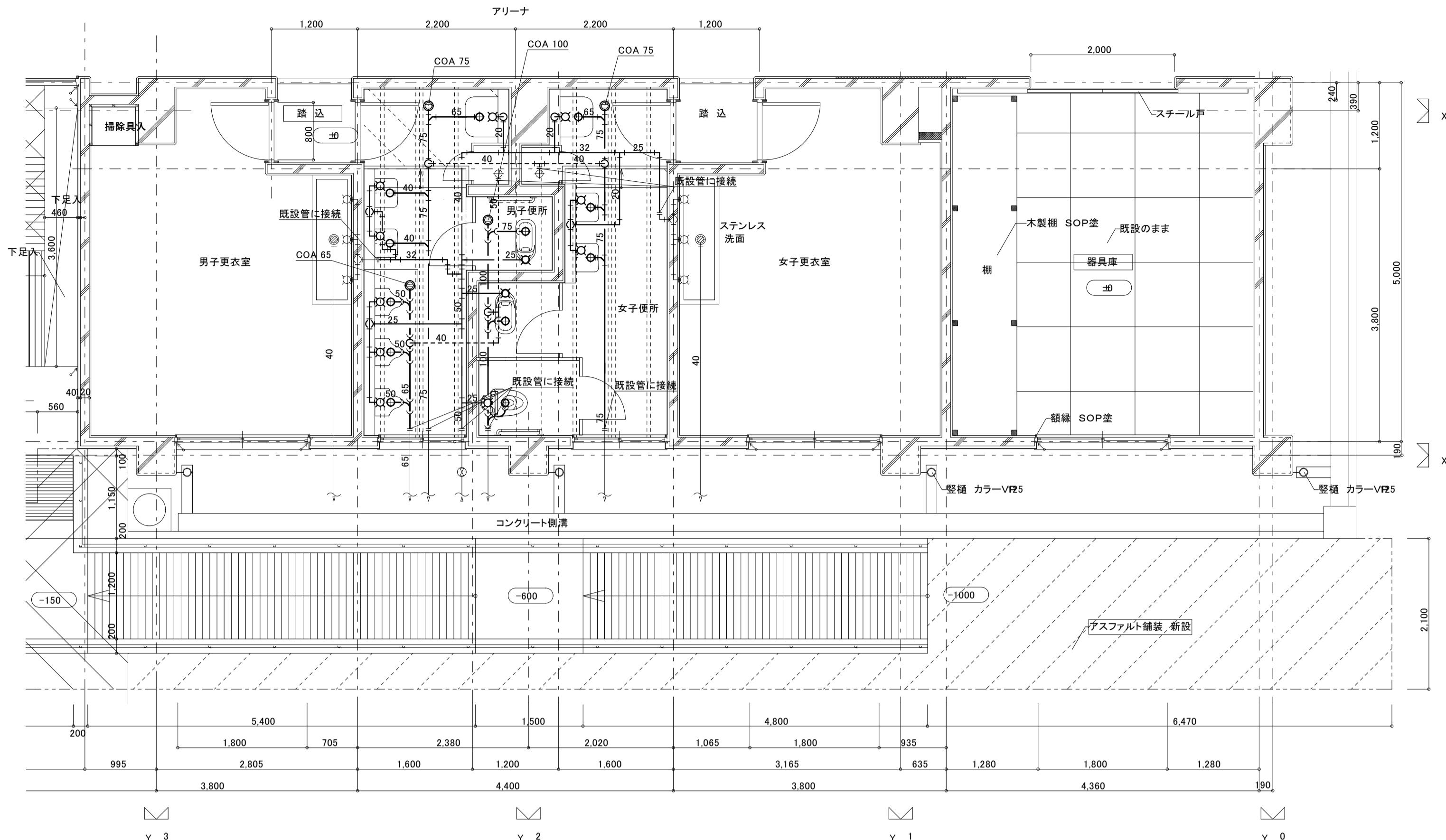
改修1階平面図 1:10

	工事番号・工事名 2相連教721号  相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)	P-17519	図面の名称 (屋内運動場) 現況・改修1階平面図	作成年月日 令和2年5月
	株式会社 日匠設計  大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1) 1:100	縮尺(A3) 1:200 図面番号 M-07

## 新設衛生器具表

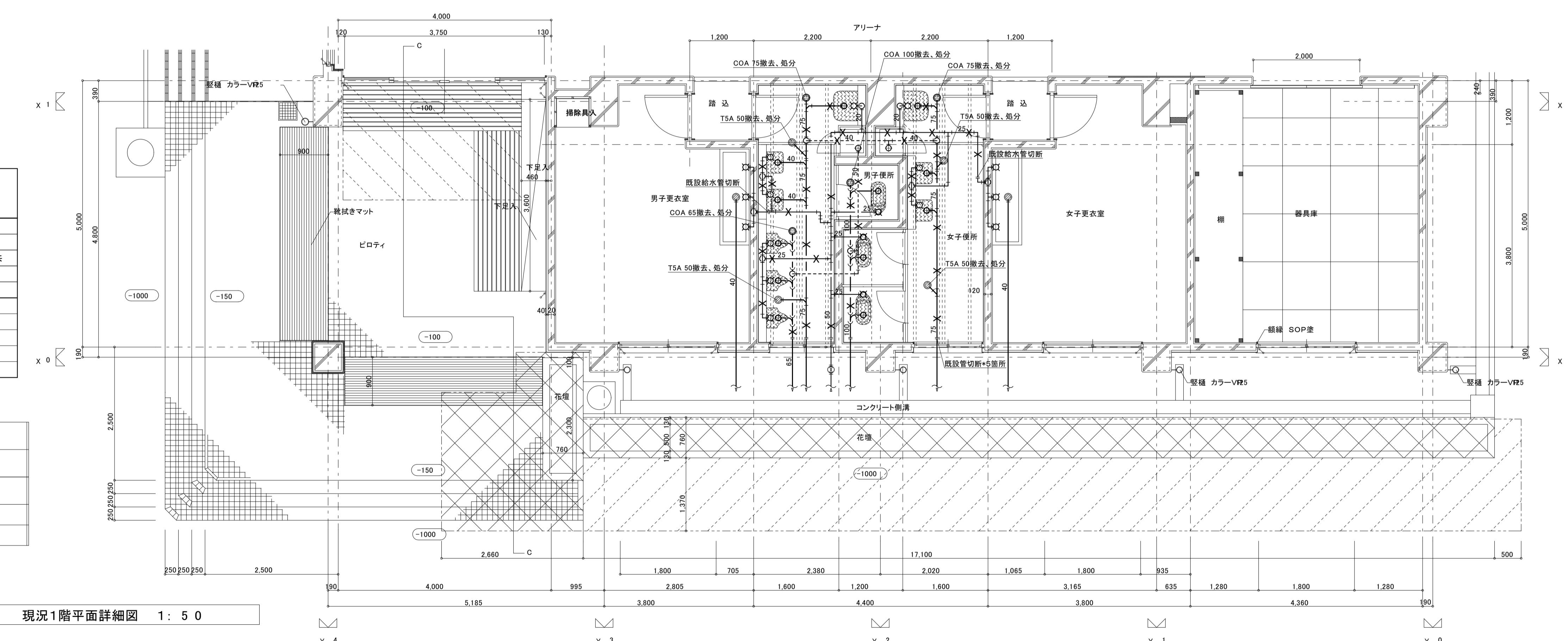
器具名	参考品番	付属品、他一式共	男子便所	女子便所	合計数量	備考
パブリックコンパクト便器 (掃除口付)	CFS494CHNS	TV560CP(フラッシュバルブ・床)・TC300(普通便座)・YH701(棚付二連紙巻器)	1	1	1	
自動洗浄小便器 (自己発電・節水タイプ)	UFS900WR		3	3	3	
手すり	建築工事					
掃除用流し	SK22A	TK22(リムカバー)・T23AEQ20C(横水栓)・TN114(止水栓)・T9R(バックハンガー)・HH04060(樹脂フック)	1	1	2	
洗面器	L250D	TLG04101J(立水栓)・T6PM1(排水金具)・TL4CFU(止水栓)・TL250D(バックハンガー)	2	2	4	
化粧鏡	YM3545A		2	2	4	
和風大便器	C756VC	TV550R(フラッシュバルブ)・TSF290BR(フラッシュバルブ配管セット)・YH701(棚付二連紙巻器)	1	1	2	

改修1階平面詳細図 1:50



撤去衛生器具リスト			
器具名	品番	数量	備考
和風大便器(FV)	C-375V	3	
小便器(FV)	U29	3	
洗面器	L-220	4	水石鹼(TS-126AS)共
化粧鏡	TS119AS3	4	
化粧棚	S-3	4	
掃除用流し	SK22A	2	

現況1階平面詳細図 1:50



## 凡例

XXXX	撤去器具を示す。
-*-*	撤去配管を示す。

※便所内配管は、地中埋設配管

工事番号・工事名  
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事  
(笠置中学校第2期)

P-17519

図面の名称  
(屋内運動場)  
現況・改修1階平面詳細図

作成年月日

令和2年5月

株式会社 日匠設計

大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 総建築士 198531号澤田耕一  
TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931  
滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一级建築士 109825号杉本孝良  
TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166

管理建築士 澤田 耕一

挨図 杉本 孝良

作図 大久保 晴二

縮尺(A1)

縮尺(A3)

図面番号

1:50

1:100

M-08

# 保温施工標準図 No. 1

屋内露出 (一般居室、廊下)	給水・排水(通気) 空調ドレン管	給湯・温水(膨張管含む)・蒸気・冷水・冷温水	保温材の厚さ	防火区画貫通箇所施工要領																																																																																																																																																																																																																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び径</th> <th colspan="10">参考 使用区分</th> <th rowspan="2">単位：mm</th> </tr> <tr> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>32</th> <th>40</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I G</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ロックウール</td> <td>給水管 排水管</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グラスウール</td> <td>ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>II G</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ロックウール</td> <td>温水管 給湯管</td> </tr> <tr> <td>R</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グラスウール</td> <td>蒸気管</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ロックウール</td> <td>冷温水管 冷水管</td> </tr> <tr> <td>IV G</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td>5.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グラスウール</td> <td>冷媒管</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td>5.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ポリスチレンフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td></td> <td>機器、排気管、煙道、内貼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VI</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VII</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VIII</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.0または2.5</td> <td></td> <td>ダクト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び径	参考 使用区分										単位：mm	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	I G	2.0				2.5	4.0										ロックウール	給水管 排水管	P	2.0				2.5		4.0									グラスウール	ポリスチレンフォーム	II G	2.0				2.5	4.0										ロックウール	温水管 給湯管	R	2.5	3.0				4.0										グラスウール	蒸気管	G	2.5	3.0				4.0										ロックウール	冷温水管 冷水管	IV G	3.0				4.0		5.0									グラスウール	冷媒管	P	3.0				4.0		5.0									ポリスチレンフォーム		V					2.5											機器、排気管、煙道、内貼		VI					5.0													VII					7.5													VIII					5.0または2.5											ダクト
呼び径	参考 使用区分										単位：mm																																																																																																																																																																																																																							
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125		150	200	250	300																																																																																																																																																																																																																			
I G	2.0				2.5	4.0										ロックウール	給水管 排水管																																																																																																																																																																																																																	
P	2.0				2.5		4.0									グラスウール	ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																	
II G	2.0				2.5	4.0										ロックウール	温水管 給湯管																																																																																																																																																																																																																	
R	2.5	3.0				4.0										グラスウール	蒸気管																																																																																																																																																																																																																	
G	2.5	3.0				4.0										ロックウール	冷温水管 冷水管																																																																																																																																																																																																																	
IV G	3.0				4.0		5.0									グラスウール	冷媒管																																																																																																																																																																																																																	
P	3.0				4.0		5.0									ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																		
V					2.5											機器、排気管、煙道、内貼																																																																																																																																																																																																																		
VI					5.0																																																																																																																																																																																																																													
VII					7.5																																																																																																																																																																																																																													
VIII					5.0または2.5											ダクト																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K以上</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 合成樹脂製カバー</td> <td></td> <td>板厚 0.3mm以上</td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 合成樹脂製カバー		板厚 0.3mm以上	<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K以上</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 合成樹脂製カバー</td> <td></td> <td>厚さ 0.3mm以上</td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上	詳細は標準仕様書による。なお、高圧(0.1MP以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																	
3 合成樹脂製カバー		板厚 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																
天井内室・P.S内・倉庫内・隙間壁中・天井内を含む			共通事項	 【5階～最上階4階まで 2時間耐火】 ※ 上記1時間耐火の管径より1ランク下の管径を代入する。																																																																																																																																																																																																																														
	<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 原紙</td> <td></td> <td>1m<sup>2</sup> 370g以上</td> </tr> <tr> <td>4 アルミガラスクロス</td> <td>JIS R 3414 EP18A</td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 原紙		1m <sup>2</sup> 370g以上	4 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A		<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS G 3547</td> <td>線径 0.6mm</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 原紙</td> <td></td> <td>1m<sup>2</sup> 370g以上</td> </tr> <tr> <td>5 アルミガラスクロス</td> <td>JIS R 3414 EP18A</td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547	線径 0.6mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 原紙		1m <sup>2</sup> 370g以上	5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A		※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。 ※ 天井、P.S内の場合は原紙を省略する。 ※ 給湯、温水、蒸気配管の天井、P.S内はアルミガラス化粧ガラスウール保温筒+アルミガラスクロス粘着テープとする。	 1. ポリスチレンフォーム保温筒は、1本(1m)につき2箇所以上粘着テープ2回巻きとする。 2. テープ巻きの他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は1.5mm以上(ポリエチレンフィルムの場合は1/2重ね以上)、その他の場合は3.0mm以上とする。 3. テープ巻きは、配管の上方より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれるおそれのある場合には、粘着テープ等を用いてずれ止めを行う。 4. 合成樹脂製カバーの取付は、直管の合わせ幅は2.5mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、1.5mm以下のビッチで、合成樹脂製カバー用ビンで押さええる。 5. 屋内露出配管の保温見切り部分には菊座を取り付ける。 6. 保温筒取り付けの鉄線巻きは1本(1m)につき2箇所2回巻きとする。 7. 鉄板巻きの組目部にはシールを行う。 8. ガラスウール保温筒、保温板の使用困難な場所は、保温帶または波形保温板を使用してもよい。 9. ポリスチレンフォーム保温筒の使用困難な箇所は、ロックウール保温帶、ロックウールフェルト、グラスウール保温帶又は波形保温板を使用してもよい。 10. 屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ150mmまでステンレス鋼板で被覆する。 11. 通気管の保温は排水分歧より100mmのみ保温を行う。																																																																																																																																																																																													
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																	
3 原紙		1m <sup>2</sup> 370g以上																																																																																																																																																																																																																																
4 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A																																																																																																																																																																																																																																	
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS G 3547	線径 0.6mm																																																																																																																																																																																																																																
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 原紙		1m <sup>2</sup> 370g以上																																																																																																																																																																																																																																
5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A																																																																																																																																																																																																																																	
床下暗渠内 (ビット内を含む)			冷水・冷温水管の配管支持金具	 1. 断熱支持具 2. ガラスウール保温筒 3. バンド																																																																																																																																																																																																																														
	<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td> <td>JIS A 9511</td> <td>3号</td> </tr> <tr> <td>2 粘着ビニールテープ</td> <td>JIS Z 1525</td> <td>厚さ 0.2mm</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 着色アルミガラスクロス</td> <td></td> <td>黒色</td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号	2 粘着ビニールテープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS Z 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 着色アルミガラスクロス</td> <td></td> <td>黒色</td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS Z 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。 ※ 台型の場合は腰高品(既製品+10mm)を使用する。 ※ ハンガー型は蝶番式又は提灯型を使用する。	<table border="1"> <tr> <td>断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)</td> </tr> <tr> <td>A T L</td> </tr> <tr> <td>15A~25A 2.0 5.0</td> </tr> <tr> <td>3.2A~150A 3.0 5.0</td> </tr> <tr> <td>200A 3.0 10.0</td> </tr> <tr> <td>250A~300A 4.0 10.0</td> </tr> </table> 単位:mm	断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)	A T L	15A~25A 2.0 5.0	3.2A~150A 3.0 5.0	200A 3.0 10.0	250A~300A 4.0 10.0																																																																																																																																																																																										
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																																
2 粘着ビニールテープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm																																																																																																																																																																																																																																
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS Z 3547																																																																																																																																																																																																																																	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																
断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)																																																																																																																																																																																																																																		
A T L																																																																																																																																																																																																																																		
15A~25A 2.0 5.0																																																																																																																																																																																																																																		
3.2A~150A 3.0 5.0																																																																																																																																																																																																																																		
200A 3.0 10.0																																																																																																																																																																																																																																		
250A~300A 4.0 10.0																																																																																																																																																																																																																																		
浴室・厨房等の多湿箇所 (床下内を含む)			冷媒配管(全ての施工場所)																																																																																																																																																																																																																															
	<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td> <td>JIS A 9511</td> <td>3号</td> </tr> <tr> <td>2 粘着テープ</td> <td>JIS Z 1525</td> <td>厚さ 0.2mm以上</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305</td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		<table border="1"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>規 格</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>1 ガラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305</td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		※ ただし、天井内、P.S内、空隙壁内、床下は上記に変えて断熱材被覆鋼管(保温厚20mm)とする。																																																																																																																																																																																																	
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																																
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上																																																																																																																																																																																																																																
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																																	
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																
1 ガラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																																	

	工事番号・工事名	2相連続721号	P-17519	図面の名称	作成年月日
	相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置中学校第2期)			保温施工標準図(1)	令和2年5月
株式会社 日匠設計	大阪本社 大阪府松原市井ノ口1丁目3番12号 総建築士 198531号 濑田耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931	管理建築士 濑田耕一 検図 杉本孝良 作図 大久保晴二			
〒590-0043 〒590-0043	滋賀県大津市中央2丁目95 一级建築士 109825号 杉本孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166			縮尺(A1)	縮尺(A3)
				面積	面積
				M-9	